

全国における食品への異物混入被害実態の把握 （食品媒介感染症被害実態の推定）

研究分担者	窪田邦宏	国立医薬品食品衛生研究所安全情報部第二室長
研究協力者	熊谷優子	国立感染症研究所国際協力室長
	今川正紀	さいたま市保健福祉局保健部食品・医薬品安全課長
	中地佐知江	さいたま市保健福祉局保健部食品・医薬品安全課
	溝口嘉範	岡山市保健福祉局保健管理課
	天沼 宏	国立医薬品食品衛生研究所安全情報部
	田村 克	国立医薬品食品衛生研究所安全情報部

研究要旨： 近年、食品の異物混入事例に関する報道が数多く見られるように、消費者の異物混入に対する関心はこれまでになく高まっている。実際それらの喫食による健康被害が報告されているにもかかわらず、食品における異物混入被害実態は、各自治体レベルでの報告はあるものの日本全国の状況を明確に把握できるような情報は少ない。特に健康被害を及ぼすと考えられる硬質異物についての状況の全容を示すデータは限られている。厚生労働省では現在、HACCP の制度化に向けた議論が行われている。今後、各事業者が HACCP による衛生管理の取組みを進める際に、食品に混入する異物の全体像の把握、健康被害の実態、健康被害が発生した異物の材質、形状等を把握することがまず必要であり、それらは危害要因分析の支援につながる事が考えられる。

本研究では各都道府県、保健所設置市、特別区など、全 142 自治体が平成 26 年 4 月～28 年 11 月に食品への異物混入の苦情処理を行った事例を集め、異物混入事例の全容、食品や混入異物の種類、食品への異物混入においてリスクの高い組み合わせや混入工程等を把握し、それらを HACCP 指導に役立つ基礎データとすることを目的とした。

混入異物全体としては、虫、動物性異物（毛等）、合成樹脂、金属の順に多いことが確認された。食品分類別では調理済み食品、菓子類、農産加工品への混入が多かった。事業所での混入が判明またはその可能性が高い事例は全事例の 31.4% であった。事業所混入事例の約 34% が硬質異物の混入であった。硬質異物混入事例は食品分類別では調理済み食品、菓子類、農産加工品の順に多く、異物分類別

では金属、合成樹脂（その他）、動物性異物（その他）、植物性異物（木片等）、ガラスの順に多かった。事業所で硬質異物が混入した作業工程の解析では、混入は原材料由来、加熱工程、盛り付け工程で多く発生していた。事業所での混入により健康被害が発生した事例の 9 割が硬質異物の混入によるものであった。

本調査結果により、食品における異物混入の被害実態の全体像の把握ができた。特に事業所における混入事例について、各食品分類および異物の種類の組み合わせを解析することで、各食品分類において起きやすい異物混入の概要が得られた。本調査により硬質異物の危険性が確認され、さらに混入が発生しやすい食品との組み合わせ、また混入が起こる作業工程の基礎データが得られ、これらの情報は事業所への HACCP 指導時に参照可能な異物混入実態データとして活用することが可能と考えられる。

A. 研究目的

近年、食品の異物混入事例に関する報道が数多く見られるように、消費者の異物混入に対する関心はこれまでになく高まっている。実際にそれらの喫食による健康被害も報告されているにもかかわらず、食品における異物混入被害実態は、各自治体レベルでの報告はあるものの日本全国での状況を明確に把握できるような情報は少ない。特に食品に混入する異物のうち硬質異物については、材質、形状等によっては健康被害を発生する危害要因とされているが、やはり全国での状況の全容を示すデータは限られている。

厚生労働省では現在、HACCP の制度化に向けた議論が行われている。今後、各事業者が HACCP による衛生管理の取り組みを進める際に、食品に混入する異物の全体像の把握、健康被害の実態、健康被害が発生した異物の材質、形状等を把握することがまず必要であり、それらは危害要因分析の支援につながると考えられる。

これらの状況を鑑み、本研究では全国

の自治体、保健所等で異物混入の苦情処理を行った事例を集めることで、異物混入事例の全容、食品や混入異物の種類、食品への異物混入においてリスクの高い組み合わせや混入工程等を把握し、それらの低減対策指導に役立つ基礎データとすることを目的とした。

B. 研究方法

1. データ収集

各都道府県、保健所設置市、特別区など、全 142 自治体へご協力を依頼し、2016 年 12 月 1 日～28 日の期間に全国における食品への異物混入に関する苦情事例の調査を行った。平成 26 年度、平成 27 年度は 1 年分（4～3 月）、平成 28 年度に関しては 4～11 月の報告数の集計をお願いした。①上記約 3 年間に於いて、調査対象期間中に苦情処理を行った事案について、年度毎に調査票 1（表 1）の様式に従い食品分類別および異物分類別の件数を記入してもらった。各事案のうち事業所（製造、加工、調理現場）における混入が判明（可能性が高いものを含む）しているものについてはカッコ内に件数を

記入してもらった。②さらに、上記①のうちで製造、加工、調理現場における混入が判明（可能性が高いものを含む）している事案について、そのうち A.硬質異物の混入事例、B.健康被害のあった事例、C. 報道等で大きく話題になった事例や興味深い事例について、食品名、異物の内容、健康被害の有無、混入が起きた製造工程などを調査票 2（表 2）の様式に従い記入してもらった。本調査に使用した食品分類は東京都が使用している食品分類表に従うこととした（資料 1-1、1-2、1-3）。

2. データ集計・解析

送付されたデータは全て Microsoft Excel のファイルに統合、入力を行い、各種集計や解析を行った。調査表 1 をもとに、食品への異物混入被害の苦情受付の概要を集計し、異物分類毎、食品分類毎の件数や割合を集計した。さらに食品分類毎の混入異物の内訳を集計した。調査票 2 から硬質異物混入事例および有症事例を集計した。食品分類、異物分類は調査票 1 の分類に従って行った。また製造工程の分類は資料 1-4 に従って行った（資料 1-4）。調査票 1 の場合と同様、異物分類毎、食品分類毎の件数や割合、食品毎の混入異物の内訳を集計した。また混入異物の大きさに関しても集計を行い、有症事例に関しては具体的な名称も含めた混入異物の詳細集計を行った。

C. 研究結果

1. 全国における異物混入被害実態の概

要（調査票 1 総数）

依頼した各都道府県、保健所設置市、特別区、全 142 自治体のうち 127 自治体（89%）から回答があり、それらのデータをまとめた解析を行った。食品への混入異物事例の苦情は約 3 年間で合計 14,379 件報告されており（H26 年度 5,255 事例、H27 年度 5,876 事例、H28 年度 3,248 事例。ただし H28 は 11 月まで）、異物としては「虫」が最も多く、全体の 23.7%を占めていた。「動物性異物-人毛」（10.9%）、「鉱物性異物-金属」（10.8%）、「合成樹脂類-その他樹脂」（8.5%）も多く報告されていた（図表 1）。H26、H27、H28 の各年度間で異物分類の内訳に大きな違いは見られなかった（図表 1B~D）。

次に総数のうち食品分類別の件数を集計したところ、一番多いのは「調理済み食品」（47.0%）であり、ついで「菓子類」（15.0%）、「農産加工品」（8.6%）であった（図表 2A）。異物分類の場合と同様、H26、H27、H28 の各年度間で食品分類の内訳に大きな違いは見られなかった（図表 2B~D）。

さらに食品分類別に混入異物の内訳を集計したところ（全て 3 年分の合計）、「水産食品」で多かったのは「寄生虫-その他」（23.7%）、「寄生虫-アニサキス」（14.8%）、「鉱物性異物-金属」（10.4%）、「動物性異物-その他」（5.9%）であった（図表 3A）。「水産加工品」で多かったのは「鉱物性異物-金属」（13.5%）、「動物性異物-その他」（10.2%）、「合成樹脂類-その他樹脂」（10.2%）であった（図表 3B）。「畜産食品」では「鉱物性異物-金属」（16.0%）、

「動物性異物-その他」(11.4%)、「合成樹脂類-その他樹脂」(7.9%)が多かった(図表 3 C)。「畜産加工品」では「動物性異物-人毛」(10.4%)、「合成樹脂類-その他樹脂」(11.6%)が多かった(図表 3 D)。「農産食品」では「虫-その他の虫」(33.6%)、「虫-虫卵・幼虫・蛹」(11.9%)、「鉱物性異物-金属」(6.1%)が多かった(図表 3 E)。「農産加工品」では「虫-その他の虫」(16.4%)、「鉱物性異物-金属」(9.8%)、「合成樹脂類-その他樹脂」(8.4%)、「動物性異物-人毛」(7.6%)が多かった(図表 3 F)。「菓子類」では「鉱物性異物-金属」(13.0%)、「動物性異物-人毛」(12.7%)、「合成樹脂類-その他樹脂」(10.1%)が多かった(図表 3 G)。「飲料」では「虫-その他の虫」(11.0%)、「虫-ハエ」(7.7%)、「食品の一部」(6.6%)、「合成樹脂類-その他樹脂」(6.1%)が多かった(図表 3 H)。「油脂」では「食品の一部」(44.4%)と「動物性異物-人毛」(33.3%)が多かった(図表 3 I)。「調理済み食品」では「動物性異物-人毛」(13.5%)、「鉱物性異物-金属」(11.1%)、「合成樹脂類-ビニール」(9.9%)、「虫-その他の虫」(8.4%)、「合成樹脂類-その他樹脂」(8.2%)が多かった(図表 3 J)。「惣菜半製品」では「合成樹脂類-ビニール」(12.9%)、「鉱物性異物-金属」(12.9%)、「合成樹脂類-その他樹脂」(11.6%)、「食品の一部」(11.0%)が多かった(図表 3 K)。「その他の食品」では「虫-その他の虫」(17.7%)、「合成樹脂類-その他樹脂」(10.5%)、「食品の一部」(10.7%)、「動物性異物-人毛」(10.3%)が多かった(図表 3 L)。

2. 全国における異物混入被害実態の概要(調査票 1 事業所)

全事例(A) 14,379 件のうち、事業所での混入が判明した(可能性が高いものを含む)事例(B)は 4,519 件(31.4%)であった(H26 年度 1,674 件、H27 年度 1,841 件、H28 年度 1,004 件。ただし H28 は 11 月まで)。事業所での 3 年分の事例の混入異物としては「鉱物性異物-金属」(12.0%)、「食品の一部」(10.0%)、「合成樹脂類-ビニール」(9.8%)、「合成樹脂類-その他樹脂」(9.5%)、「動物性異物-人毛」(8.7%)、「虫-その他の虫」(7.6%)、「虫-ゴキブリ」(5.4%)の順に多かった(図表 4 A)。H26、H27、H28 の各年度間で異物分類の内訳に大きな違いは見られなかった(図表 4 B~D)。

次に事業所事例(B)の食品分類別の件数を集計したところ、一番多いのは「調理済み食品」(53.2%)であり、ついで「菓子類」(17.2%)、「農産加工品」(8.3%)であった(図表 5 A)。異物分類の場合と同様、H26、H27、H28 の各年度間で食品分類の内訳に大きな違いは見られなかった(図表 5 B~D)。

食品分類別に混入異物の内訳を集計したところ(全て 3 年分の合計)、「水産食品」で多かったのは「寄生虫-その他」(24.0%)、「寄生虫-アニサキス」(20.7%)、「鉱物性異物-金属」(13.2%)であった(図表 6 A)。「水産加工品」で多かったのは「動物性異物-その他」(12.8%)、「合成樹脂類-その他樹脂」(10.4%)、「鉱物性異物-金属」(9.8%)、「食品の一部」(9.8%)であった(図表 6 B)。「畜産食品」では「動物性異物-その他」(17.0%)、「鉱物性異物-

金属」(12.9%)、「合成樹脂類-ビニール」(10.2%)が多かった(図表 6 C)。「畜産加工品」では「食品の一部」(16.3%)、「動物性異物-その他」(15.4%)、「合成樹脂類-その他樹脂」(10.6%)が多かった(図表 6 D)。「農産食品」では「虫-その他の虫」(23.1%)、「虫-虫卵・幼虫・蛹」(10.3%)、「鉱物性異物-金属」(10.3%)、「植物性異物」(9.0%)が多かった(図表 6 E)。「農産加工品」では「虫-その他の虫」(14.2%)、「合成樹脂類-その他樹脂」(10.4%)、「鉱物性異物-金属」(10.2%)、「食品の一部」(9.1%)が多かった(図表 6 F)。「菓子類」では「鉱物性異物-金属」(13.4%)、「動物性異物-人毛」(13.4%)、「食品の一部」(13.4%)、「合成樹脂類-その他樹脂」(10.7%)が多かった(図表 6 G)。「飲料」では「虫-ゴキブリ」(12.4%)、「合成樹脂類-その他樹脂」(9.3%)が多かった(図表 6 H)。「調理済み食品」では「合成樹脂類-ビニール」(13.1%)、「鉱物性異物-金属」(12.8%)、「合成樹脂類-その他樹脂」(9.3%)、「食品の一部」(9.2%)が多かった(図表 6 J)。「惣菜半製品」では、「合成樹脂類-その他樹脂」(18.0%)、「食品の一部」(16.0%)、「動物性異物-人毛」(14.0%)が多かった(図表 6 K)。「その他の食品」では「虫-その他の虫」(15.1%)、「食品の一部」(11.8%)、「鉱物性異物-金属」(10.9%)、「合成樹脂類-その他樹脂」(10.1%)が多かった(図表 6 L)。

3. 硬質異物の混入実態(調査票 2)

調査票 2 のデータについて集計・解析を行った。調査票 2 から硬質と判断される異物が事業所で混入した事例の件数は

1,524 件であった(H26 年度 330 件、H27 年度 750 件、H28 年度 444 件。ただし H28 は 11 月まで)。事業所でのすべての異物混入事例(4,519 件)の 33.7%に相当する(図表 7)。

1,524 件の 3 年分の混入異物の内訳では「鉱物性異物-金属」(40.0%)、「合成樹脂類-その他樹脂」(23.4%)、「動物性異物-その他」(15.0%)が多かった(図表 8 A)。また H26、H27、H28 の各年度で異物分類の内訳に大きな違いは見られなかった(図表 8 B~D)。1,524 件の食品分類別内訳は、一番多いのは「調理済み食品」(54.5%)であり、ついで「菓子類」(17.4%)、「農産加工品」(9.6%)であった(図表 9 A)。異物分類の場合と同様、H26、H27、H28 の各年度で食品分類の内訳に大きな違いは見られなかった(図表 9 B~D)。

事業所で硬質異物が混入した事例に関して食品分類別に混入異物の内訳を集計したところ(全て 3 年分の合計)、「水産食品」で多かったのは「鉱物性異物-金属」(55.2%)、「動物性異物-その他」(31.0%)であった(図表 10 A)。「水産加工品」で多かったのは「動物性異物-その他」(33.3%)、「鉱物性異物-金属」(31.5%)、「合成樹脂類-その他樹脂」(20.4%)であった(図表 10 B)。「畜産食品」では「鉱物性異物-金属」(49.2%)、「動物性異物-その他」(30.5%)が多かった(図表 10 C)。「畜産加工品」では「合成樹脂類-その他樹脂」(29.6%)、「動物性異物-その他」(24.1%)、「鉱物性異物-金属」(18.5%)が多かった(図表 10 D)。「農産食品」では「合成樹脂類-その他樹脂」(46.2%)、

「鉱物性異物-金属」(23.1%)、「植物性異物」(15.4%)が多かった(図表10E)。「農産加工品」では「鉱物性異物-金属」(37.7%)、「合成樹脂類-その他樹脂」(23.3%)が多かった(図表10F)。「菓子類」では「鉱物性異物-金属」(42.6%)、「合成樹脂類-その他樹脂」(27.5%)が多かった(図表10G)。「飲料」では「合成樹脂類-その他樹脂」(37.0%)、「鉱物性異物-ガラス」(28.3%)、「鉱物性異物-金属」(21.7%)が多かった(図表10H)。「調理済み食品」では「鉱物性異物-金属」(41.6%)、「合成樹脂類-その他樹脂」(22.2%)、「動物性異物-その他」(17.8%)が多かった(図表10J)。「惣菜半製品」では「動物性異物-その他」(33.3%)、「鉱物性異物-金属」(27.8%)、「合成樹脂類-その他樹脂」(27.8%)が多かった(図表10K)。「その他の食品」では「鉱物性異物-金属」(75.0%)が多かった(図表10L)。

4. 事業所で硬質異物が混入した製造工程(調査票2)

調査票2から硬質異物がどの製造工程で混入したかを集計した。「製造工程不明」が488件(32.0%)と最も多く(図表11A)、その後の解析に影響を与えると考え、これ以降、製造工程に関する解析は「不明」を除いた1,036件で行うこととした(図表11B)。硬質異物混入事例全体としては、異物混入工程として「原材料」(28.2%)、「加熱工程」(19.5%)、「盛り付け」(17.6%)、「その他」(11.9%)、「カット工程」(10.1%)が多かった(図表11B)。

さらに食品分類別の混入製造工程の内訳を集計したところ(全て3年分の合計)、「水産食品」で多かったのは「原材料」(75.0%)、と「カット工程」(20.8%)であった(図表12A)。「水産加工品」で多かったのは「原材料」(63.9%)、と「カット工程」(13.9%)であった(図表12B)。「畜産食品」で多かったのは「カット工程」(44.7%)、「原材料」(39.5%)であった(図表12C)。「畜産加工品」では「原材料」(38.9%)、「盛り付け」(33.3%)が多かった(図表12D)。「農産食品」では「原材料」(57.1%)、「盛り付け」(28.6%)が多かった(図表12E)。「農産加工品」では「原材料」(27.2%)、「加熱工程」(16.3%)、「盛り付け」(13.0%)、「カット工程」(12.0%)が多かった(図表12F)。「菓子類」では「混ぜる工程」(21.2%)、「加熱工程」(21.2%)、「盛り付け」(13.5%)、「原材料」(11.2%)が多かった(図表12G)。「飲料」では「盛り付け」(41.7%)、「混ぜる工程」(22.2%)が多かった(図表12H)。「調理済み食品」では「原材料」(28.6%)、「加熱工程」(25.0%)、「盛り付け」(18.9%)が多かった(図表12J)。「惣菜半製品」では「原材料」(70.0%)が多かった(図表12K)。「その他の食品」では「盛り付け」(50.0%)、「加熱工程」(33.3%)が多かった(図表12L)。

5. 健康被害が報告された事例における異物の種類(調査票2)

硬質異物に限らず健康被害が報告された事例は、事業所における混入事例4,519件中236件であった。それを集計した結

果、異物としては「動物性異物-その他」(24.2%)、「鉱物性異物-金属」(20.8%)、「合成樹脂類-その他樹脂」(19.1%)が突出していた(図表 1 3 A)。そのうち硬質異物の混入によるものは 236 件中 214 件であり、「動物性異物-その他」(26.6%)、「鉱物性異物-金属」(22.9%)、「合成樹脂類-その他樹脂」(19.6%)であった(図表 1 3 B)。

6. 硬質異物混入事例における混入異物の大きさ(調査票 2)

硬質異物混入事例(1,524 件)のうち異物の大きさが報告された 825 件について集計を行った。異物の大きさは最大辺の長さをその大きさとした。その結果、一番多かったのは 10.0~19.9mm (32.0%)で、次いで 0~9.9mm (29.3%)、20.0~29.9mm (17.8%)であった(図表 1 4)。

7. 健康被害が報告された事例における異物の詳細(調査票 2)

健康被害があった事例として調査票 2 に報告された 236 件のうち、硬質異物 214 件およびそれ以外の異物によるもの 22 件について異物の詳細を抽出した。その結果、特に健康被害が多かった硬質異物として、「プラスチック片」、「ガラス片」、「金たわし・ブラシ」、「鳥の骨」、「魚の骨」が見られ、硬質ではない異物による健康被害は「ビニール片」、「輪ゴム」、「合成樹脂片(柔らかいもの)」によるものであった(図表 1 5)。

D. 考察

解析の結果、混入異物としては、虫、

動物性異物(毛等)、樹脂、金属の順に多いことが確認された。食品分類別では調理済み食品、菓子類、農産加工品への混入が多かった。また各食品分類で混入異物の傾向が異なっていた。事業所での混入が判明またはその可能性が高いとされた事例は全事例の 31.4%であった。事業所混入事例の約 34%が硬質異物の混入であった。硬質異物混入事例は食品分類別では調理済み食品、菓子類、農産加工品の順に多く、異物分類別では金属、合成樹脂(その他)、動物性異物(その他)、植物性異物(木片等)、ガラスの順に多かった。事業所で硬質異物が混入した作業工程の解析では、混入は原材料由来、加熱工程、盛り付け工程で多く発生していた。

今回の調査では 142 自治体中、127 自治体から回答が得られたことで、全国の食品への異物混入の概要が把握できたと考えられる。3 年にわたる各年度のデータの間で異物混入がおきた食品分類や混入した異物の種類の傾向に大きな差異がみられなかったことは、同様の異物混入が一定の割合でおき続けていることを示しており、対策や指導の必要性が確認された。また食品毎で混入異物の種類や混入した作業工程にそれぞれ特徴があったことから、それぞれの食品ごとに適した対策を適用することが効果的であると考えられる。

E. 結論

今回の調査で、苦情処理事例の集計から、食品における異物混入の被害実態の全体像の把握が可能となった。特に事業

所における混入事例について、食品分類および異物の種類の組み合わせを検討することで、各食品分類において起きやすい異物混入の概要が得られた。本調査により硬質異物の危険性が確認され、さらにそれが発生しやすい食品との組み合わせ、また混入が起こる作業工程の基礎データが得られ、これらの情報は事業所への HACCP 指導時に参照可能な異物混入実態データとして活用することが可能と考えられる。

F. 研究発表

1. 論文発表

なし

2. 学会発表

なし

G. 知的財産権の出願・登録状況

特になし

(表 1) 調査票 1 (異物混入調査 2016 年 12 月)

調査票1 2014(平成26)年度

食品分類	総計			虫			寄生虫		鉱物性異物			動物性異物			合成樹脂類			紙	繊維	たばこ	練乳膏	食品の一部	その他
	ハエ	ゴキブリ	虫卵・幼虫・蛹	その他の虫	不明	アニサキス	その他	ガラス	石・砂	金属	その他	人毛	獣毛	人の歯	その他	ビニール	ゴム						
食品分類																							
水産食品																							
水産加工品	43(6)																						
畜産食品																							
畜産加工品																							
農産食品																							
農産加工品																							
菓子類																							
飲料																							
油脂																							
調理済み食品																							
そうめん製品																							
その他の食品																							
食品添加物																							

各セルには件数(内はうち製造現場での混入数)
例は、水産加工品へのハエの混入が43件あり、うち5件が食品製造現場での混入が確認された件数
例は、2014年度の集計数

(表 2) 調査票 2

(記入例)

通し番号：自治体名-番号	(記入例) ○○県-01
1. 苦情届出日 (年月まで)	2015 年 8 月
2. 食品名	鯖の缶詰
3. 異物の内容 (具体的に)	金属異物 材質：ステンレス サイズ：7mm
4. 健康被害の有無	有 無 (有の場合) 健康被害内容：口腔内のけが
5. 混入が起きた製造工程 (具体的に)	充填工程において、経年劣化による金属部品の混入
6. 備考	(その他特記事項があれば) 混入事例を受け当該事業者は自主回収を実施。

(資料 1-1) 食品の分類表 1 (東京都の分類表を使用)

食品の分類

大	中	小
水産食品	鮮魚介類	魚類
		貝類
		カキ
		甲殻類 (エビ、カニ類、アミ類、シヤコ等)
		軟体類 (イカ、タコ類等)
		その他の鮮魚介類 (ウニ、ホヤ、ナマコ、魚介類の内臓、魚卵、魚介類の盛り合わせ等)
	鯨肉	鯨肉及びその加工品 (さらし鯨、鯨肉ベーコン等)
水産加工食品	魚介乾製品	魚介乾製品 (カツオ節、魚介類干物、みりん干し、クサヤ、一夜干し等)
	くん製品	くん製品 (イカくん、タコくん等)
	魚介類塩蔵品	塩辛 (うるか、めふん、酒盗、このわた、カニ子等)
		その他の魚介類塩蔵品 (塩鮭、新巻鮭等)
	魚肉ねり製品	かまぼこ
		魚肉ハム・ソーセージ
		揚げ製品 (さつま揚げ、ボール、ごぼう巻き等)
		その他の魚肉ねり製品 (ちくわ、はんぺん、つみれ、すじ、だてまき等)
	海藻類	海藻類 (塩蔵わかめ、生わかめ、乾燥昆布等、うみぶどう、生のり等)
		海藻類加工品 (寒天、味のり、板のり、ところてん等)
	魚卵類	魚卵類 (かずのこ、イクラ、たらこ等)
畜産食品	食肉	魚介類水煮及びボイル (ボイルエビ、ボイルカニ、ボイルイカ、鮭・さば等水煮缶詰等)
		魚介類油煮 (まぐろオイル缶、オイルサーディン等)
		魚介類漬物 (味噌漬、麹漬、栗漬、酢漬 (漬込み時間の短い塗り物含む。) 等)
		その他の魚介類加工品 (ねりうに、なまり節、あんきも、カニみそ、魚肉たん白、ウナギの骨等)
		牛肉 (内臓を含む。) (味付生肉、味噌漬等漬物、生食用食肉等)
		豚肉 (内臓を含む。) (味付生肉、味噌漬等漬物、トンカツ材料等)
		馬肉 (内臓を含む。) (馬刺し等)
		鶏肉 (内臓を含む。)
	食鳥卵	その他の食鳥肉 (アヒル肉、うずら肉、キジ肉、すずめ肉、ハト肉、七面鳥肉、ホロホロ鳥肉等)
		その他の食肉 (羊肉、山羊肉、熊肉、猪肉、鹿肉、トナカイ肉、カンガルー肉、ウサギ肉、ゲーム・ミート、ハンバーグパテ、生ソーセージ等)
		鶏卵
	食鳥卵	その他の食鳥卵 (アヒルの卵、うずらの卵等)

大	中	小
畜産加工品	食肉製品	ハム
		ソーセージ
		ベーコン
		その他の食肉製品 (コーンビーフ、ローストビーフ、ジャーキー、焼豚等)
	その他の鳥獣肉類の調製品	その他の鳥獣肉類の調製品 (塩蔵獣腸、塩蔵牛肉、煮沸牛肉、肉エキス、ゼラチン、コラーゲンパウダー等)
	乳	牛乳類 (牛乳、加工乳等)
		その他の乳類 (山羊乳等)
	アイスクリーム類	アイスクリーム類 (ソフトクリーム、その他のアイスクリーム (菓子との複合品を含む。) 等)
	乳製品	ナチュラルチーズ
		プロセスチーズ
		発酵乳
	食鳥卵調製品	その他の乳製品 (乳主原を含む。) (クリーム、バター、練乳類、粉乳類、乳酸菌飲料、乳飲料等)
		鶏卵加工品 (ゆで卵、温泉卵等)
農産食品	生鮮野菜	その他の食鳥卵の加工品 (ピータン、うずらのゆで卵等)
		その他の動物性食品 (はちみつ、ローヤルゼリー、エスカルゴ、カエル、スッポン、ウミガメ、ヘビ、つばめの巣、血球の調製品、昆虫類及びその調製品、鳥獣の骨、はちのす及びその調製品等)
	生鮮果実	生鮮野菜 (絹さや、枝豆、そら豆、スナックえんどう等未成熟で主にさや付きの豆類を含む等)
	穀類	生鮮果実 (スイカ、メロン、イチゴ等)
	豆類	米
		その他の穀類 (小麦、粟等)
	きのこ類	豆類 (大豆、小豆、花豆、その他の成熟後に収穫し乾燥した豆類等)
	その他の農産物	きのこ類 (椎茸、えのき茸、舞茸等)
		その他の農産物 (食用花等)

(資料 1-2) 食品の分類表 2 (東京都の分類表を使用)

大	中	小	大	中	小	
農産加工食品	穀類加工品	米飯、おかゆ類（レトルト、フリーズドライ等の米飯、おかゆ等（調味加工品を含む。））	農産加工食品	つけ物	浅漬	
		もち			その他	
		粉類（小麦粉、強力粉、調理用ミックス粉（小麦粉等を主体とするもの）、もち粉等）		めん類	乾麺	
		その他の穀類加工品（生きたんぼ、そばがき、パン粉、オートミール、シリアル等）			即席麺（インスタントラーメン類等）	
	生麺					
	豆類の加工品	豆腐（豆腐、充填豆腐等）		ゆで麺・むし麺	その他の農産物の加工品	こんにやく
		豆腐加工品（あぶらあげ、がんもどき、厚揚げ等）	フラワーペースト（ピーナッツペースト、チョコレートペースト等）			
		納豆	その他の農産物の加工品（大豆たん白、その他の植物たん白等）	菓子類	パン類	菓子パン（ラスク、カレーパン、ソーセージパン類等）
		粉類（きな粉、うぐいす粉等）	その他のパン（食パン、ロールパン等）			
		あん類	生菓子		洋生菓子	
		その他の豆類の加工品（大豆水煮等）			和生菓子	
	ナッツ及びナッツの加工品	その他の生菓子			その他の菓子類	焼菓子
	種実類及び種実類加工品	種実類及び種実類加工品（ごま、かぼちの種、ひまわりの種等）	油菓子			
		コーヒー豆	キャンディー・チューインガム			
	コーヒー豆・ココア・茶	ココア（ココア製品（カカオニブ、カカオマス、カカオバター、カカオケーキ、ココア粉、ココア調製品）等）	チョコレート			氷菓
		茶葉（緑茶、紅茶、プーアル茶、烏龍茶、麦茶、ハト麦茶、ルイボスティ等）	中華まんじゅう等（肉まん、あんまん、ピザまん等）			
		でん粉	でん粉及びでん粉加工品（でん粉（かたくり粉、くずでん粉、タピオカでん粉、サゴでん粉、馬鈴薯でん粉、カンショでん粉、コーンスターチ）、でん粉加工品（くずきり、はるさめ）等）	その他の菓子類	製菓材料	菓子類の装飾に使用するもの（アラザン、アンゼリカ、フォンダント、コーンカップ、メレンゲ（サンタ型）等）
	野菜加工品		乾燥野菜（干し椎茸、きくらげ、切り干し大根等）	飲料		炭酸飲料（炭酸水、サイダー等）
		塩蔵野菜（塩漬メンマ等）	ミネラルウォーター類			
		野菜の水煮（アスパラガス水煮、マッシュルーム水煮等）	果汁飲料			
		カット野菜（野菜ミックス、カットネギ、生のミックスベジタブル等）	粉末清涼飲料			
	果実加工品	その他の野菜加工品（マッシュポテトの素等）	その他の清涼飲料（低酸性飲料（コーヒー、ウーロン茶等）、豆乳等）		水	水（原水、原料水等）
		カットフルーツ	氷雪	氷雪		
ジャム・マーマレード		酒精飲料	酒精飲料			
乾燥果実（干し柿、干しあんず、干しぶどう、干しすもも等）		その他の飲料	油脂	動物性油脂		
その他の果実加工品（砂糖煮した果実及び果皮（キャンデッドチェリー）、フルーツのシロップ漬等）		植物性油脂		植物性油脂		
きのこ加工品	きのこ加工品（乾燥きのこ、きのこ水煮等）	その他の油脂（マーガリン等）				

(資料 1-3) 食品の分類表 3 (東京都の分類表を使用)

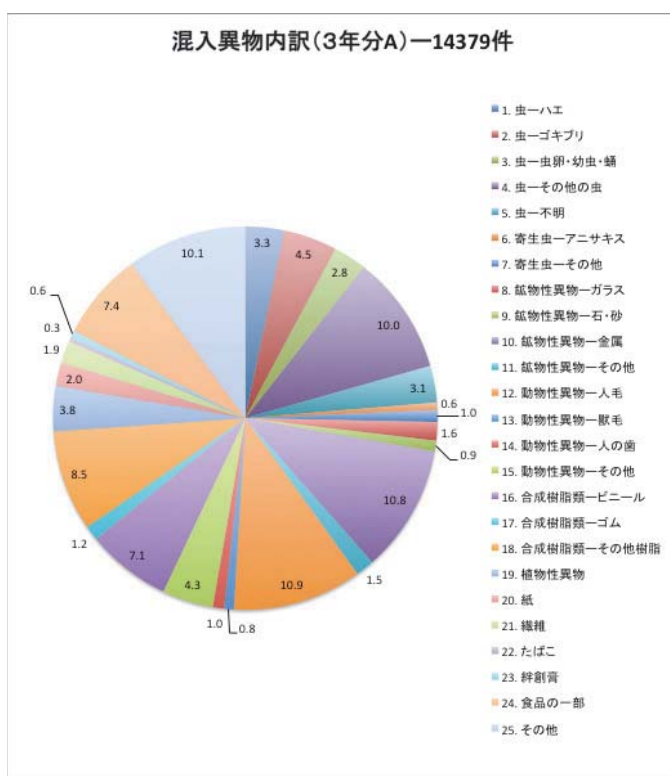
大	中	小
調理 済 み 食 品	煮物・鍋物	煮物・鍋物 (佃煮、うま煮、おでん、きんとん、田作り、煮込みハンバーグ、鍋物等)
	焼物	焼物 (串焼、塩焼、照焼、蒲焼、玉子焼、焼肉、タコ焼、お好み焼、キッシュ、グラタン、ピザ等)
	揚げ物	揚げ物 (天プラ、コロッケ、フライ等)
	酢の物	酢の物 (マリネ、酢レンコン等)
	和え物	和え物 (ゴマ和え等)
	蒸し物	蒸し物 (卵豆腐、茶わんむし、シュウマイ等)
	炒め物	炒め物 (野菜炒め、八宝菜、きんぴらごぼう等)
	サラダ	サラダ (ポテトサラダ、はるさめサラダ、野菜サラダ等)
	めん物	めん物 (うどん、日本そば、中華そば、スパゲティ等)
	飯物	飯物 (丼物、カレーライス、おにぎり等)
	汁物	汁物 (みそ汁、吸い物、コンソメスープ、コーンポタージュ、シチュー等)
	すし	すし (握り寿司、ちらし寿司、巻き寿司、いなり寿司等)
	その他	その他 (上記に該当しない単一品目等)
	複合調理食品	複合調理食品 (給食、会食、定食等全体)
半 製 品	弁当	弁当 (弁当全体)
	調理パン類	調理パン類
	そう菜半製品	そう菜半製品 (カツ、コロッケ、ハンバーグ、カキフライ、ピザ半製品等)
そ の 他 の 食 品	調味料	調味料 (みそ、しょうゆ、その他の調味料、香辛料、糖類等)
	その他の食品	その他の食品 (ふりかけ、微生物由来の製品 (粉末乳酸菌、イースト等)、食品の不可食部等)
食 品 添 加 物	食品添加物	食品添加物

(資料 1-4) 製造工程の分類

	製造工程
1	原材料
2	選別
3	洗浄工程
4	カット工程
5	混ぜる工程
6	加熱工程
7	盛り付け
8	包装工程
9	梱包工程
10	その他

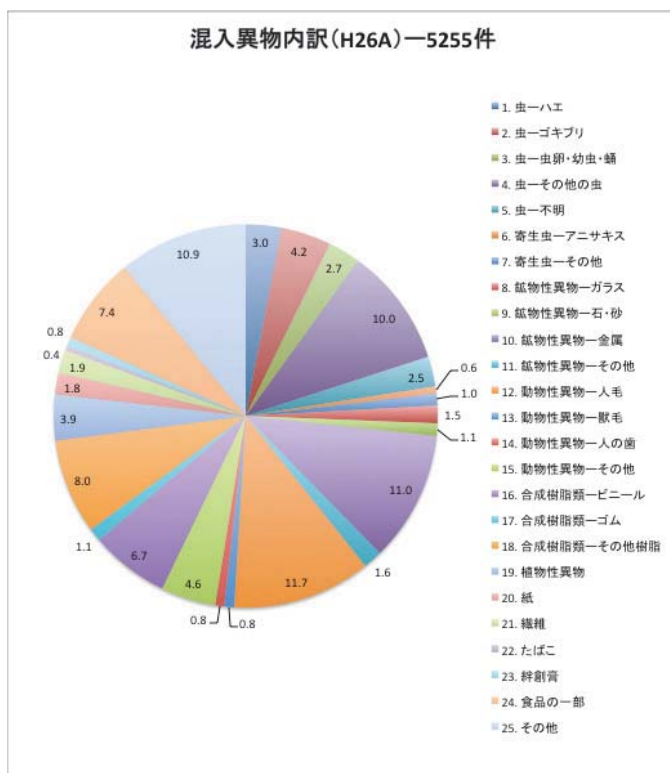
図表 1 A：調査票 1 総数（A）H26～H28 年度の混入異物内訳。

異物の種類	件数－3年分A(14379件)	割合(%)
1. 虫－ハエ	469	3.3
2. 虫－ゴキブリ	648	4.5
3. 虫－虫卵・幼虫・蛹	404	2.8
4. 虫－その他の虫	1442	10.0
5. 虫－不明	444	3.1
6. 寄生虫－アニサキス	92	0.6
7. 寄生虫－その他	142	1.0
8. 鉱物性異物－ガラス	225	1.6
9. 鉱物性異物－石・砂	130	0.9
10. 鉱物性異物－金属	1547	10.8
11. 鉱物性異物－その他	221	1.5
12. 動物性異物－人毛	1564	10.9
13. 動物性異物－獣毛	117	0.8
14. 動物性異物－人の歯	137	1.0
15. 動物性異物－その他	617	4.3
16. 合成樹脂類－ビニール	1026	7.1
17. 合成樹脂類－ゴム	178	1.2
18. 合成樹脂類－その他樹脂	1222	8.5
19. 植物性異物	549	3.8
20. 紙	281	2.0
21. 繊維	272	1.9
22. たばこ	48	0.3
23. 絆創膏	89	0.6
24. 食品の一部	1059	7.4
25. その他	1456	10.1



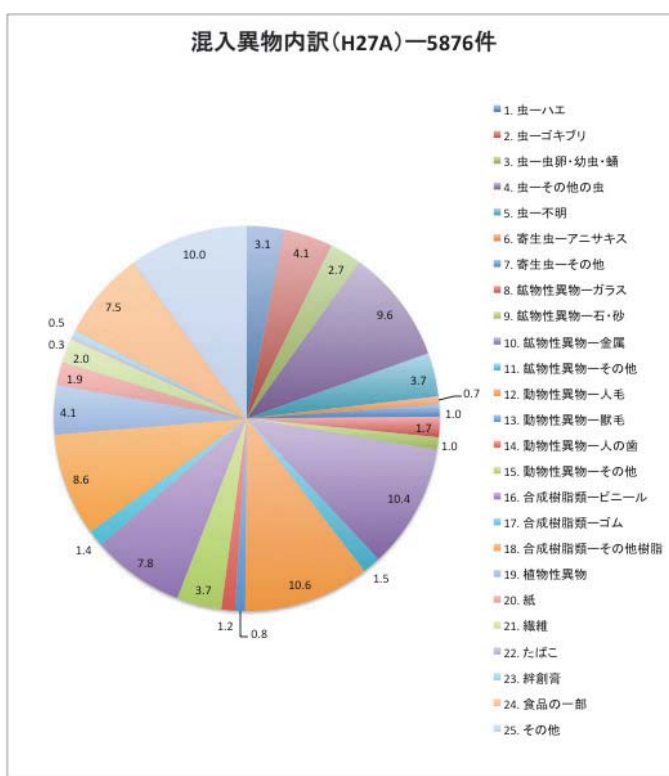
図表 1 B：調査票 1 総数（A）H26 年度の混入異物内訳。

異物の種類	件数－H26A(5255件)	割合(%)
1. 虫－ハエ	158	3.0
2. 虫－ゴキブリ	222	4.2
3. 虫－虫卵・幼虫・蛹	144	2.7
4. 虫－その他の虫	527	10.0
5. 虫－不明	133	2.5
6. 寄生虫－アニサキス	31	0.6
7. 寄生虫－その他	53	1.0
8. 鉱物性異物－ガラス	78	1.5
9. 鉱物性異物－石・砂	56	1.1
10. 鉱物性異物－金属	579	11.0
11. 鉱物性異物－その他	84	1.6
12. 動物性異物－人毛	613	11.7
13. 動物性異物－獣毛	44	0.8
14. 動物性異物－人の歯	40	0.8
15. 動物性異物－その他	242	4.6
16. 合成樹脂類－ビニール	350	6.7
17. 合成樹脂類－ゴム	58	1.1
18. 合成樹脂類－その他樹脂	421	8.0
19. 植物性異物	204	3.9
20. 紙	95	1.8
21. 繊維	102	1.9
22. たばこ	21	0.4
23. 絆創膏	40	0.8
24. 食品の一部	388	7.4
25. その他	572	10.9



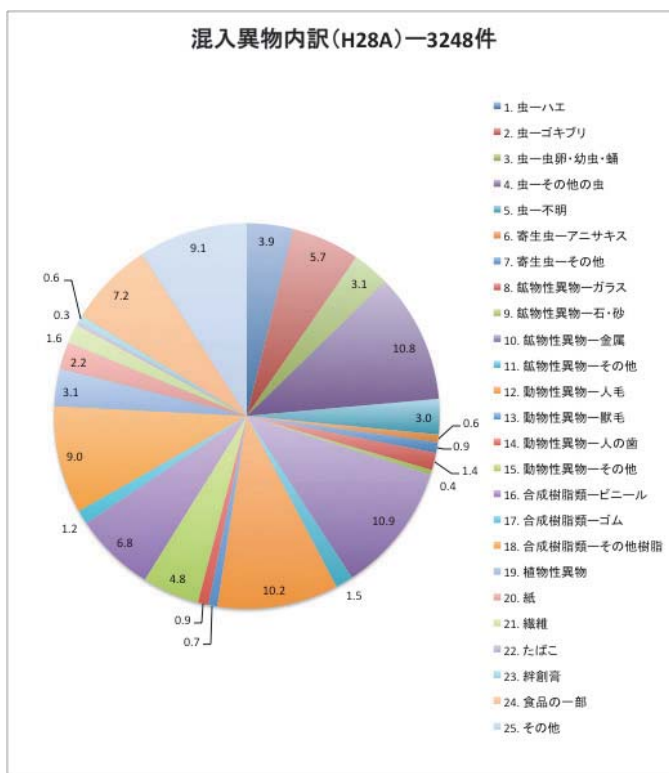
図表 1 C：調査票 1 総数（A）H27 年度の混入異物内訳。

異物の種類	件数—H27A(5876件)	割合(%)
1. 虫—ハエ	185	3.1
2. 虫—ゴキブリ	240	4.1
3. 虫—虫卵・幼虫・蛹	158	2.7
4. 虫—その他の虫	563	9.6
5. 虫—不明	215	3.7
6. 寄生虫—アニサキス	40	0.7
7. 寄生虫—その他	60	1.0
8. 鉱物性異物—ガラス	100	1.7
9. 鉱物性異物—石・砂	61	1.0
10. 鉱物性異物—金属	614	10.4
11. 鉱物性異物—その他	89	1.5
12. 動物性異物—人毛	621	10.6
13. 動物性異物—獣毛	49	0.8
14. 動物性異物—人の歯	68	1.2
15. 動物性異物—その他	220	3.7
16. 合成樹脂類—ビニール	456	7.8
17. 合成樹脂類—ゴム	82	1.4
18. 合成樹脂類—その他樹脂	508	8.6
19. 植物性異物	243	4.1
20. 紙	113	1.9
21. 繊維	118	2.0
22. たばこ	17	0.3
23. 絆創膏	31	0.5
24. 食品の一部	438	7.5
25. その他	587	10.0



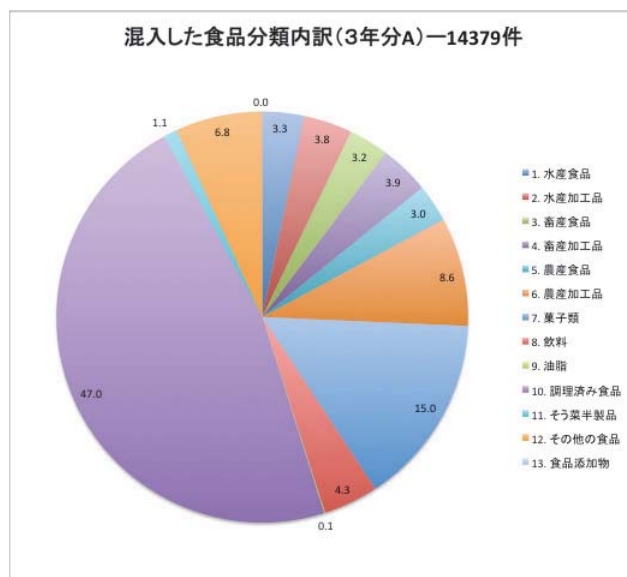
図表 1 D：調査票 1 総数（A）H28 年度の混入異物内訳。

異物の種類	件数—H28A(3248件)	割合(%)
1. 虫—ハエ	126	3.9
2. 虫—ゴキブリ	186	5.7
3. 虫—虫卵・幼虫・蛹	102	3.1
4. 虫—その他の虫	352	10.8
5. 虫—不明	96	3.0
6. 寄生虫—アニサキス	21	0.6
7. 寄生虫—その他	29	0.9
8. 鉱物性異物—ガラス	47	1.4
9. 鉱物性異物—石・砂	13	0.4
10. 鉱物性異物—金属	354	10.9
11. 鉱物性異物—その他	48	1.5
12. 動物性異物—人毛	330	10.2
13. 動物性異物—獣毛	24	0.7
14. 動物性異物—人の歯	29	0.9
15. 動物性異物—その他	155	4.8
16. 合成樹脂類—ビニール	220	6.8
17. 合成樹脂類—ゴム	38	1.2
18. 合成樹脂類—その他樹脂	293	9.0
19. 植物性異物	102	3.1
20. 紙	73	2.2
21. 繊維	52	1.6
22. たばこ	10	0.3
23. 絆創膏	18	0.6
24. 食品の一部	233	7.2
25. その他	297	9.1



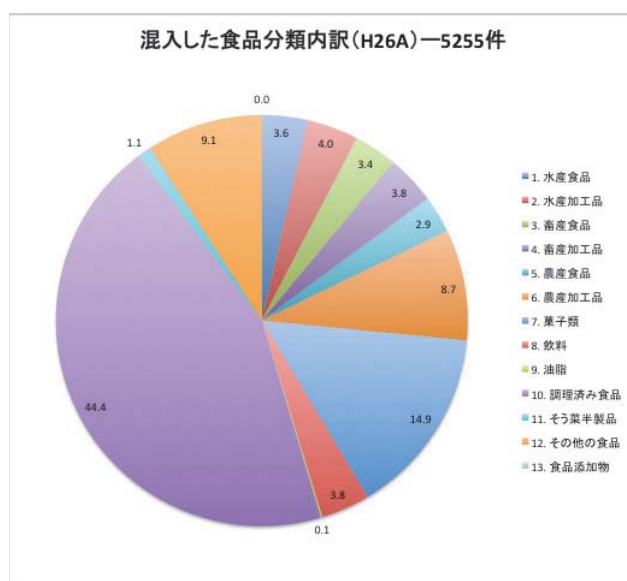
図表 2 A：調査票 1 総数（A）H26～H28 年度の食品分類内訳。

食品分類	件数—3年分A(14379件)	割合(%)
1. 水産食品	472	3.3
2. 水産加工品	550	3.8
3. 畜産食品	455	3.2
4. 畜産加工品	559	3.9
5. 農産食品	428	3.0
6. 農産加工品	1231	8.6
7. 菓子類	2164	15.0
8. 飲料	621	4.3
9. 油脂	9	0.1
10. 調理済み食品	6754	47.0
11. そう菜半製品	155	1.1
12. その他の食品	979	6.8
13. 食品添加物	2	0.0



図表 2 B：調査票 1 総数（A）H26 年度の食品分類内訳。

食品分類	件数—H26A(5255件)	割合(%)
1. 水産食品	189	3.6
2. 水産加工品	212	4.0
3. 畜産食品	179	3.4
4. 畜産加工品	202	3.8
5. 農産食品	154	2.9
6. 農産加工品	459	8.7
7. 菓子類	781	14.9
8. 飲料	202	3.8
9. 油脂	6	0.1
10. 調理済み食品	2335	44.4
11. そう菜半製品	56	1.1
12. その他の食品	480	9.1
13. 食品添加物	0	0.0



図表 2 C：調査票 1 総数（A） H27 年度の食品分類内訳。

食品分類	件数—H27A(5876件)	割合(%)
1. 水産食品	183	3.1
2. 水産加工品	201	3.4
3. 畜産食品	171	2.9
4. 畜産加工品	252	4.3
5. 農産食品	189	3.2
6. 農産加工品	486	8.3
7. 菓子類	952	16.2
8. 飲料	280	4.8
9. 油脂	3	0.1
10. 調理済み食品	2803	47.7
11. そう菜半製品	73	1.2
12. その他の食品	281	4.8
13. 食品添加物	2	0.0



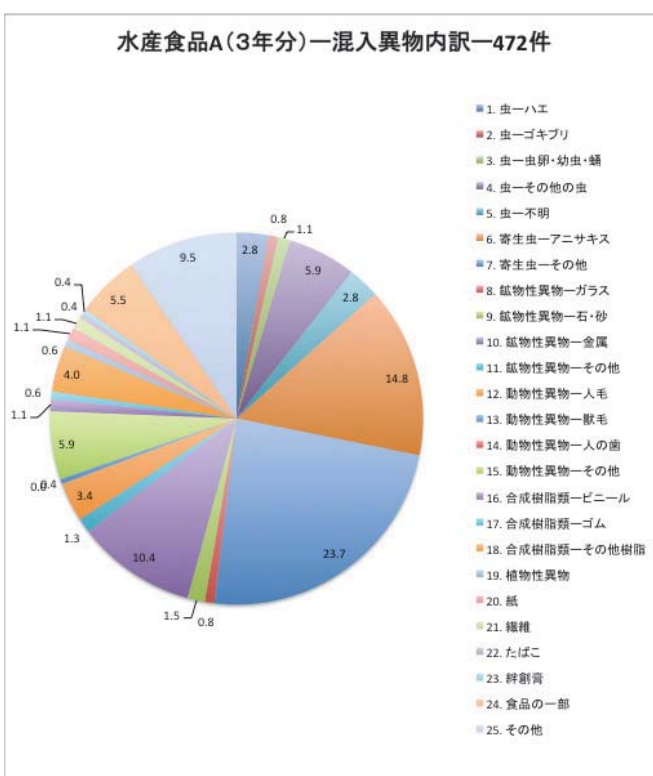
図表 2 D：調査票 1 総数（A） H28 年度の食品分類内訳。

食品分類	件数—H28A(3248件)	割合(%)
1. 水産食品	100	3.1
2. 水産加工品	137	4.2
3. 畜産食品	105	3.2
4. 畜産加工品	105	3.2
5. 農産食品	85	2.6
6. 農産加工品	286	8.8
7. 菓子類	431	13.3
8. 飲料	139	4.3
9. 油脂	0	0.0
10. 調理済み食品	1616	49.8
11. そう菜半製品	26	0.8
12. その他の食品	218	6.7
13. 食品添加物	0	0.0



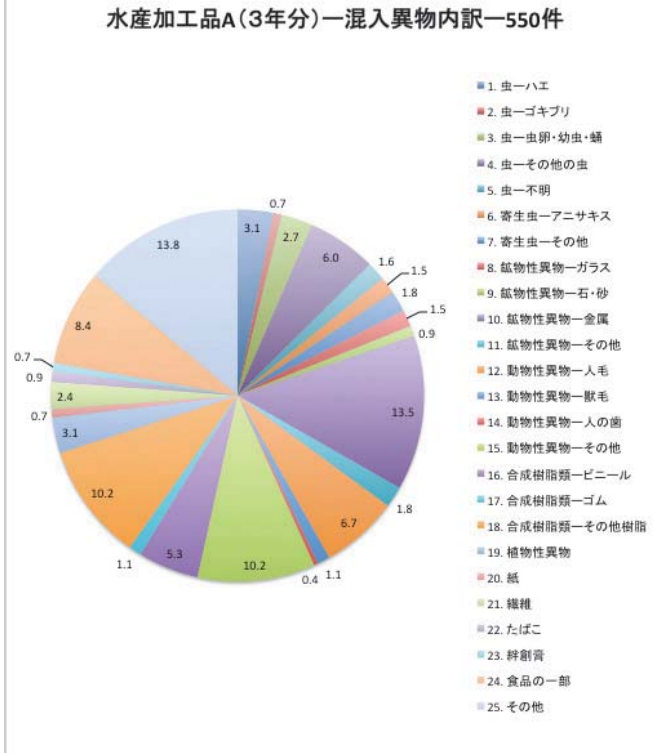
図表 3 A：調査票 1 総数 (A) の「水産食品」の各混入異物の報告数と割合 (H26～H28 年度、総数 472 件)

異物の種類	件数—水産食品A(472件)	割合 (%)
1. 虫—ハエ	13	2.8
2. 虫—ゴキブリ	4	0.8
3. 虫—虫卵・幼虫・蛹	5	1.1
4. 虫—その他の虫	28	5.9
5. 虫—不明	13	2.8
6. 寄生虫—アニサキス	70	14.8
7. 寄生虫—その他	112	23.7
8. 鉱物性異物—ガラス	4	0.8
9. 鉱物性異物—石・砂	7	1.5
10. 鉱物性異物—金属	49	10.4
11. 鉱物性異物—その他	6	1.3
12. 動物性異物—人毛	16	3.4
13. 動物性異物—獣毛	2	0.4
14. 動物性異物—人の歯	0	0.0
15. 動物性異物—その他	28	5.9
16. 合成樹脂類—ビニール	5	1.1
17. 合成樹脂類—ゴム	3	0.6
18. 合成樹脂類—その他樹脂	19	4.0
19. 植物性異物	3	0.6
20. 紙	5	1.1
21. 繊維	5	1.1
22. たばこ	2	0.4
23. 絆創膏	2	0.4
24. 食品の一部	26	5.5
25. その他	45	9.5



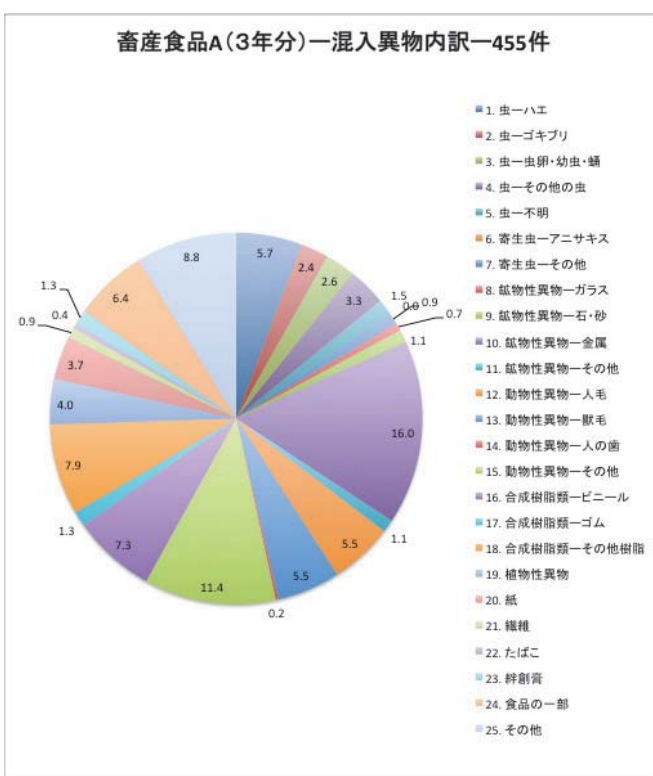
図表 3 B：調査票 1 総数 (A) の「水産加工品」の各混入異物の報告数と割合 (H26～H28 年度、総数 550 件)

異物の種類	件数—水産加工品A(550件)	割合 (%)
1. 虫—ハエ	17	3.1
2. 虫—ゴキブリ	4	0.7
3. 虫—虫卵・幼虫・蛹	15	2.7
4. 虫—その他の虫	33	6.0
5. 虫—不明	9	1.6
6. 寄生虫—アニサキス	8	1.5
7. 寄生虫—その他	10	1.8
8. 鉱物性異物—ガラス	8	1.5
9. 鉱物性異物—石・砂	5	0.9
10. 鉱物性異物—金属	74	13.5
11. 鉱物性異物—その他	10	1.8
12. 動物性異物—人毛	37	6.7
13. 動物性異物—獣毛	6	1.1
14. 動物性異物—人の歯	2	0.4
15. 動物性異物—その他	56	10.2
16. 合成樹脂類—ビニール	29	5.3
17. 合成樹脂類—ゴム	6	1.1
18. 合成樹脂類—その他樹脂	56	10.2
19. 植物性異物	17	3.1
20. 紙	4	0.7
21. 繊維	13	2.4
22. たばこ	5	0.9
23. 絆創膏	4	0.7
24. 食品の一部	46	8.4
25. その他	76	13.8



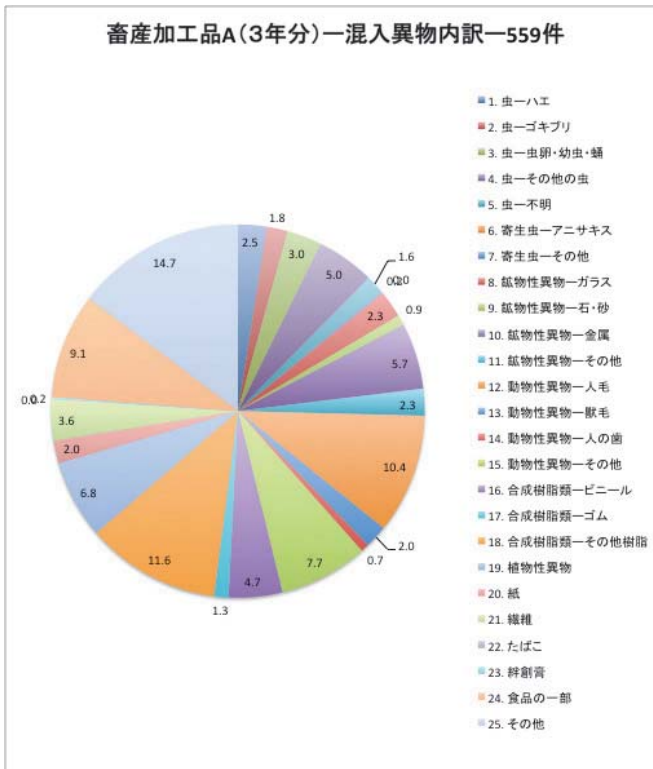
図表 3 C：調査票 1 総数 (A) の「畜産食品」の各混入異物の報告数と割合 (H26～H28 年度、総数 455 件)

異物の種類	件数—畜産食品A(455件)	割合(%)
1. 虫—ハエ	26	5.7
2. 虫—ゴキブリ	11	2.4
3. 虫—虫卵・幼虫・蛹	12	2.6
4. 虫—その他の虫	15	3.3
5. 虫—不明	7	1.5
6. 寄生虫—アニサキス	0	0.0
7. 寄生虫—その他	4	0.9
8. 鉱物性異物—ガラス	3	0.7
9. 鉱物性異物—石・砂	5	1.1
10. 鉱物性異物—金属	73	16.0
11. 鉱物性異物—その他	5	1.1
12. 動物性異物—人毛	25	5.5
13. 動物性異物—獣毛	25	5.5
14. 動物性異物—人の歯	1	0.2
15. 動物性異物—その他	52	11.4
16. 合成樹脂類—ビニール	33	7.3
17. 合成樹脂類—ゴム	6	1.3
18. 合成樹脂類—その他樹脂	36	7.9
19. 植物性異物	18	4.0
20. 紙	17	3.7
21. 繊維	4	0.9
22. たばこ	2	0.4
23. 絆創膏	6	1.3
24. 食品の一部	29	6.4
25. その他	40	8.8



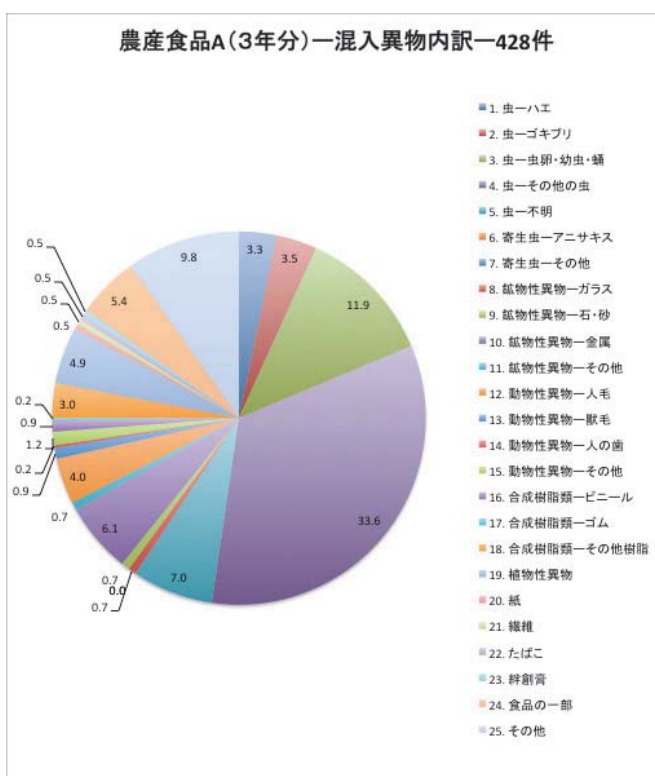
図表 3 D：調査票 1 総数 (A) の「畜産加工品」の各混入異物の報告数と割合 (H26～H28 年度、総数 559 件)

異物の種類	件数—畜産加工品A(559件)	割合(%)
1. 虫—ハエ	14	2.5
2. 虫—ゴキブリ	10	1.8
3. 虫—虫卵・幼虫・蛹	17	3.0
4. 虫—その他の虫	28	5.0
5. 虫—不明	9	1.6
6. 寄生虫—アニサキス	0	0.0
7. 寄生虫—その他	1	0.2
8. 鉱物性異物—ガラス	13	2.3
9. 鉱物性異物—石・砂	5	0.9
10. 鉱物性異物—金属	32	5.7
11. 鉱物性異物—その他	13	2.3
12. 動物性異物—人毛	58	10.4
13. 動物性異物—獣毛	11	2.0
14. 動物性異物—人の歯	4	0.7
15. 動物性異物—その他	43	7.7
16. 合成樹脂類—ビニール	26	4.7
17. 合成樹脂類—ゴム	7	1.3
18. 合成樹脂類—その他樹脂	65	11.6
19. 植物性異物	38	6.8
20. 紙	11	2.0
21. 繊維	20	3.6
22. たばこ	0	0.0
23. 絆創膏	1	0.2
24. 食品の一部	51	9.1
25. その他	82	14.7



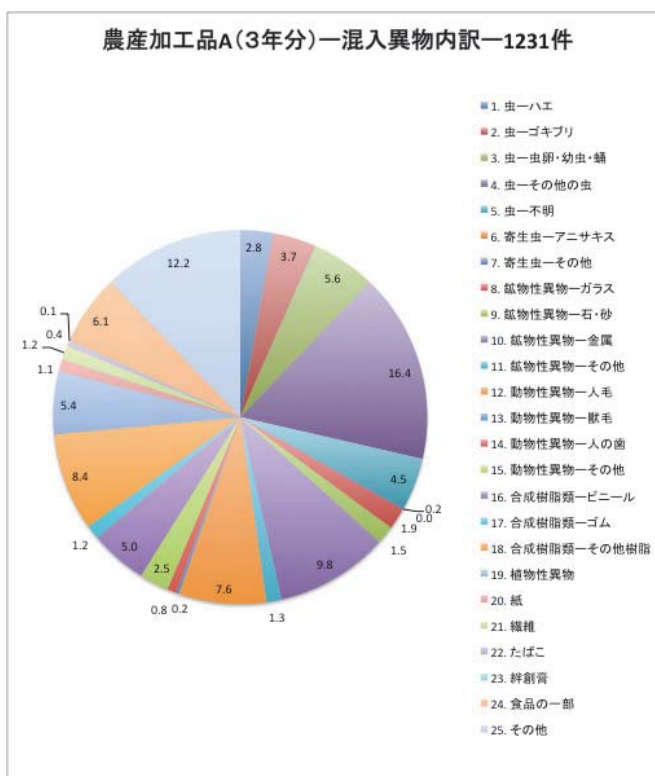
図表 3 E：調査票 1 総数（A）の「農産食品」の各混入異物の報告数と割合（H26～H28 年度、総数 428 件）

異物の種類	件数—農産食品A(428件)	割合(%)
1. 虫—ハエ	14	3.3
2. 虫—ゴキブリ	15	3.5
3. 虫—虫卵・幼虫・蛹	51	11.9
4. 虫—その他の虫	144	33.6
5. 虫—不明	30	7.0
6. 寄生虫—アニサキス	0	0.0
7. 寄生虫—その他	0	0.0
8. 鉱物性異物—ガラス	3	0.7
9. 鉱物性異物—石・砂	3	0.7
10. 鉱物性異物—金属	26	6.1
11. 鉱物性異物—その他	3	0.7
12. 動物性異物—人毛	17	4.0
13. 動物性異物—獣毛	4	0.9
14. 動物性異物—人の歯	1	0.2
15. 動物性異物—その他	5	1.2
16. 合成樹脂類—ビニール	4	0.9
17. 合成樹脂類—ゴム	1	0.2
18. 合成樹脂類—その他樹脂	13	3.0
19. 植物性異物	21	4.9
20. 紙	2	0.5
21. 繊維	2	0.5
22. たばこ	2	0.5
23. 絆創膏	2	0.5
24. 食品の一部	23	5.4
25. その他	42	9.8



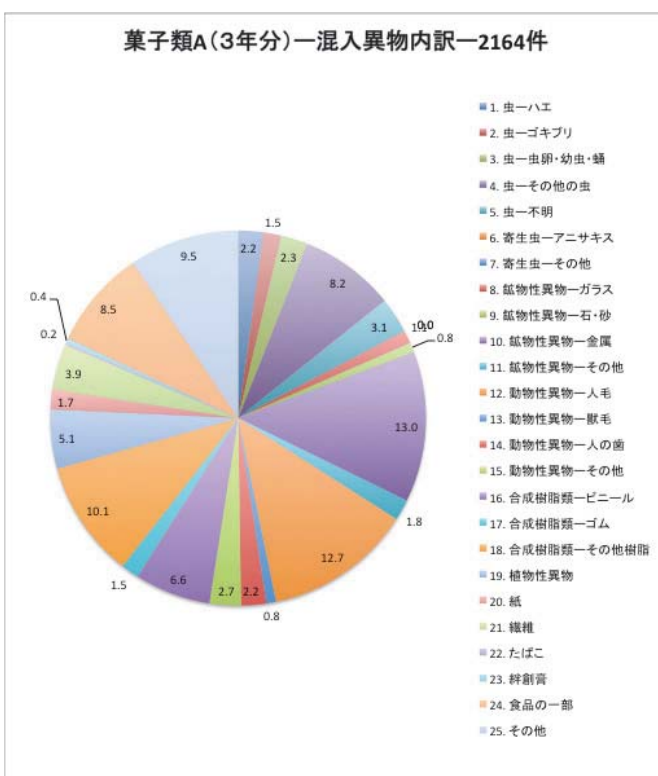
図表 3 F：調査票 1 総数（A）の「農産加工品」の各混入異物の報告数と割合（H26～H28 年度、総数 1,231 件）

異物の種類	件数—農産加工品A(1231件)	割合(%)
1. 虫—ハエ	35	2.8
2. 虫—ゴキブリ	46	3.7
3. 虫—虫卵・幼虫・蛹	69	5.6
4. 虫—その他の虫	202	16.4
5. 虫—不明	55	4.5
6. 寄生虫—アニサキス	0	0.0
7. 寄生虫—その他	2	0.2
8. 鉱物性異物—ガラス	23	1.9
9. 鉱物性異物—石・砂	19	1.5
10. 鉱物性異物—金属	121	9.8
11. 鉱物性異物—その他	16	1.3
12. 動物性異物—人毛	93	7.6
13. 動物性異物—獣毛	3	0.2
14. 動物性異物—人の歯	10	0.8
15. 動物性異物—その他	31	2.5
16. 合成樹脂類—ビニール	61	5.0
17. 合成樹脂類—ゴム	15	1.2
18. 合成樹脂類—その他樹脂	104	8.4
19. 植物性異物	67	5.4
20. 紙	13	1.1
21. 繊維	15	1.2
22. たばこ	5	0.4
23. 絆創膏	1	0.1
24. 食品の一部	75	6.1
25. その他	150	12.2



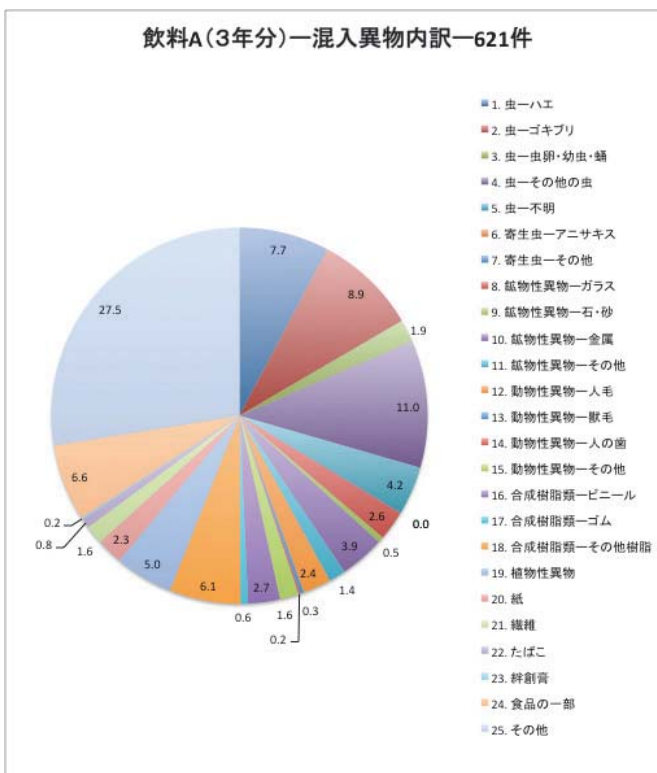
図表 3 G：調査票 1 総数（A）の「菓子類」の各混入異物の報告数と割合（H26～H28 年度、総数 2,164 件）

異物の種類	件数—菓子類A(2164件)	割合(%)
1. 虫—ハエ	47	2.2
2. 虫—ゴキブリ	33	1.5
3. 虫—虫卵・幼虫・蛹	50	2.3
4. 虫—その他の虫	178	8.2
5. 虫—不明	67	3.1
6. 寄生虫—アニサキス	0	0.0
7. 寄生虫—その他	0	0.0
8. 鉱物性異物—ガラス	24	1.1
9. 鉱物性異物—石・砂	18	0.8
10. 鉱物性異物—金属	281	13.0
11. 鉱物性異物—その他	39	1.8
12. 動物性異物—人毛	275	12.7
13. 動物性異物—獣毛	18	0.8
14. 動物性異物—人の歯	47	2.2
15. 動物性異物—その他	58	2.7
16. 合成樹脂類—ビニール	142	6.6
17. 合成樹脂類—ゴム	33	1.5
18. 合成樹脂類—その他樹脂	219	10.1
19. 植物性異物	110	5.1
20. 紙	37	1.7
21. 繊維	85	3.9
22. たばこ	4	0.2
23. 絆創膏	9	0.4
24. 食品の一部	185	8.5
25. その他	205	9.5



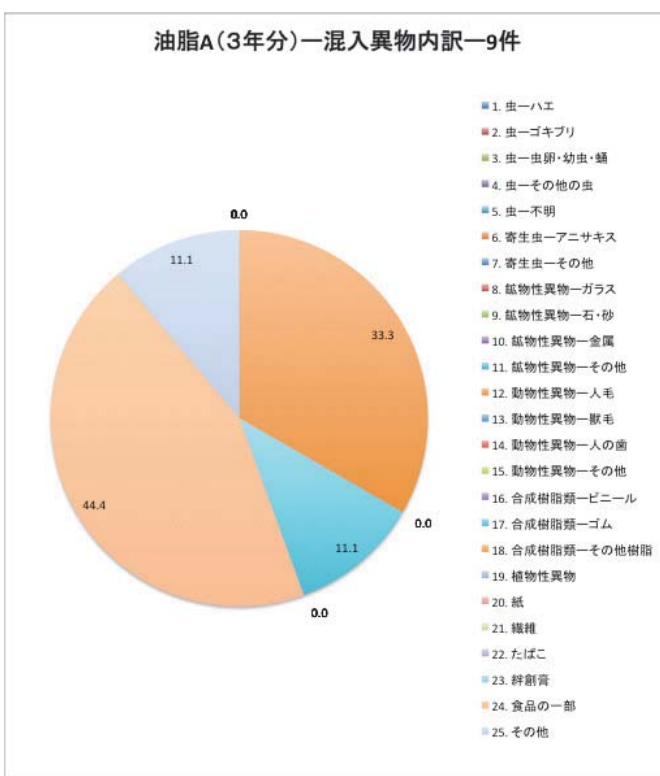
図表 3 H：調査票 1 総数（A）の「飲料」の各混入異物の報告数と割合（H26～H28 年度、総数 621 件）

異物の種類	件数—飲料A(621件)	割合(%)
1. 虫—ハエ	48	7.7
2. 虫—ゴキブリ	55	8.9
3. 虫—虫卵・幼虫・蛹	12	1.9
4. 虫—その他の虫	68	11.0
5. 虫—不明	26	4.2
6. 寄生虫—アニサキス	0	0.0
7. 寄生虫—その他	0	0.0
8. 鉱物性異物—ガラス	16	2.6
9. 鉱物性異物—石・砂	3	0.5
10. 鉱物性異物—金属	24	3.9
11. 鉱物性異物—その他	9	1.4
12. 動物性異物—人毛	15	2.4
13. 動物性異物—獣毛	2	0.3
14. 動物性異物—人の歯	1	0.2
15. 動物性異物—その他	10	1.6
16. 合成樹脂類—ビニール	17	2.7
17. 合成樹脂類—ゴム	4	0.6
18. 合成樹脂類—その他樹脂	38	6.1
19. 植物性異物	31	5.0
20. 紙	14	2.3
21. 繊維	10	1.6
22. たばこ	5	0.8
23. 絆創膏	1	0.2
24. 食品の一部	41	6.6
25. その他	171	27.5



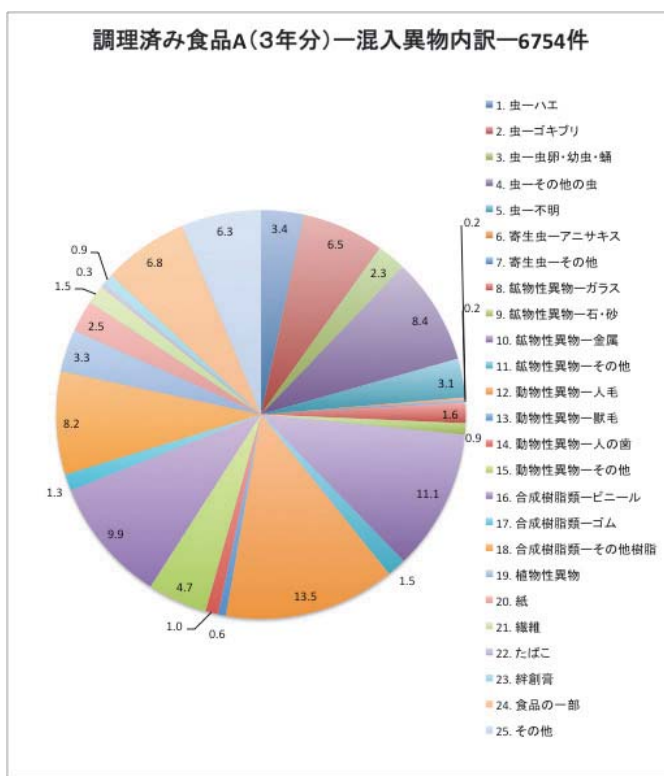
図表 3 I : 調査票 1 総数 (A) の「油脂」の各混入異物の報告数と割合 (H26~H28 年度、総数 9 件)

異物の種類	件数ー油脂A(9件)	割合(%)
1. 虫ーハエ	0	0.0
2. 虫ーゴキブリ	0	0.0
3. 虫ー虫卵・幼虫・蛹	0	0.0
4. 虫ーその他の虫	0	0.0
5. 虫ー不明	0	0.0
6. 寄生虫ーアニサキス	0	0.0
7. 寄生虫ーその他	0	0.0
8. 鉱物性異物ーガラス	0	0.0
9. 鉱物性異物ー石・砂	0	0.0
10. 鉱物性異物ー金属	0	0.0
11. 鉱物性異物ーその他	0	0.0
12. 動物性異物ー人毛	3	33.3
13. 動物性異物ー獣毛	0	0.0
14. 動物性異物ー人の歯	0	0.0
15. 動物性異物ーその他	0	0.0
16. 合成樹脂類ービニール	0	0.0
17. 合成樹脂類ーゴム	1	11.1
18. 合成樹脂類ーその他樹脂	0	0.0
19. 植物性異物	0	0.0
20. 紙	0	0.0
21. 繊維	0	0.0
22. たばこ	0	0.0
23. 絆創膏	0	0.0
24. 食品の一部	4	44.4
25. その他	1	11.1



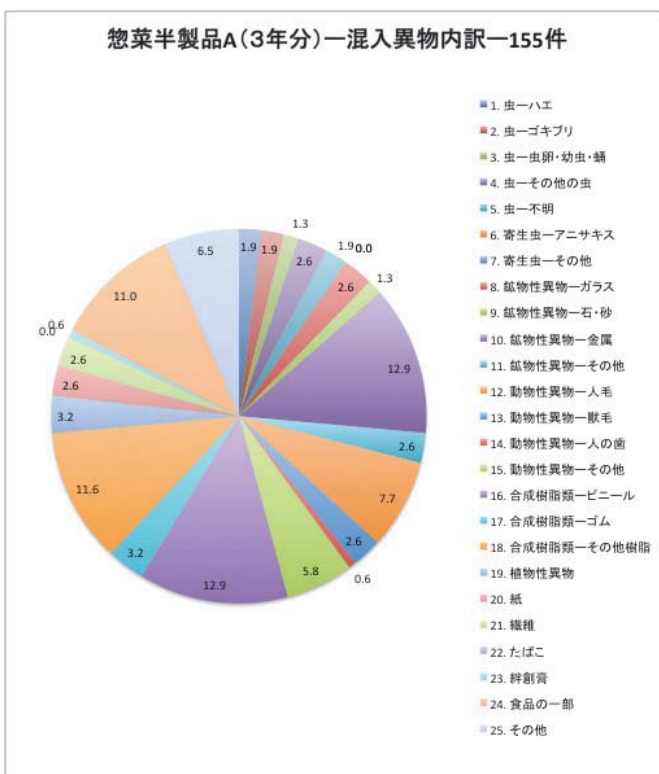
図表 3 J : 調査票 1 総数 (A) の「調理済み食品」の各混入異物の報告数と割合 (H26~H28 年度、総数 6,754 件)

異物の種類	件数ー調理済み食品A(6754件)	割合(%)
1. 虫ーハエ	229	3.4
2. 虫ーゴキブリ	437	6.5
3. 虫ー虫卵・幼虫・蛹	156	2.3
4. 虫ーその他の虫	569	8.4
5. 虫ー不明	208	3.1
6. 寄生虫ーアニサキス	14	0.2
7. 寄生虫ーその他	13	0.2
8. 鉱物性異物ーガラス	109	1.6
9. 鉱物性異物ー石・砂	61	0.9
10. 鉱物性異物ー金属	753	11.1
11. 鉱物性異物ーその他	102	1.5
12. 動物性異物ー人毛	912	13.5
13. 動物性異物ー獣毛	42	0.6
14. 動物性異物ー人の歯	68	1.0
15. 動物性異物ーその他	317	4.7
16. 合成樹脂類ービニール	667	9.9
17. 合成樹脂類ーゴム	88	1.3
18. 合成樹脂類ーその他樹脂	551	8.2
19. 植物性異物	225	3.3
20. 紙	170	2.5
21. 繊維	100	1.5
22. たばこ	22	0.3
23. 絆創膏	59	0.9
24. 食品の一部	457	6.8
25. その他	425	6.3



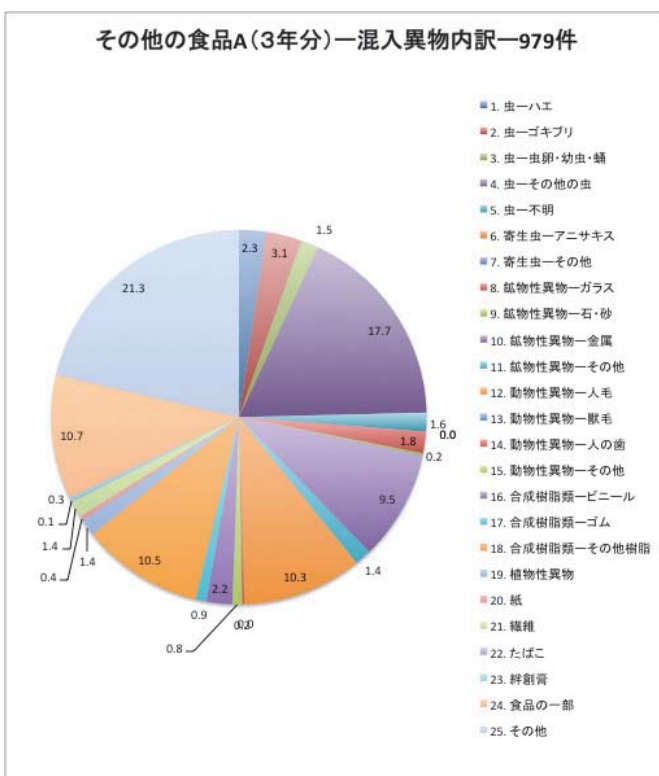
図表 3 K：調査票 1 総数（A）の「惣菜半製品」の各混入異物の報告数と割合（H26～H28 年度、総数 155 件）

異物の種類	件数—惣菜半製品A(155件)	割合(%)
1. 虫—ハエ	3	1.9
2. 虫—ゴキブリ	3	1.9
3. 虫—虫卵・幼虫・蛹	2	1.3
4. 虫—その他の虫	4	2.6
5. 虫—不明	3	1.9
6. 寄生虫—アニサキス	0	0.0
7. 寄生虫—その他	0	0.0
8. 鉱物性異物—ガラス	4	2.6
9. 鉱物性異物—石・砂	2	1.3
10. 鉱物性異物—金属	20	12.9
11. 鉱物性異物—その他	4	2.6
12. 動物性異物—人毛	12	7.7
13. 動物性異物—獣毛	4	2.6
14. 動物性異物—人の歯	1	0.6
15. 動物性異物—その他	9	5.8
16. 合成樹脂類—ビニール	20	12.9
17. 合成樹脂類—ゴム	5	3.2
18. 合成樹脂類—その他樹脂	18	11.6
19. 植物性異物	5	3.2
20. 紙	4	2.6
21. 繊維	4	2.6
22. たばこ	0	0.0
23. 絆創膏	1	0.6
24. 食品の一部	17	11.0
25. その他	10	6.5



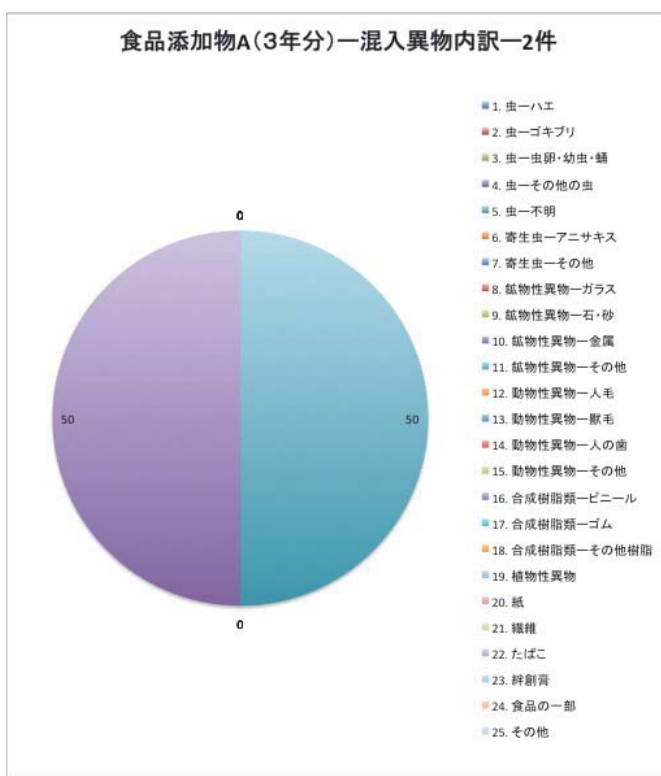
図表 3 L：調査票 1 総数（A）の「その他の食品」の各混入異物の報告数と割合（H26～H28 年度、総数 979 件）

異物の種類	件数—その他の食品A(979件)	割合(%)
1. 虫—ハエ	23	2.3
2. 虫—ゴキブリ	30	3.1
3. 虫—虫卵・幼虫・蛹	15	1.5
4. 虫—その他の虫	173	17.7
5. 虫—不明	16	1.6
6. 寄生虫—アニサキス	0	0.0
7. 寄生虫—その他	0	0.0
8. 鉱物性異物—ガラス	18	1.8
9. 鉱物性異物—石・砂	2	0.2
10. 鉱物性異物—金属	93	9.5
11. 鉱物性異物—その他	14	1.4
12. 動物性異物—人毛	101	10.3
13. 動物性異物—獣毛	0	0.0
14. 動物性異物—人の歯	2	0.2
15. 動物性異物—その他	8	0.8
16. 合成樹脂類—ビニール	22	2.2
17. 合成樹脂類—ゴム	9	0.9
18. 合成樹脂類—その他樹脂	103	10.5
19. 植物性異物	14	1.4
20. 紙	4	0.4
21. 繊維	14	1.4
22. たばこ	1	0.1
23. 絆創膏	3	0.3
24. 食品の一部	105	10.7
25. その他	209	21.3



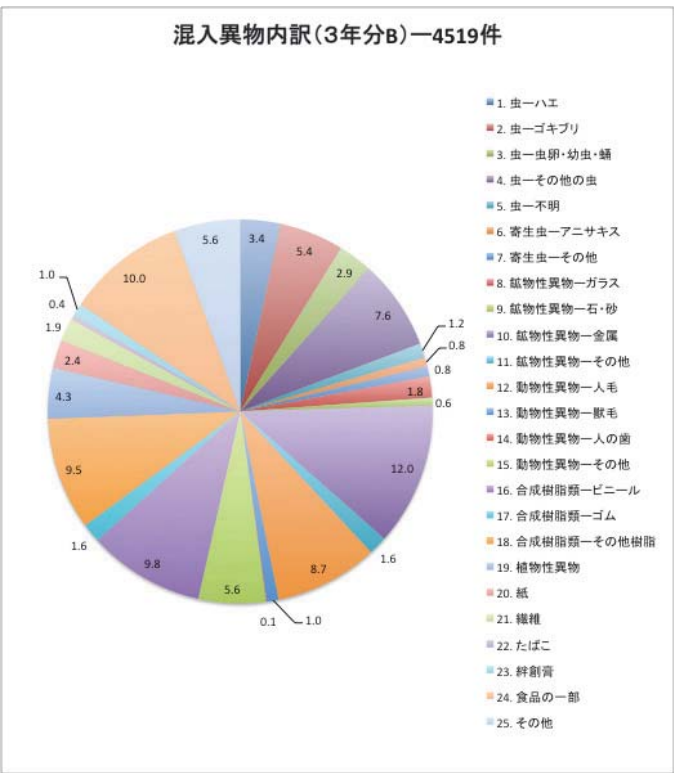
図表 3 M：調査票 1 総数（A）の「食品添加物」の各混入異物の報告数と割合（H26～H28 年度、総数 2 件）

異物の種類	件数—食品添加物A(2件)	割合(%)
1. 虫—ハエ	0	0.0
2. 虫—ゴキブリ	0	0.0
3. 虫—虫卵・幼虫・蛹	0	0.0
4. 虫—その他の虫	0	0.0
5. 虫—不明	1	50.0
6. 寄生虫—アニサキス	0	0.0
7. 寄生虫—その他	0	0.0
8. 鉱物性異物—ガラス	0	0.0
9. 鉱物性異物—石・砂	0	0.0
10. 鉱物性異物—金属	1	50.0
11. 鉱物性異物—その他	0	0.0
12. 動物性異物—人毛	0	0.0
13. 動物性異物—獣毛	0	0.0
14. 動物性異物—人の歯	0	0.0
15. 動物性異物—その他	0	0.0
16. 合成樹脂類—ビニール	0	0.0
17. 合成樹脂類—ゴム	0	0.0
18. 合成樹脂類—その他樹脂	0	0.0
19. 植物性異物	0	0.0
20. 紙	0	0.0
21. 繊維	0	0.0
22. たばこ	0	0.0
23. 絆創膏	0	0.0
24. 食品の一部	0	0.0
25. その他	0	0.0



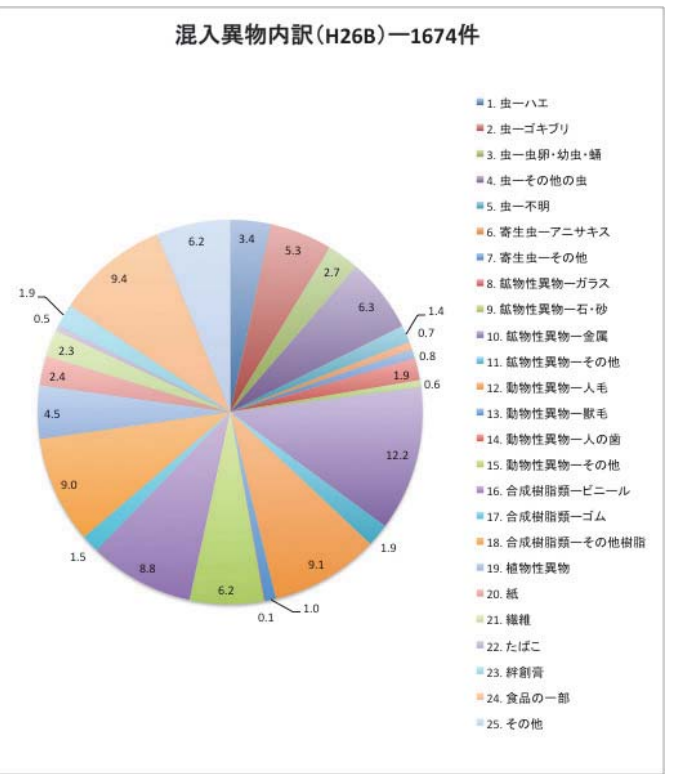
図表 4 A：調査票 1 の事業所事例（B） H26～H28 年度の混入異物内訳。

異物の種類	件数—3年分B(4519件)	割合(%)
1. 虫—ハエ	153	3.4
2. 虫—ゴキブリ	244	5.4
3. 虫—虫卵・幼虫・蛹	129	2.9
4. 虫—その他の虫	344	7.6
5. 虫—不明	55	1.2
6. 寄生虫—アニサキス	34	0.8
7. 寄生虫—その他	38	0.8
8. 鉱物性異物—ガラス	81	1.8
9. 鉱物性異物—石・砂	29	0.6
10. 鉱物性異物—金属	544	12.0
11. 鉱物性異物—その他	71	1.6
12. 動物性異物—人毛	393	8.7
13. 動物性異物—獣毛	45	1.0
14. 動物性異物—人の歯	3	0.1
15. 動物性異物—その他	255	5.6
16. 合成樹脂類—ビニール	443	9.8
17. 合成樹脂類—ゴム	72	1.6
18. 合成樹脂類—その他樹脂	429	9.5
19. 植物性異物	193	4.3
20. 紙	107	2.4
21. 繊維	87	1.9
22. たばこ	19	0.4
23. 絆創膏	47	1.0
24. 食品の一部	453	10.0
25. その他	251	5.6



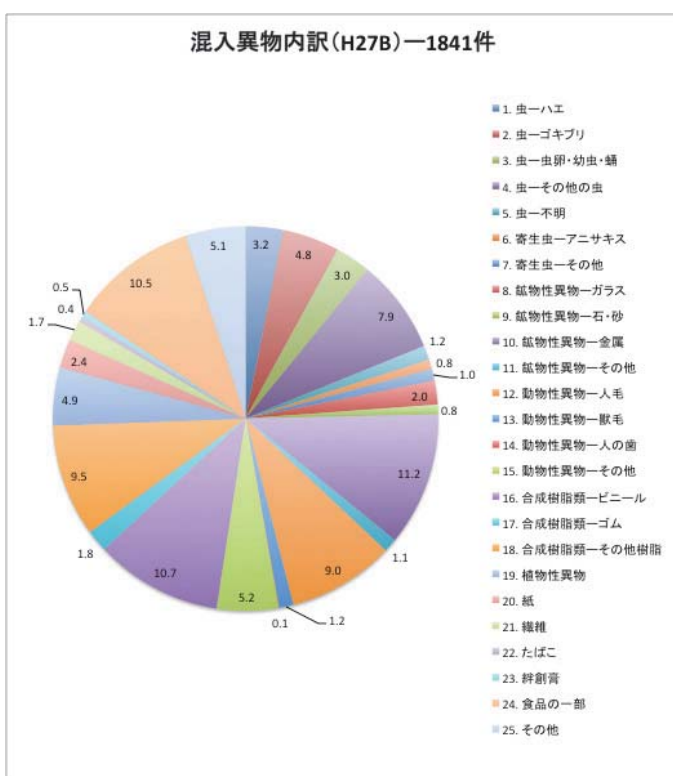
図表 4 B：調査票 1 の事業所事例（B） H26 年度の混入異物内訳。

異物の種類	件数—H26B(1674件)	割合(%)
1. 虫—ハエ	57	3.4
2. 虫—ゴキブリ	88	5.3
3. 虫—虫卵・幼虫・蛹	45	2.7
4. 虫—その他の虫	105	6.3
5. 虫—不明	24	1.4
6. 寄生虫—アニサキス	11	0.7
7. 寄生虫—その他	13	0.8
8. 鉱物性異物—ガラス	31	1.9
9. 鉱物性異物—石・砂	10	0.6
10. 鉱物性異物—金属	204	12.2
11. 鉱物性異物—その他	32	1.9
12. 動物性異物—人毛	153	9.1
13. 動物性異物—獣毛	16	1.0
14. 動物性異物—人の歯	1	0.1
15. 動物性異物—その他	104	6.2
16. 合成樹脂類—ビニール	148	8.8
17. 合成樹脂類—ゴム	25	1.5
18. 合成樹脂類—その他樹脂	151	9.0
19. 植物性異物	75	4.5
20. 紙	41	2.4
21. 繊維	38	2.3
22. たばこ	8	0.5
23. 絆創膏	32	1.9
24. 食品の一部	158	9.4
25. その他	104	6.2



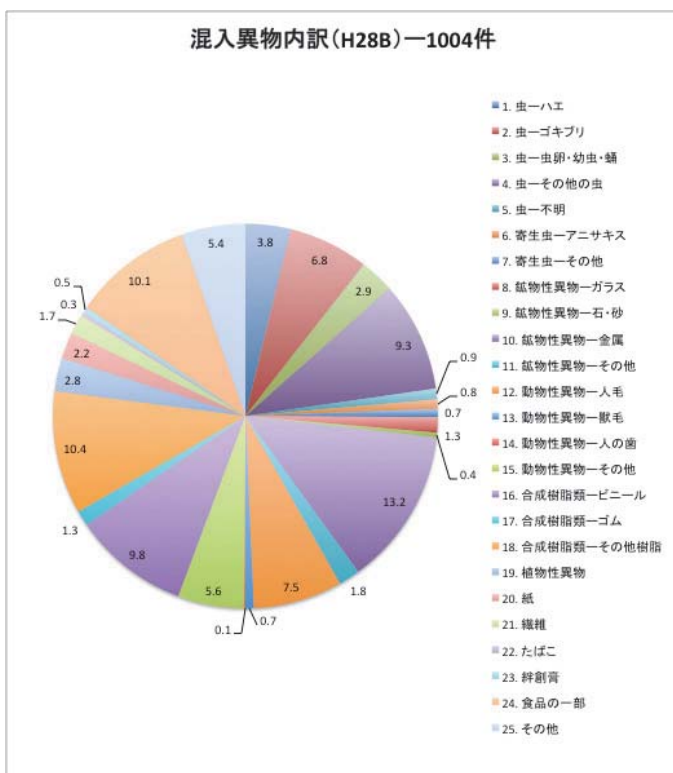
図表 4 C：調査票 1 の事業所事例（B） H27 年度の混入異物内訳。

異物の種類	件数—H27B(1841件)	割合(%)
1. 虫—ハエ	58	3.2
2. 虫—ゴキブリ	88	4.8
3. 虫—虫卵・幼虫・蛹	55	3.0
4. 虫—その他の虫	146	7.9
5. 虫—不明	22	1.2
6. 寄生虫—アニサキス	15	0.8
7. 寄生虫—その他	18	1.0
8. 鉱物性異物—ガラス	37	2.0
9. 鉱物性異物—石・砂	15	0.8
10. 鉱物性異物—金属	207	11.2
11. 鉱物性異物—その他	21	1.1
12. 動物性異物—人毛	165	9.0
13. 動物性異物—獣毛	22	1.2
14. 動物性異物—人の歯	1	0.1
15. 動物性異物—その他	95	5.2
16. 合成樹脂類—ビニール	197	10.7
17. 合成樹脂類—ゴム	34	1.8
18. 合成樹脂類—その他樹脂	174	9.5
19. 植物性異物	90	4.9
20. 紙	44	2.4
21. 繊維	32	1.7
22. たばこ	8	0.4
23. 絆創膏	10	0.5
24. 食品の一部	194	10.5
25. その他	93	5.1



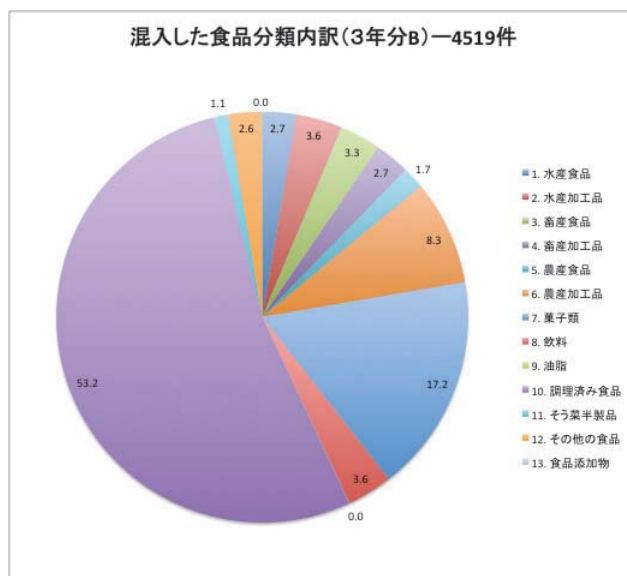
図表 4 D：調査票 1 の事業所事例（B） H28 年度の混入異物内訳。

異物の種類	件数—H28B(1004件)	割合(%)
1. 虫—ハエ	38	3.8
2. 虫—ゴキブリ	68	6.8
3. 虫—虫卵・幼虫・蛹	29	2.9
4. 虫—その他の虫	93	9.3
5. 虫—不明	9	0.9
6. 寄生虫—アニサキス	8	0.8
7. 寄生虫—その他	7	0.7
8. 鉱物性異物—ガラス	13	1.3
9. 鉱物性異物—石・砂	4	0.4
10. 鉱物性異物—金属	133	13.2
11. 鉱物性異物—その他	18	1.8
12. 動物性異物—人毛	75	7.5
13. 動物性異物—獣毛	7	0.7
14. 動物性異物—人の歯	1	0.1
15. 動物性異物—その他	56	5.6
16. 合成樹脂類—ビニール	98	9.8
17. 合成樹脂類—ゴム	13	1.3
18. 合成樹脂類—その他樹脂	104	10.4
19. 植物性異物	28	2.8
20. 紙	22	2.2
21. 繊維	17	1.7
22. たばこ	3	0.3
23. 絆創膏	5	0.5
24. 食品の一部	101	10.1
25. その他	54	5.4



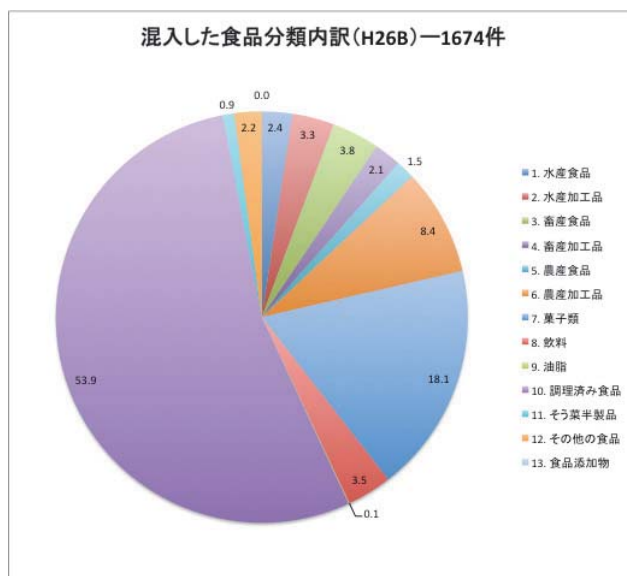
図表 5 A：調査票 1 の事業所事例（B） H26～H28 年度の食品分類内訳。

食品分類	件数—3年分B(4519件)	割合(%)
1. 水産食品	121	2.7
2. 水産加工品	164	3.6
3. 畜産食品	147	3.3
4. 畜産加工品	123	2.7
5. 農産食品	78	1.7
6. 農産加工品	374	8.3
7. 菓子類	776	17.2
8. 飲料	161	3.6
9. 油脂	1	0.0
10. 調理済み食品	2404	53.2
11. そう菜半製品	50	1.1
12. その他の食品	119	2.6
13. 食品添加物	1	0.0



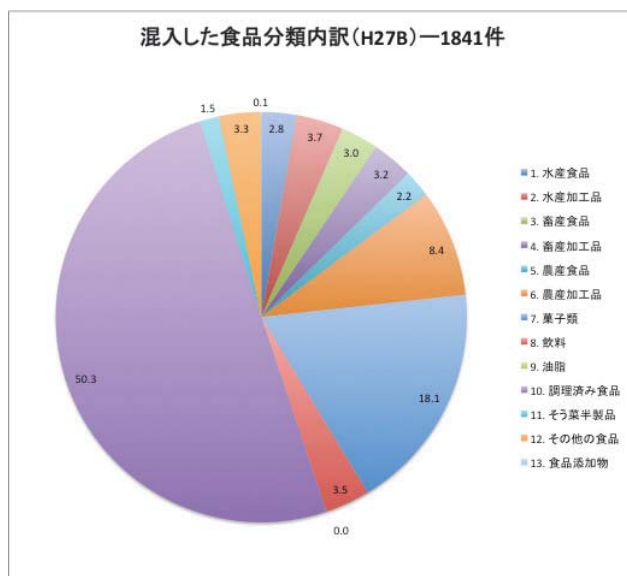
図表 5 B：調査票 1 の事業所事例（B） H26 年度の食品分類内訳。

食品分類	件数—H26B(1674件)	割合(%)
1. 水産食品	40	2.4
2. 水産加工品	55	3.3
3. 畜産食品	63	3.8
4. 畜産加工品	35	2.1
5. 農産食品	25	1.5
6. 農産加工品	140	8.4
7. 菓子類	303	18.1
8. 飲料	59	3.5
9. 油脂	1	0.1
10. 調理済み食品	902	53.9
11. そう菜半製品	15	0.9
12. その他の食品	36	2.2
13. 食品添加物	0	0.0



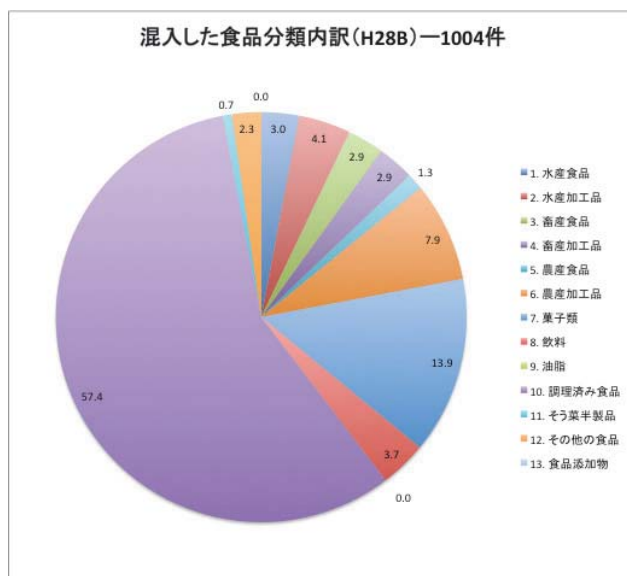
図表 5 C：調査票 1 の事業所事例（B） H27 年度の食品分類内訳。

食品分類	件数—H27B(1841件)	割合(%)
1. 水産食品	51	2.8
2. 水産加工品	68	3.7
3. 畜産食品	55	3.0
4. 畜産加工品	59	3.2
5. 農産食品	40	2.2
6. 農産加工品	155	8.4
7. 菓子類	333	18.1
8. 飲料	65	3.5
9. 油脂	0	0.0
10. 調理済み食品	926	50.3
11. そう菜半製品	28	1.5
12. その他の食品	60	3.3
13. 食品添加物	1	0.1



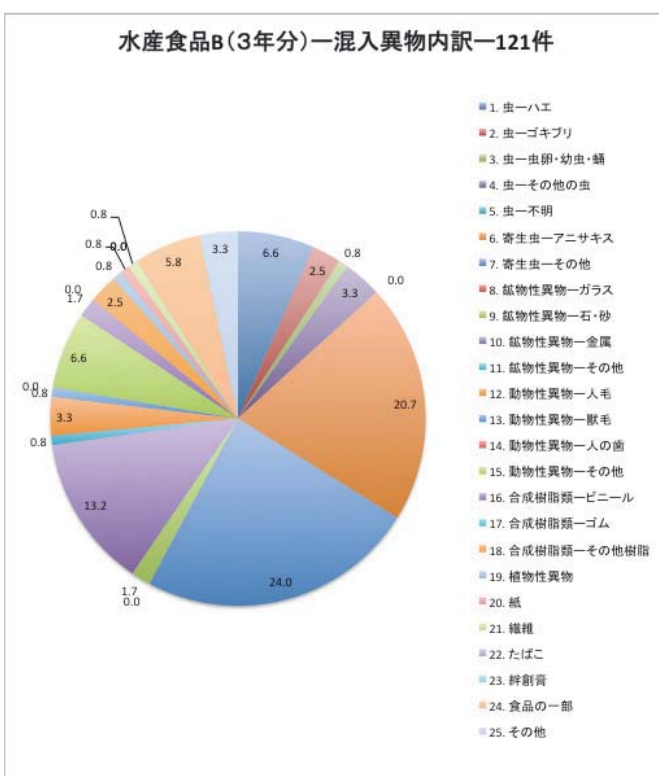
図表 5 D：調査票 1 の事業所事例（B） H28 年度の食品分類内訳。

食品分類	件数—H28B(1004件)	割合(%)
1. 水産食品	30	3.0
2. 水産加工品	41	4.1
3. 畜産食品	29	2.9
4. 畜産加工品	29	2.9
5. 農産食品	13	1.3
6. 農産加工品	79	7.9
7. 菓子類	140	13.9
8. 飲料	37	3.7
9. 油脂	0	0.0
10. 調理済み食品	576	57.4
11. そう菜半製品	7	0.7
12. その他の食品	23	2.3
13. 食品添加物	0	0.0



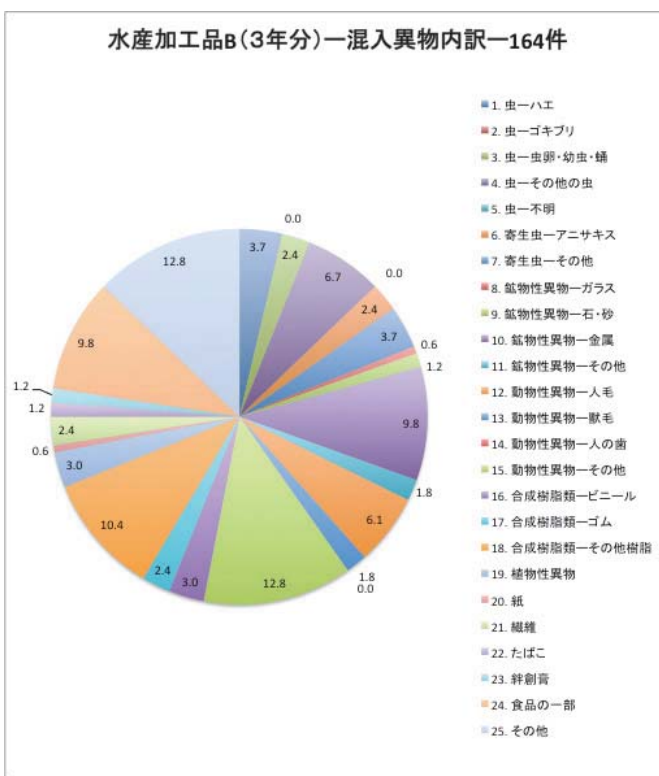
図表 6 A：調査票 1 事業所（B）の「水産食品」の各混入異物の報告数と割合（H26～H28 年度、総数 121 件）

異物の種類	件数—水産食品B(121件)	割合(%)
1. 虫—ハエ	8	6.6
2. 虫—ゴキブリ	3	2.5
3. 虫—虫卵・幼虫・蛹	1	0.8
4. 虫—その他の虫	4	3.3
5. 虫—不明	0	0.0
6. 寄生虫—アニサキス	25	20.7
7. 寄生虫—その他	29	24.0
8. 鉱物性異物—ガラス	0	0.0
9. 鉱物性異物—石・砂	2	1.7
10. 鉱物性異物—金属	16	13.2
11. 鉱物性異物—その他	1	0.8
12. 動物性異物—人毛	4	3.3
13. 動物性異物—獣毛	1	0.8
14. 動物性異物—人の歯	0	0.0
15. 動物性異物—その他	8	6.6
16. 合成樹脂類—ビニール	2	1.7
17. 合成樹脂類—ゴム	0	0.0
18. 合成樹脂類—その他樹脂	3	2.5
19. 植物性異物	1	0.8
20. 紙	1	0.8
21. 繊維	1	0.8
22. たばこ	0	0.0
23. 絆創膏	0	0.0
24. 食品の一部	7	5.8
25. その他	4	3.3



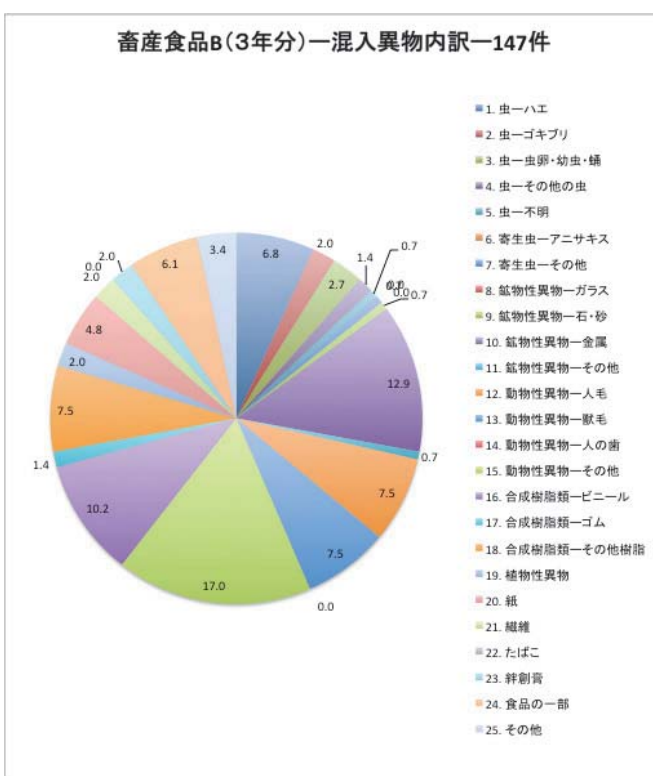
図表 6 B：調査票 1 事業所（B）の「水産加工品」の各混入異物の報告数と割合（H26～H28 年度、総数 164 件）

異物の種類	件数—水産加工品B(164件)	割合(%)
1. 虫—ハエ	6	3.7
2. 虫—ゴキブリ	0	0.0
3. 虫—虫卵・幼虫・蛹	4	2.4
4. 虫—その他の虫	11	6.7
5. 虫—不明	0	0.0
6. 寄生虫—アニサキス	4	2.4
7. 寄生虫—その他	6	3.7
8. 鉱物性異物—ガラス	1	0.6
9. 鉱物性異物—石・砂	2	1.2
10. 鉱物性異物—金属	16	9.8
11. 鉱物性異物—その他	3	1.8
12. 動物性異物—人毛	10	6.1
13. 動物性異物—獣毛	3	1.8
14. 動物性異物—人の歯	0	0.0
15. 動物性異物—その他	21	12.8
16. 合成樹脂類—ビニール	5	3.0
17. 合成樹脂類—ゴム	4	2.4
18. 合成樹脂類—その他樹脂	17	10.4
19. 植物性異物	5	3.0
20. 紙	1	0.6
21. 繊維	4	2.4
22. たばこ	2	1.2
23. 絆創膏	2	1.2
24. 食品の一部	16	9.8
25. その他	21	12.8



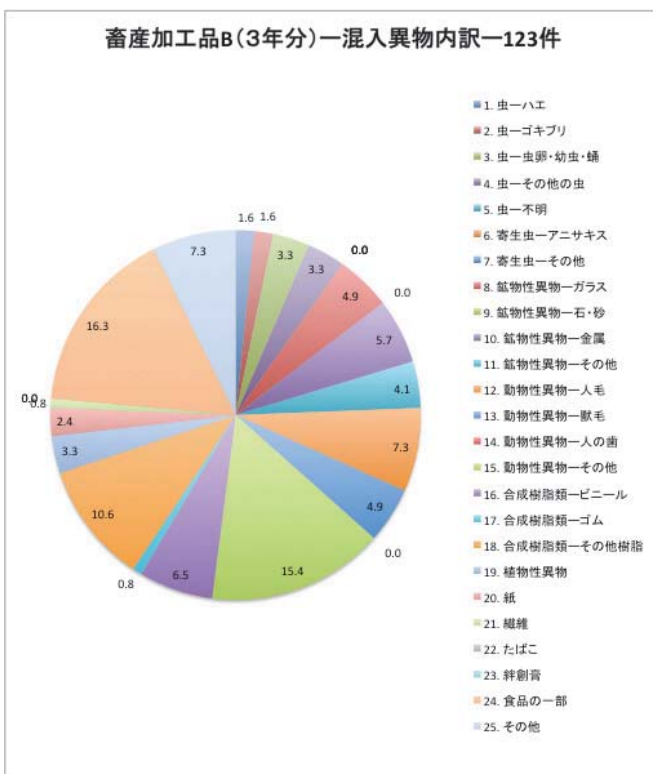
図表 6 C：調査票 1 事業所（B）の「畜産食品」の各混入異物の報告数と割合（H26～H28 年度、総数 147 件）

異物の種類	件数—畜産食品B(147件)	割合(%)
1. 虫—ハエ	10	6.8
2. 虫—ゴキブリ	3	2.0
3. 虫—虫卵・幼虫・蛹	4	2.7
4. 虫—その他の虫	2	1.4
5. 虫—不明	1	0.7
6. 寄生虫—アニサキス	0	0.0
7. 寄生虫—その他	1	0.7
8. 鉱物性異物—ガラス	0	0.0
9. 鉱物性異物—石・砂	1	0.7
10. 鉱物性異物—金属	19	12.9
11. 鉱物性異物—その他	1	0.7
12. 動物性異物—人毛	11	7.5
13. 動物性異物—獣毛	11	7.5
14. 動物性異物—人の歯	0	0.0
15. 動物性異物—その他	25	17.0
16. 合成樹脂類—ビニール	15	10.2
17. 合成樹脂類—ゴム	2	1.4
18. 合成樹脂類—その他樹脂	11	7.5
19. 植物性異物	3	2.0
20. 紙	7	4.8
21. 繊維	3	2.0
22. たばこ	0	0.0
23. 絆創膏	3	2.0
24. 食品の一部	9	6.1
25. その他	5	3.4



図表 6 D：調査票 1 事業所（B）の「畜産加工品」の各混入異物の報告数と割合（H26～H28 年度、総数 123 件）

異物の種類	件数—畜産加工品B(123件)	割合(%)
1. 虫—ハエ	2	1.6
2. 虫—ゴキブリ	2	1.6
3. 虫—虫卵・幼虫・蛹	4	3.3
4. 虫—その他の虫	4	3.3
5. 虫—不明	0	0.0
6. 寄生虫—アニサキス	0	0.0
7. 寄生虫—その他	0	0.0
8. 鉱物性異物—ガラス	6	4.9
9. 鉱物性異物—石・砂	0	0.0
10. 鉱物性異物—金属	7	5.7
11. 鉱物性異物—その他	5	4.1
12. 動物性異物—人毛	9	7.3
13. 動物性異物—獣毛	6	4.9
14. 動物性異物—人の歯	0	0.0
15. 動物性異物—その他	19	15.4
16. 合成樹脂類—ビニール	8	6.5
17. 合成樹脂類—ゴム	1	0.8
18. 合成樹脂類—その他樹脂	13	10.6
19. 植物性異物	4	3.3
20. 紙	3	2.4
21. 繊維	1	0.8
22. たばこ	0	0.0
23. 絆創膏	0	0.0
24. 食品の一部	20	16.3
25. その他	9	7.3



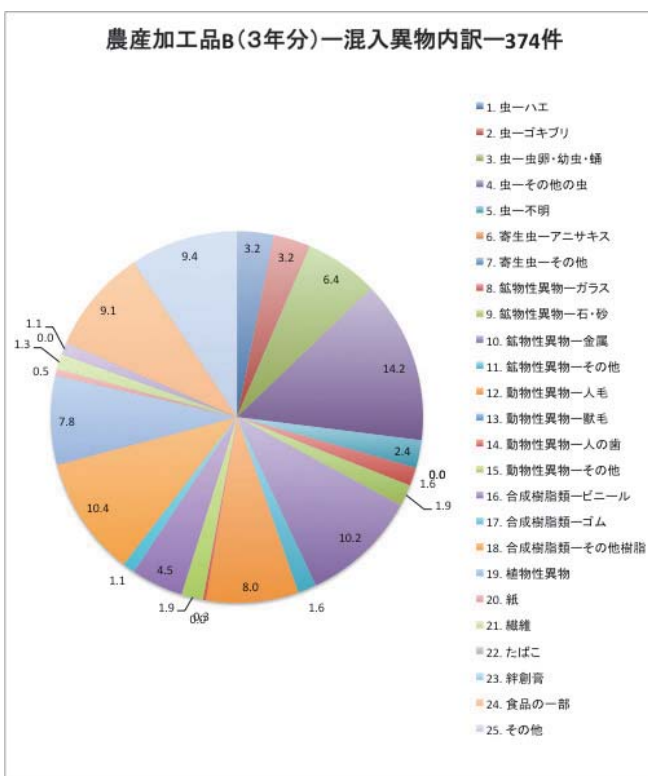
図表 6 E：調査票 1 事業所（B）の「農産食品」の各混入異物の報告数と割合（H26～H28 年度、総数 78 件）

異物の種類	件数—農産食品B(78件)	割合(%)
1. 虫—ハエ	5	6.4
2. 虫—ゴキブリ	5	6.4
3. 虫—虫卵・幼虫・蛹	8	10.3
4. 虫—その他の虫	18	23.1
5. 虫—不明	2	2.6
6. 寄生虫—アニサキス	0	0.0
7. 寄生虫—その他	0	0.0
8. 鉱物性異物—ガラス	0	0.0
9. 鉱物性異物—石・砂	0	0.0
10. 鉱物性異物—金属	8	10.3
11. 鉱物性異物—その他	0	0.0
12. 動物性異物—人毛	5	6.4
13. 動物性異物—獣毛	2	2.6
14. 動物性異物—人の歯	0	0.0
15. 動物性異物—その他	0	0.0
16. 合成樹脂類—ビニール	0	0.0
17. 合成樹脂類—ゴム	1	1.3
18. 合成樹脂類—その他樹脂	4	5.1
19. 植物性異物	7	9.0
20. 紙	1	1.3
21. 繊維	0	0.0
22. たばこ	1	1.3
23. 絆創膏	1	1.3
24. 食品の一部	6	7.7
25. その他	4	5.1



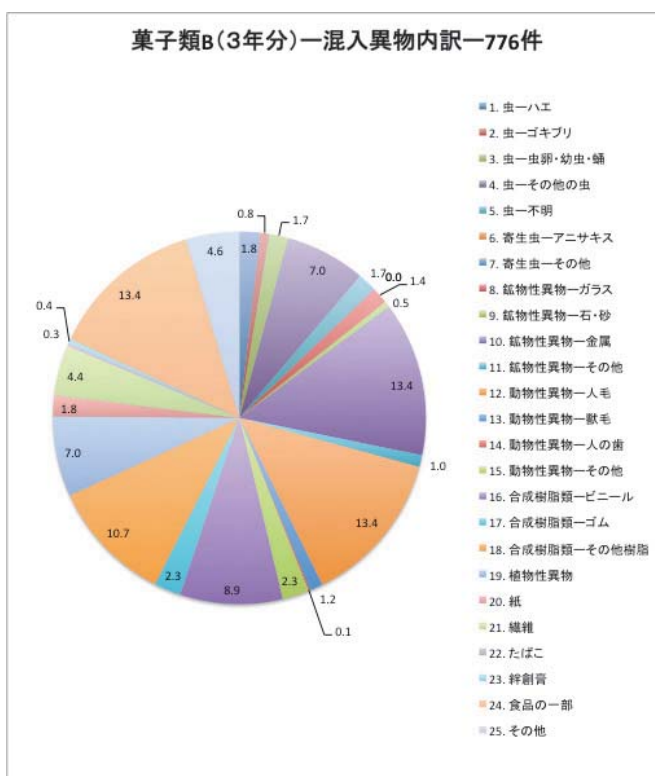
図表 6 F：調査票 1 事業所（B）の「農産加工品」の各混入異物の報告数と割合（H26～H28 年度、総数 374 件）

異物の種類	件数—農産加工品B(374件)	割合(%)
1. 虫—ハエ	12	3.2
2. 虫—ゴキブリ	12	3.2
3. 虫—虫卵・幼虫・蛹	24	6.4
4. 虫—その他の虫	53	14.2
5. 虫—不明	9	2.4
6. 寄生虫—アニサキス	0	0.0
7. 寄生虫—その他	0	0.0
8. 鉱物性異物—ガラス	6	1.6
9. 鉱物性異物—石・砂	7	1.9
10. 鉱物性異物—金属	38	10.2
11. 鉱物性異物—その他	6	1.6
12. 動物性異物—人毛	30	8.0
13. 動物性異物—獣毛	0	0.0
14. 動物性異物—人の歯	1	0.3
15. 動物性異物—その他	7	1.9
16. 合成樹脂類—ビニール	17	4.5
17. 合成樹脂類—ゴム	4	1.1
18. 合成樹脂類—その他樹脂	39	10.4
19. 植物性異物	29	7.8
20. 紙	2	0.5
21. 繊維	5	1.3
22. たばこ	4	1.1
23. 絆創膏	0	0.0
24. 食品の一部	34	9.1
25. その他	35	9.4



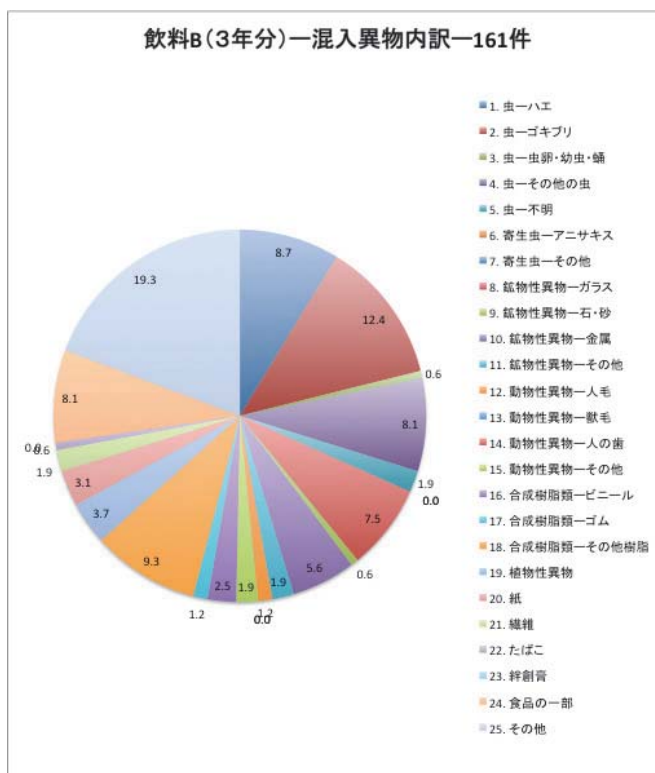
図表 6 G : 調査票 1 事業所 (B) の「菓子類」の各混入異物の報告数と割合 (H26~H28 年度、総数 776 件)

異物の種類	件数—菓子類B(776件)	割合(%)
1. 虫—ハエ	14	1.8
2. 虫—ゴキブリ	6	0.8
3. 虫—虫卵・幼虫・蛹	13	1.7
4. 虫—その他の虫	54	7.0
5. 虫—不明	13	1.7
6. 寄生虫—アニサキス	0	0.0
7. 寄生虫—その他	0	0.0
8. 鉱物性異物—ガラス	11	1.4
9. 鉱物性異物—石・砂	4	0.5
10. 鉱物性異物—金属	104	13.4
11. 鉱物性異物—その他	8	1.0
12. 動物性異物—人毛	104	13.4
13. 動物性異物—獣毛	9	1.2
14. 動物性異物—人の歯	1	0.1
15. 動物性異物—その他	18	2.3
16. 合成樹脂類—ビニール	69	8.9
17. 合成樹脂類—ゴム	18	2.3
18. 合成樹脂類—その他樹脂	83	10.7
19. 植物性異物	54	7.0
20. 紙	14	1.8
21. 繊維	34	4.4
22. たばこ	2	0.3
23. 絆創膏	3	0.4
24. 食品の一部	104	13.4
25. その他	36	4.6



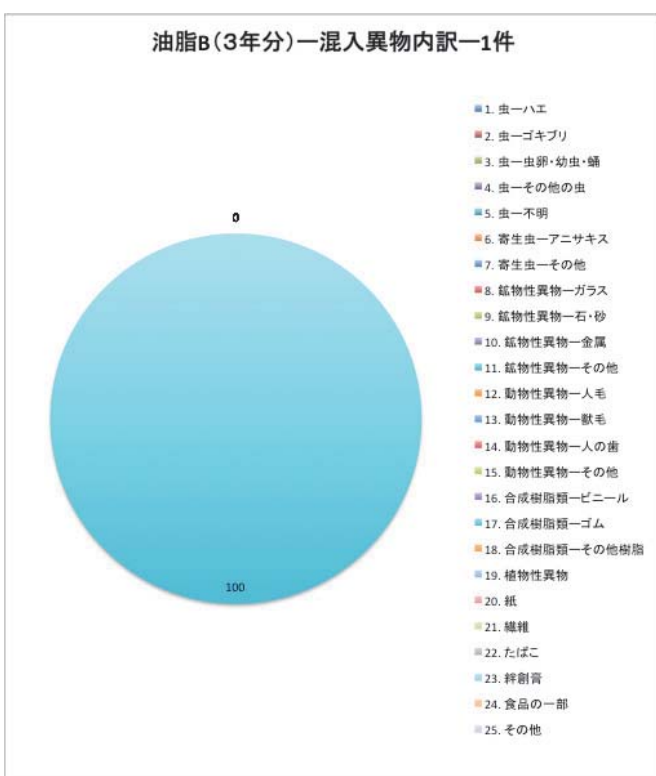
図表 6 H : 調査票 1 事業所 (B) の「飲料」の各混入異物の報告数と割合 (H26~H28 年度、総数 161 件)

異物の種類	件数—飲料B(161件)	割合(%)
1. 虫—ハエ	14	8.7
2. 虫—ゴキブリ	20	12.4
3. 虫—虫卵・幼虫・蛹	1	0.6
4. 虫—その他の虫	13	8.1
5. 虫—不明	3	1.9
6. 寄生虫—アニサキス	0	0.0
7. 寄生虫—その他	0	0.0
8. 鉱物性異物—ガラス	12	7.5
9. 鉱物性異物—石・砂	1	0.6
10. 鉱物性異物—金属	9	5.6
11. 鉱物性異物—その他	3	1.9
12. 動物性異物—人毛	2	1.2
13. 動物性異物—獣毛	0	0.0
14. 動物性異物—人の歯	0	0.0
15. 動物性異物—その他	3	1.9
16. 合成樹脂類—ビニール	4	2.5
17. 合成樹脂類—ゴム	2	1.2
18. 合成樹脂類—その他樹脂	15	9.3
19. 植物性異物	6	3.7
20. 紙	5	3.1
21. 繊維	3	1.9
22. たばこ	1	0.6
23. 絆創膏	0	0.0
24. 食品の一部	13	8.1
25. その他	31	19.3



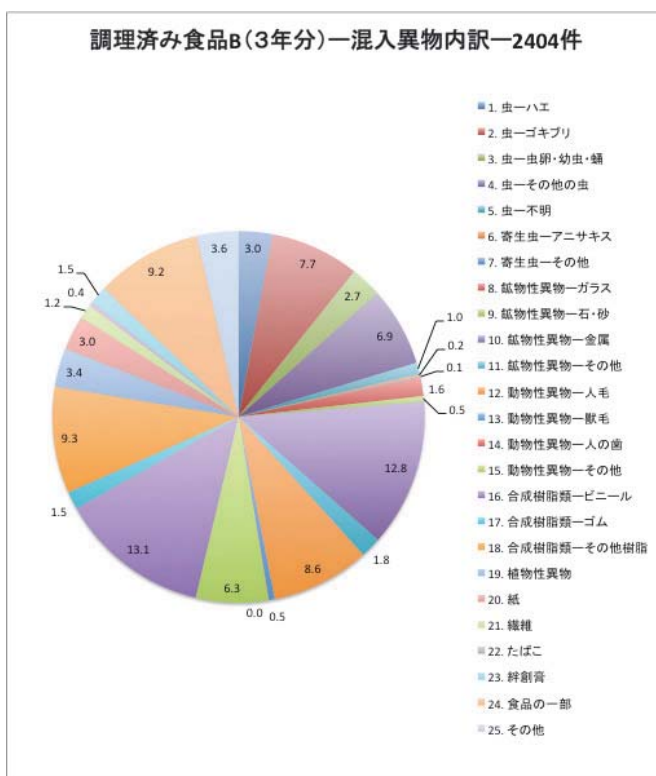
図表 6 I : 調査票 1 事業所 (B) の「油脂」の各混入異物の報告数と割合 (H26~H28 年度、総数 1 件)

異物の種類	件数—油脂B(1件)	割合(%)
1. 虫—ハエ	0	0.0
2. 虫—ゴキブリ	0	0.0
3. 虫—虫卵・幼虫・蛹	0	0.0
4. 虫—その他の虫	0	0.0
5. 虫—不明	0	0.0
6. 寄生虫—アニサキス	0	0.0
7. 寄生虫—その他	0	0.0
8. 鉱物性異物—ガラス	0	0.0
9. 鉱物性異物—石・砂	0	0.0
10. 鉱物性異物—金属	0	0.0
11. 鉱物性異物—その他	0	0.0
12. 動物性異物—人毛	0	0.0
13. 動物性異物—獣毛	0	0.0
14. 動物性異物—人の歯	0	0.0
15. 動物性異物—その他	0	0.0
16. 合成樹脂類—ビニール	0	0.0
17. 合成樹脂類—ゴム	1	100.0
18. 合成樹脂類—その他樹脂	0	0.0
19. 植物性異物	0	0.0
20. 紙	0	0.0
21. 繊維	0	0.0
22. たばこ	0	0.0
23. 絆創膏	0	0.0
24. 食品の一部	0	0.0
25. その他	0	0.0



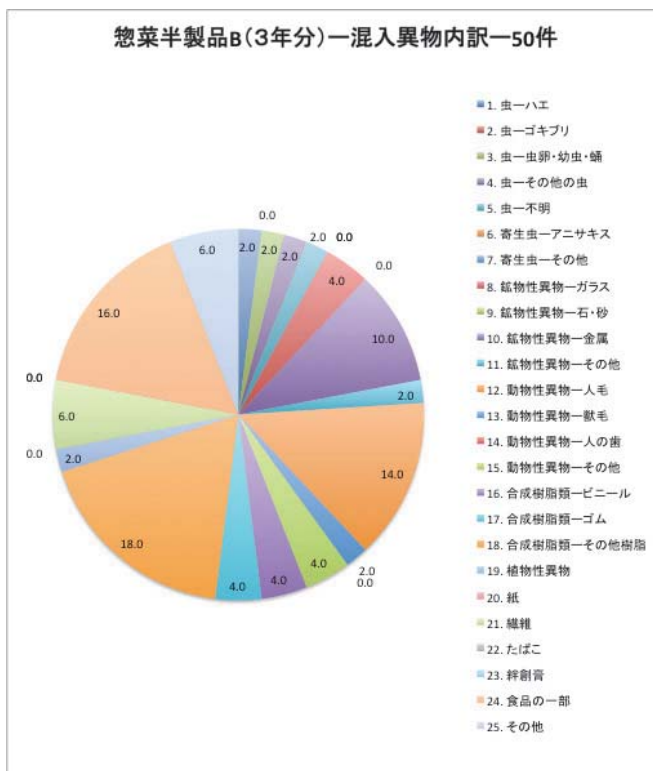
図表 6 J : 調査票 1 事業所 (B) の「調理済み食品」の各混入異物の報告数と割合 (H26~H28 年度、総数 2,404 件)

異物の種類	件数—調理済み食品B(2404件)	割合(%)
1. 虫—ハエ	71	3.0
2. 虫—ゴキブリ	186	7.7
3. 虫—虫卵・幼虫・蛹	65	2.7
4. 虫—その他の虫	166	6.9
5. 虫—不明	24	1.0
6. 寄生虫—アニサキス	5	0.2
7. 寄生虫—その他	2	0.1
8. 鉱物性異物—ガラス	39	1.6
9. 鉱物性異物—石・砂	12	0.5
10. 鉱物性異物—金属	308	12.8
11. 鉱物性異物—その他	43	1.8
12. 動物性異物—人毛	206	8.6
13. 動物性異物—獣毛	12	0.5
14. 動物性異物—人の歯	1	0.0
15. 動物性異物—その他	151	6.3
16. 合成樹脂類—ビニール	315	13.1
17. 合成樹脂類—ゴム	37	1.5
18. 合成樹脂類—その他樹脂	223	9.3
19. 植物性異物	81	3.4
20. 紙	72	3.0
21. 繊維	30	1.2
22. たばこ	9	0.4
23. 絆創膏	37	1.5
24. 食品の一部	222	9.2
25. その他	87	3.6



図表 6 K：調査票 1 事業所（B）の「惣菜半製品」の各混入異物の報告数と割合（H26～H28 年度、総数 50 件）

異物の種類	件数—惣菜半製品B(50件)	割合(%)
1. 虫—ハエ	1	2.0
2. 虫—ゴキブリ	0	0.0
3. 虫—虫卵・幼虫・蛹	1	2.0
4. 虫—その他の虫	1	2.0
5. 虫—不明	1	2.0
6. 寄生虫—アニサキス	0	0.0
7. 寄生虫—その他	0	0.0
8. 鉱物性異物—ガラス	2	4.0
9. 鉱物性異物—石・砂	0	0.0
10. 鉱物性異物—金属	5	10.0
11. 鉱物性異物—その他	1	2.0
12. 動物性異物—人毛	7	14.0
13. 動物性異物—獣毛	1	2.0
14. 動物性異物—人の歯	0	0.0
15. 動物性異物—その他	2	4.0
16. 合成樹脂類—ビニール	2	4.0
17. 合成樹脂類—ゴム	2	4.0
18. 合成樹脂類—その他樹脂	9	18.0
19. 植物性異物	1	2.0
20. 紙	0	0.0
21. 繊維	3	6.0
22. たばこ	0	0.0
23. 絆創膏	0	0.0
24. 食品の一部	8	16.0
25. その他	3	6.0



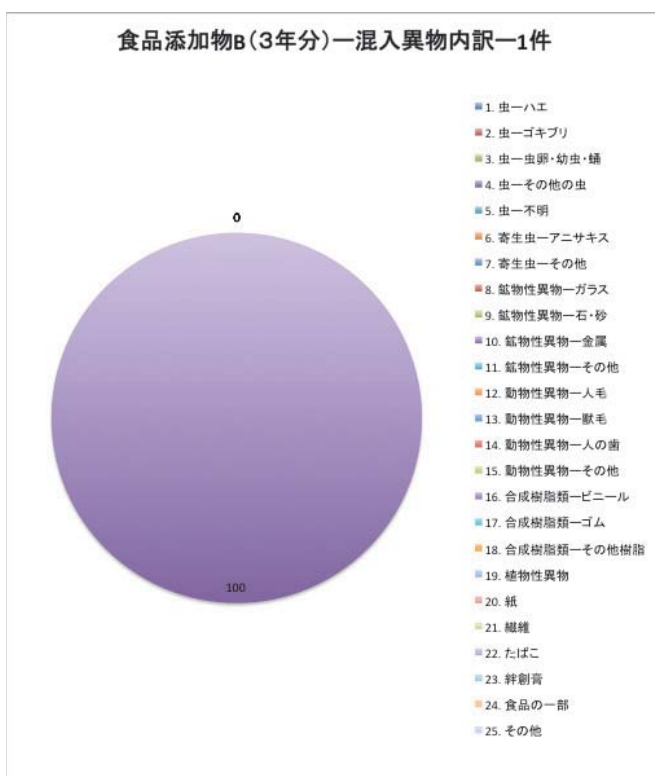
図表 6 L：調査票 1 事業所（B）の「その他食品」の各混入異物の報告数と割合（H26～H28 年度、総数 119 件）

異物の種類	件数—その他の食品B(119件)	割合(%)
1. 虫—ハエ	10	8.4
2. 虫—ゴキブリ	7	5.9
3. 虫—虫卵・幼虫・蛹	4	3.4
4. 虫—その他の虫	18	15.1
5. 虫—不明	2	1.7
6. 寄生虫—アニサキス	0	0.0
7. 寄生虫—その他	0	0.0
8. 鉱物性異物—ガラス	4	3.4
9. 鉱物性異物—石・砂	0	0.0
10. 鉱物性異物—金属	13	10.9
11. 鉱物性異物—その他	0	0.0
12. 動物性異物—人毛	5	4.2
13. 動物性異物—獣毛	0	0.0
14. 動物性異物—人の歯	0	0.0
15. 動物性異物—その他	1	0.8
16. 合成樹脂類—ビニール	6	5.0
17. 合成樹脂類—ゴム	0	0.0
18. 合成樹脂類—その他樹脂	12	10.1
19. 植物性異物	2	1.7
20. 紙	1	0.8
21. 繊維	3	2.5
22. たばこ	0	0.0
23. 絆創膏	1	0.8
24. 食品の一部	14	11.8
25. その他	16	13.4



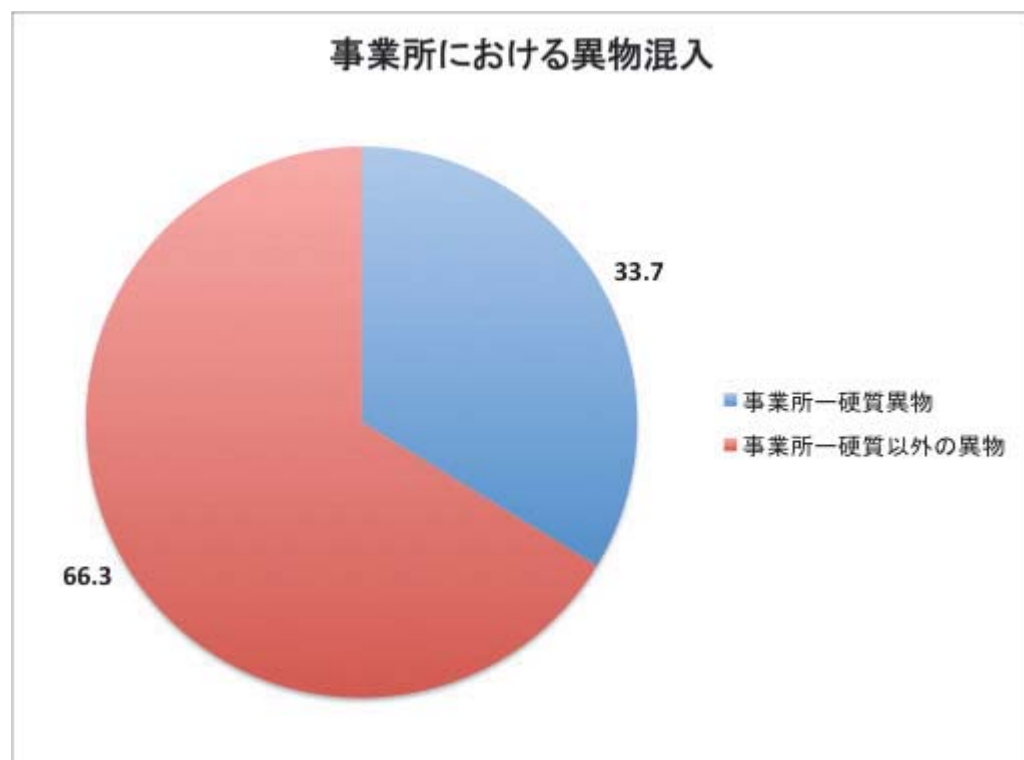
図表 6 M : 調査票 1 事業所 (B) の「食品添加物」の各混入異物の報告数と割合 (H26~H28 年度、総数 1 件)

異物の種類	件数—食品添加物B(1件)	割合(%)
1. 虫—ハエ	0	0.0
2. 虫—ゴキブリ	0	0.0
3. 虫—虫卵・幼虫・蛹	0	0.0
4. 虫—その他の虫	0	0.0
5. 虫—不明	0	0.0
6. 寄生虫—アニサキス	0	0.0
7. 寄生虫—その他	0	0.0
8. 鉱物性異物—ガラス	0	0.0
9. 鉱物性異物—石・砂	0	0.0
10. 鉱物性異物—金属	1	100.0
11. 鉱物性異物—その他	0	0.0
12. 動物性異物—人毛	0	0.0
13. 動物性異物—獣毛	0	0.0
14. 動物性異物—人の歯	0	0.0
15. 動物性異物—その他	0	0.0
16. 合成樹脂類—ビニール	0	0.0
17. 合成樹脂類—ゴム	0	0.0
18. 合成樹脂類—その他樹脂	0	0.0
19. 植物性異物	0	0.0
20. 紙	0	0.0
21. 繊維	0	0.0
22. たばこ	0	0.0
23. 絆創膏	0	0.0
24. 食品の一部	0	0.0
25. その他	0	0.0



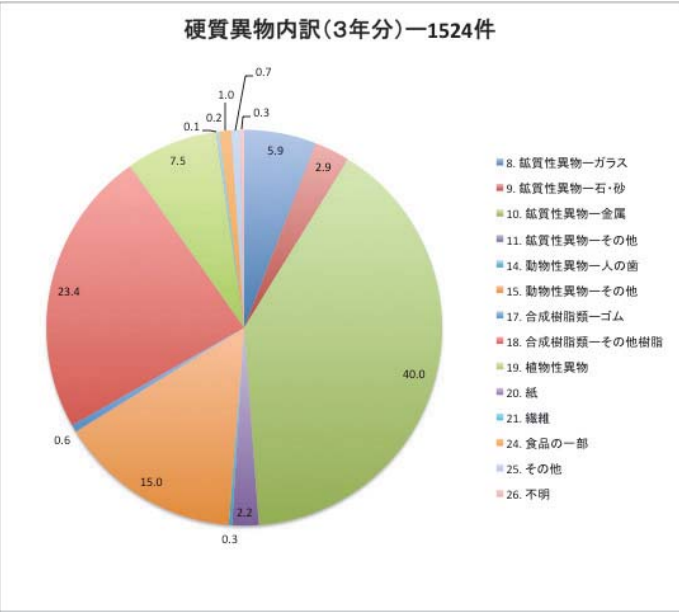
図表 7：事業所における全異物混入事例（4,519 件）と硬質異物混入事例（1,524 件）（調査票 1 および 2）

	件数－3年分(4519件)	割合(%)
事業所－硬質異物	1524	33.7
事業所－硬質以外の異物	2995	66.3



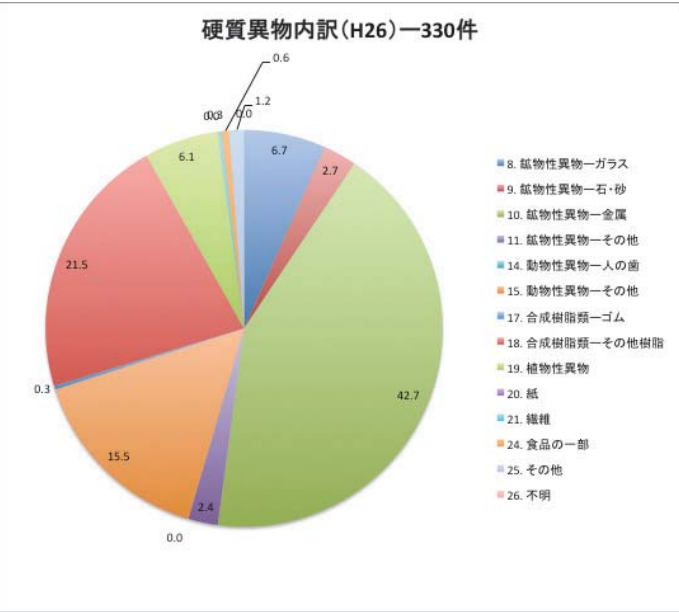
図表 8 A：事業所における硬質異物混入事例（調査票 2）の H26～H28 年度の混入異物内訳。

異物の種類	件数—3年分—硬質(1524件)	割合(%)
8. 鉱物性異物—ガラス	90	5.9
9. 鉱物性異物—石・砂	44	2.9
10. 鉱物性異物—金属	610	40.0
11. 鉱物性異物—その他	33	2.2
14. 動物性異物—人の歯	4	0.3
15. 動物性異物—その他	228	15.0
17. 合成樹脂類—ゴム	9	0.6
18. 合成樹脂類—その他樹脂	357	23.4
19. 植物性異物	114	7.5
20. 紙	1	0.1
21. 繊維	3	0.2
24. 食品の一部	15	1.0
25. その他	11	0.7
26. 不明	5	0.3



図表 8 B：事業所における硬質異物混入事例（調査票 2）の H26 年度の混入異物内訳。

異物の種類	件数—H26—硬質(330件)	割合(%)
8. 鉱物性異物—ガラス	22	6.7
9. 鉱物性異物—石・砂	9	2.7
10. 鉱物性異物—金属	141	42.7
11. 鉱物性異物—その他	8	2.4
14. 動物性異物—人の歯	0	0.0
15. 動物性異物—その他	51	15.5
17. 合成樹脂類—ゴム	1	0.3
18. 合成樹脂類—その他樹脂	71	21.5
19. 植物性異物	20	6.1
20. 紙	0	0.0
21. 繊維	1	0.3
24. 食品の一部	2	0.6
25. その他	4	1.2
26. 不明	0	0.0



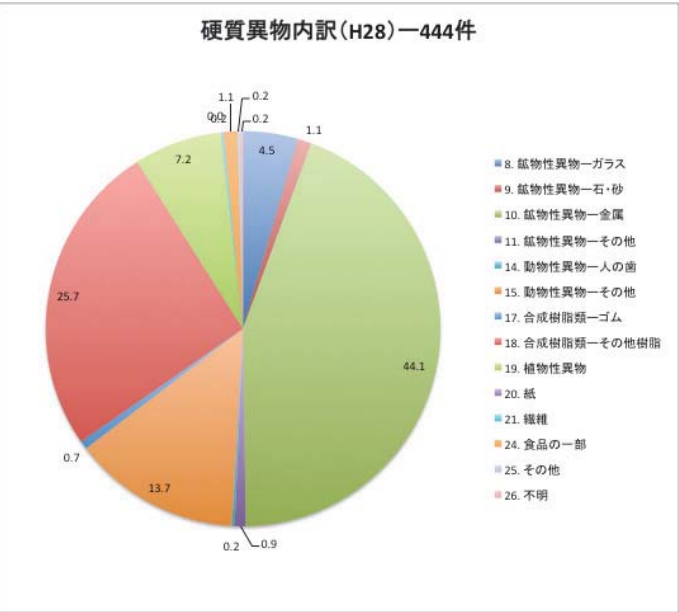
図表 8 C：事業所における硬質異物混入事例（調査票 2）の H27 年度の混入異物内訳。

異物の種類	件数—H27—硬質(750件)	割合(%)
8. 鉱物性異物—ガラス	48	6.4
9. 鉱物性異物—石・砂	30	4.0
10. 鉱物性異物—金属	273	36.4
11. 鉱物性異物—その他	21	2.8
14. 動物性異物—人の歯	3	0.4
15. 動物性異物—その他	116	15.5
17. 合成樹脂類—ゴム	5	0.7
18. 合成樹脂類—その他樹脂	172	22.9
19. 植物性異物	62	8.3
20. 紙	1	0.1
21. 繊維	1	0.1
24. 食品の一部	8	1.1
25. その他	6	0.8
26. 不明	4	0.5



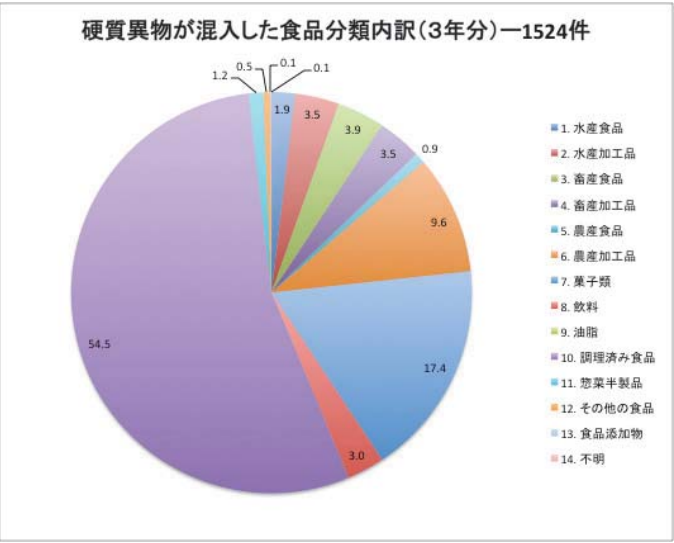
図表 8 D：事業所における硬質異物混入事例（調査票 2）の H28 年度の混入異物内訳。

異物の種類	件数—H28—硬質(444件)	割合(%)
8. 鉱物性異物—ガラス	20	4.5
9. 鉱物性異物—石・砂	5	1.1
10. 鉱物性異物—金属	196	44.1
11. 鉱物性異物—その他	4	0.9
14. 動物性異物—人の歯	1	0.2
15. 動物性異物—その他	61	13.7
17. 合成樹脂類—ゴム	3	0.7
18. 合成樹脂類—その他樹脂	114	25.7
19. 植物性異物	32	7.2
20. 紙	0	0.0
21. 繊維	1	0.2
24. 食品の一部	5	1.1
25. その他	1	0.2
26. 不明	1	0.2



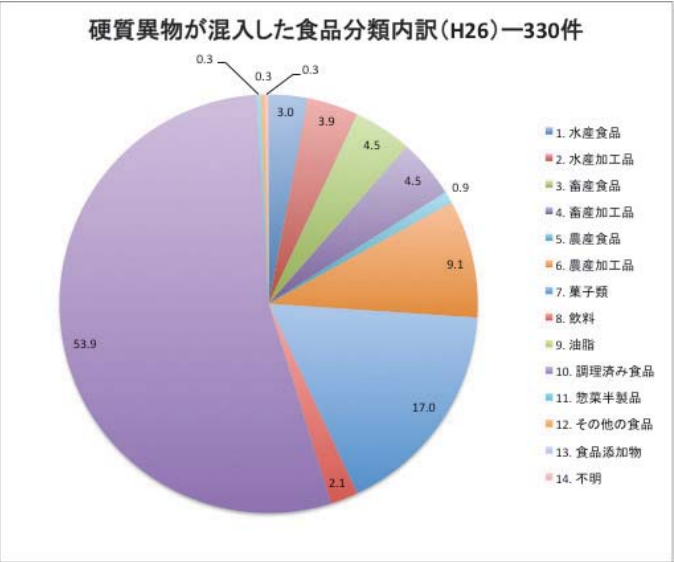
図表 9 A：調査票 2 の硬質異物混入事例における混入食品内訳（H26～H28 年度、総計 1,524 件）

食品分類	件数—硬質3年分(1524件)	割合(%)
1. 水産食品	29	1.9
2. 水産加工品	54	3.5
3. 畜産食品	59	3.9
4. 畜産加工品	54	3.5
5. 農産食品	13	0.9
6. 農産加工品	146	9.6
7. 菓子類	265	17.4
8. 飲料	46	3.0
9. 油脂	0	0.0
10. 調理済み食品	830	54.5
11. 惣菜半製品	18	1.2
12. その他の食品	8	0.5
13. 食品添加物	1	0.1
14. 不明	1	0.1



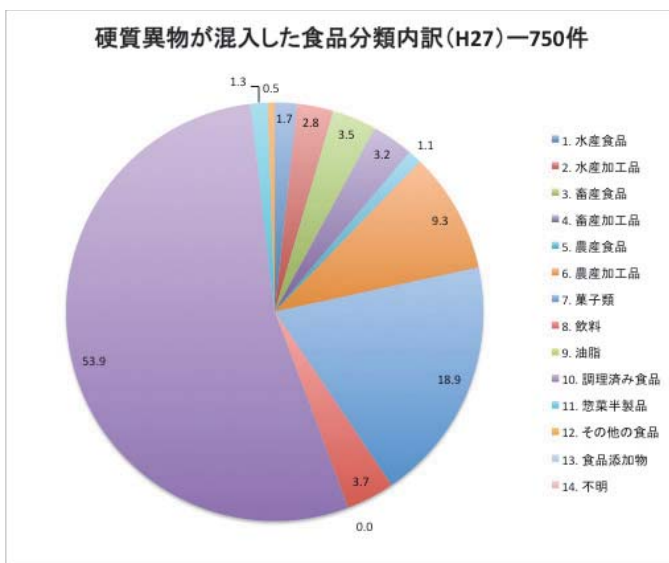
図表 9 B：調査票 2 の硬質異物混入事例における混入食品内訳（H26 年度、総計 330 件）

食品分類	件数—硬質H26(330件)	割合(%)
1. 水産食品	10	3.0
2. 水産加工品	13	3.9
3. 畜産食品	15	4.5
4. 畜産加工品	15	4.5
5. 農産食品	3	0.9
6. 農産加工品	30	9.1
7. 菓子類	56	17.0
8. 飲料	7	2.1
9. 油脂	0	0.0
10. 調理済み食品	178	53.9
11. 惣菜半製品	1	0.3
12. その他の食品	1	0.3
13. 食品添加物	0	0.0
14. 不明	1	0.3



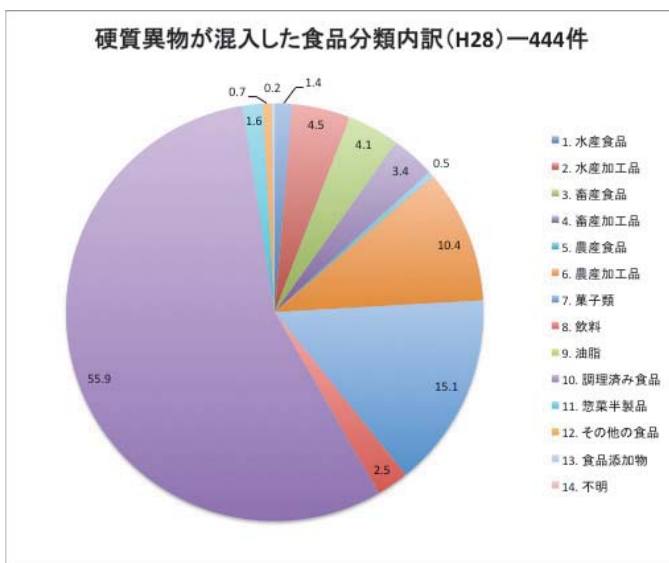
図表 9 C：調査票 2 の硬質異物混入事例における混入食品内訳（H27 年度、総計 750 件）

食品分類	件数—硬質H27(750件)	割合(%)
1. 水産食品	13	1.7
2. 水産加工品	21	2.8
3. 畜産食品	26	3.5
4. 畜産加工品	24	3.2
5. 農産食品	8	1.1
6. 農産加工品	70	9.3
7. 菓子類	142	18.9
8. 飲料	28	3.7
9. 油脂	0	0.0
10. 調理済み食品	404	53.9
11. 惣菜半製品	10	1.3
12. その他の食品	4	0.5
13. 食品添加物	0	0.0
14. 不明	0	0.0



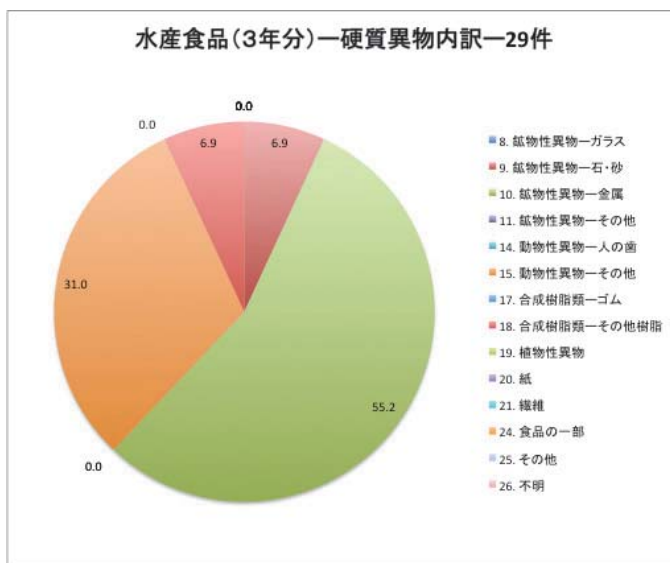
図表 9 D：調査票 2 の硬質異物混入事例における混入食品内訳（H27 年度、総計 444 件）

食品分類	件数—硬質H28(444件)	割合(%)
1. 水産食品	6	1.4
2. 水産加工品	20	4.5
3. 畜産食品	18	4.1
4. 畜産加工品	15	3.4
5. 農産食品	2	0.5
6. 農産加工品	46	10.4
7. 菓子類	67	15.1
8. 飲料	11	2.5
9. 油脂	0	0.0
10. 調理済み食品	248	55.9
11. 惣菜半製品	7	1.6
12. その他の食品	3	0.7
13. 食品添加物	1	0.2
14. 不明	0	0.0



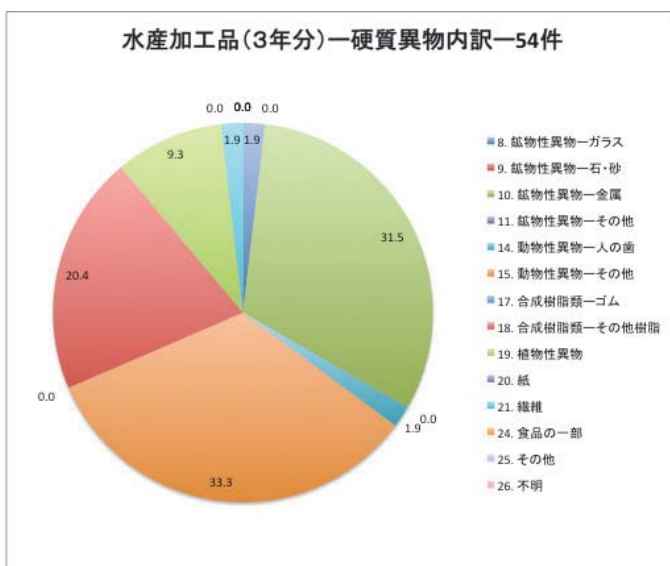
図表 1 0 A : 調査票 2 の硬質異物混入事例における「水産食品」の各混入異物の報告数と割合（H26～H28 年度、総数 29 件）

異物の種類	件数—水産食品(29件)	割合(%)
8. 鉱物性異物—ガラス	0	0.0
9. 鉱物性異物—石・砂	2	6.9
10. 鉱物性異物—金属	16	55.2
11. 鉱物性異物—その他	0	0.0
14. 動物性異物—人の歯	0	0.0
15. 動物性異物—その他	9	31.0
17. 合成樹脂類—ゴム	0	0.0
18. 合成樹脂類—その他樹脂	2	6.9
19. 植物性異物	0	0.0
20. 紙	0	0.0
21. 繊維	0	0.0
24. 食品の一部	0	0.0
25. その他	0	0.0
26. 不明	0	0.0



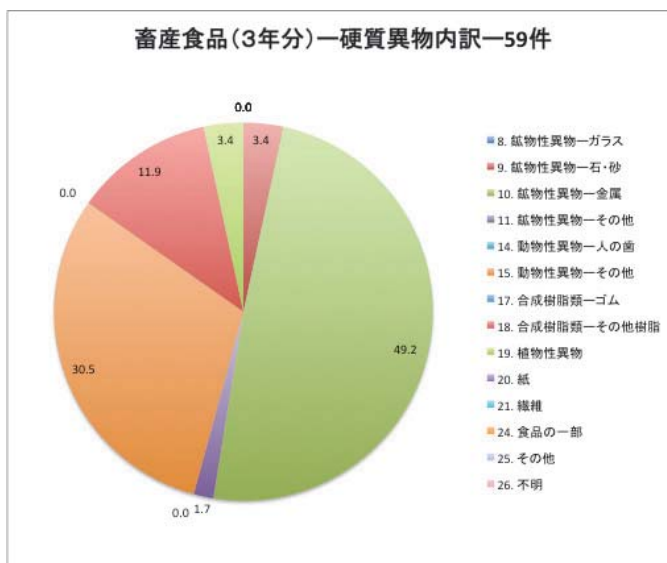
図表 1 0 B : 調査票 2 の硬質異物混入事例における「水産加工品」の各混入異物の報告数と割合（H26～H28 年度、総数 54 件）

異物の種類	件数—水産加工品(54件)	割合(%)
8. 鉱物性異物—ガラス	1	1.9
9. 鉱物性異物—石・砂	0	0.0
10. 鉱物性異物—金属	17	31.5
11. 鉱物性異物—その他	0	0.0
14. 動物性異物—人の歯	1	1.9
15. 動物性異物—その他	18	33.3
17. 合成樹脂類—ゴム	0	0.0
18. 合成樹脂類—その他樹脂	11	20.4
19. 植物性異物	5	9.3
20. 紙	0	0.0
21. 繊維	1	1.9
24. 食品の一部	0	0.0
25. その他	0	0.0
26. 不明	0	0.0



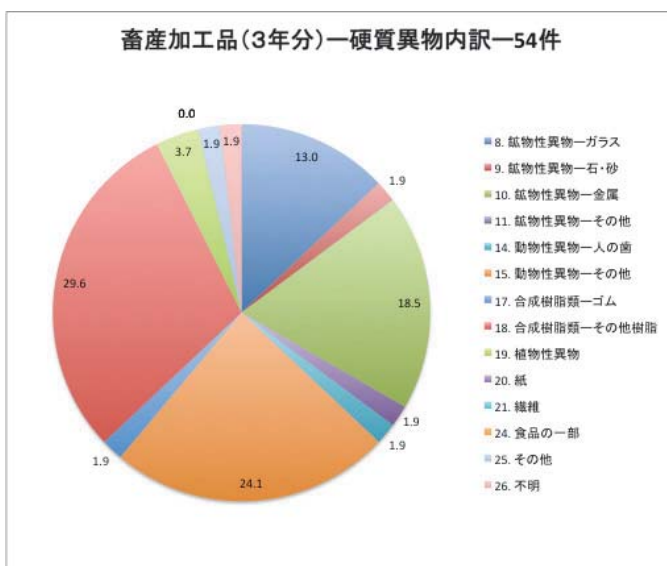
図表 1 0 C : 調査票 2 の硬質異物混入事例における「畜産食品」の各混入異物の報告数と割合（H26～H28 年度、総数 59 件）

異物の種類	件数—畜産食品(59件)	割合(%)
8. 鉱物性異物—ガラス	0	0.0
9. 鉱物性異物—石・砂	2	3.4
10. 鉱物性異物—金属	29	49.2
11. 鉱物性異物—その他	1	1.7
14. 動物性異物—人の歯	0	0.0
15. 動物性異物—その他	18	30.5
17. 合成樹脂類—ゴム	0	0.0
18. 合成樹脂類—その他樹脂	7	11.9
19. 植物性異物	2	3.4
20. 紙	0	0.0
21. 繊維	0	0.0
24. 食品の一部	0	0.0
25. その他	0	0.0
26. 不明	0	0.0



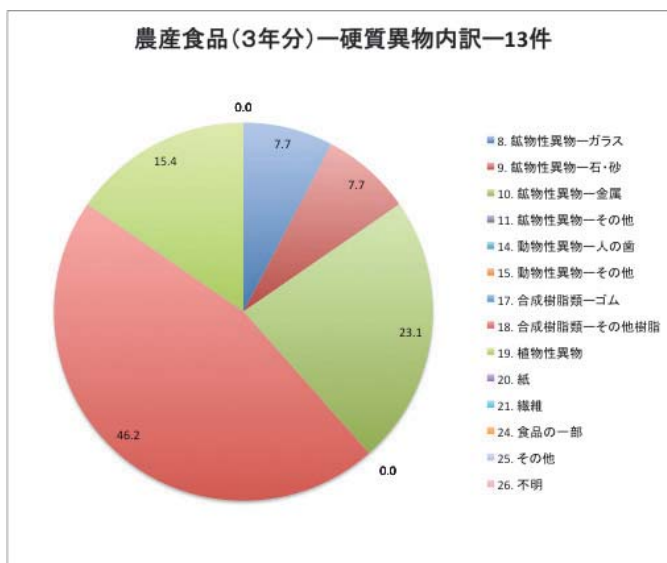
図表 1 0 D : 調査票 2 の硬質異物混入事例における「畜産加工品」の各混入異物の報告数と割合（H26～H28 年度、総数 54 件）

異物の種類	件数—畜産加工品(54件)	割合(%)
8. 鉱物性異物—ガラス	7	13.0
9. 鉱物性異物—石・砂	1	1.9
10. 鉱物性異物—金属	10	18.5
11. 鉱物性異物—その他	1	1.9
14. 動物性異物—人の歯	1	1.9
15. 動物性異物—その他	13	24.1
17. 合成樹脂類—ゴム	1	1.9
18. 合成樹脂類—その他樹脂	16	29.6
19. 植物性異物	2	3.7
20. 紙	0	0.0
21. 繊維	0	0.0
24. 食品の一部	0	0.0
25. その他	1	1.9
26. 不明	1	1.9



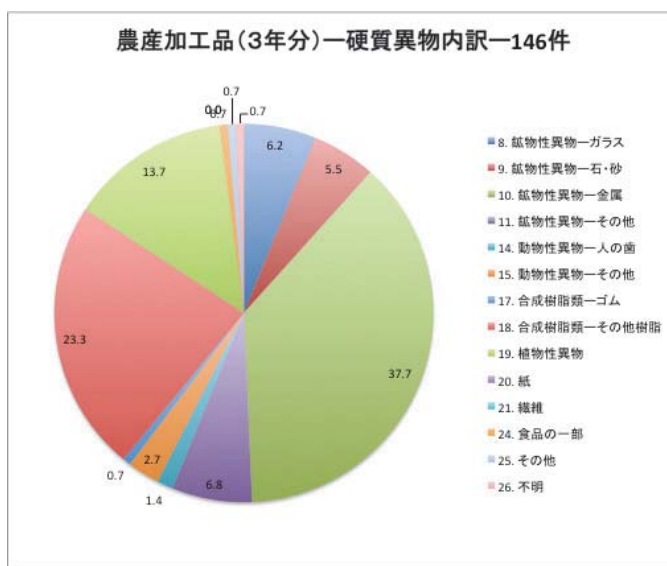
図表 1 O E : 調査票 2 の硬質異物混入事例における「農産食品」の各混入異物の報告数と割合（H26～H28 年度、総数 13 件）

異物の種類	件数－農産食品(13件)	割合(%)
8. 鉱物性異物－ガラス	1	7.7
9. 鉱物性異物－石・砂	1	7.7
10. 鉱物性異物－金属	3	23.1
11. 鉱物性異物－その他	0	0.0
14. 動物性異物－人の歯	0	0.0
15. 動物性異物－その他	0	0.0
17. 合成樹脂類－ゴム	0	0.0
18. 合成樹脂類－その他樹脂	6	46.2
19. 植物性異物	2	15.4
20. 紙	0	0.0
21. 繊維	0	0.0
24. 食品の一部	0	0.0
25. その他	0	0.0
26. 不明	0	0.0



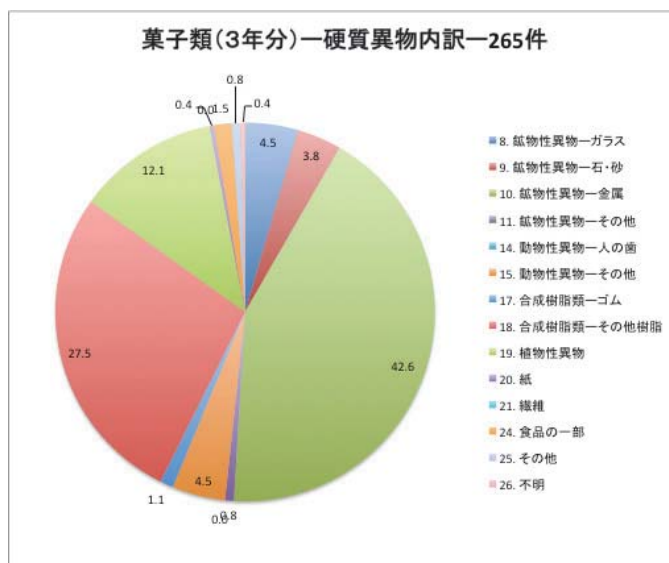
図表 1 O F : 調査票 2 の硬質異物混入事例における「農産加工品」の各混入異物の報告数と割合（H26～H28 年度、総数 146 件）

異物の種類	件数－農産加工品(146件)	割合(%)
8. 鉱物性異物－ガラス	9	6.2
9. 鉱物性異物－石・砂	8	5.5
10. 鉱物性異物－金属	55	37.7
11. 鉱物性異物－その他	10	6.8
14. 動物性異物－人の歯	2	1.4
15. 動物性異物－その他	4	2.7
17. 合成樹脂類－ゴム	1	0.7
18. 合成樹脂類－その他樹脂	34	23.3
19. 植物性異物	20	13.7
20. 紙	0	0.0
21. 繊維	0	0.0
24. 食品の一部	1	0.7
25. その他	1	0.7
26. 不明	1	0.7



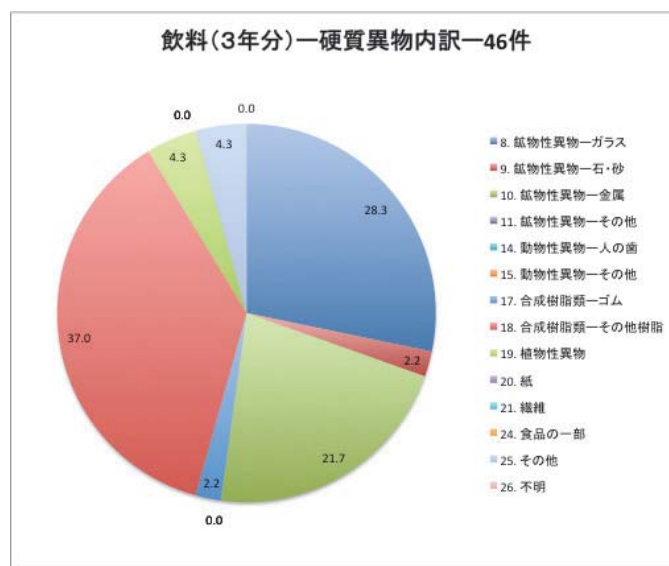
図表 1 0 G：調査票 2 の硬質異物混入事例における「菓子類」の各混入異物の報告数と割合（H26～H28 年度、総数 265 件）

異物の種類	件数—菓子類(265件)	割合(%)
8. 鉱物性異物—ガラス	12	4.5
9. 鉱物性異物—石・砂	10	3.8
10. 鉱物性異物—金属	113	42.6
11. 鉱物性異物—その他	2	0.8
14. 動物性異物—人の歯	0	0.0
15. 動物性異物—その他	12	4.5
17. 合成樹脂類—ゴム	3	1.1
18. 合成樹脂類—その他樹脂	73	27.5
19. 植物性異物	32	12.1
20. 紙	1	0.4
21. 繊維	0	0.0
24. 食品の一部	4	1.5
25. その他	2	0.8
26. 不明	1	0.4



図表 1 0 H：調査票 2 の硬質異物混入事例における「水産食品」の各混入異物の報告数と割合（H26～H28 年度、総数 46 件）

異物の種類	件数—飲料(46件)	割合(%)
8. 鉱物性異物—ガラス	13	28.3
9. 鉱物性異物—石・砂	1	2.2
10. 鉱物性異物—金属	10	21.7
11. 鉱物性異物—その他	0	0.0
14. 動物性異物—人の歯	0	0.0
15. 動物性異物—その他	0	0.0
17. 合成樹脂類—ゴム	1	2.2
18. 合成樹脂類—その他樹脂	17	37.0
19. 植物性異物	2	4.3
20. 紙	0	0.0
21. 繊維	0	0.0
24. 食品の一部	0	0.0
25. その他	2	4.3
26. 不明	0	0.0

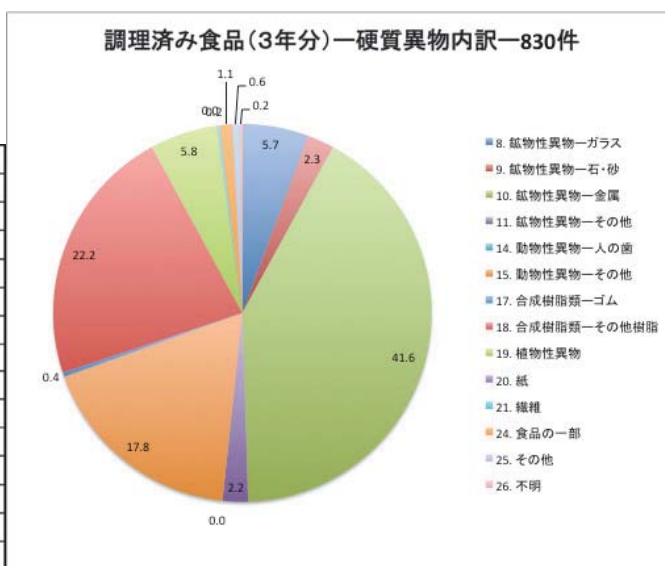


図表 1 O I：調査票 2 の硬質異物混入事例における「油脂」の各混入異物の報告数と割合（H26～H28 年度、総数 0 件）

異物の種類	件数—油脂(0件)	割合 (%)
8. 鉱物性異物—ガラス	0	0.0
9. 鉱物性異物—石・砂	0	0.0
10. 鉱物性異物—金属	0	0.0
11. 鉱物性異物—その他	0	0.0
14. 動物性異物—人の歯	0	0.0
15. 動物性異物—その他	0	0.0
17. 合成樹脂類—ゴム	0	0.0
18. 合成樹脂類—その他樹脂	0	0.0
19. 植物性異物	0	0.0
20. 紙	0	0.0
21. 繊維	0	0.0
24. 食品の一部	0	0.0
25. その他	0	0.0
26. 不明	0	0.0

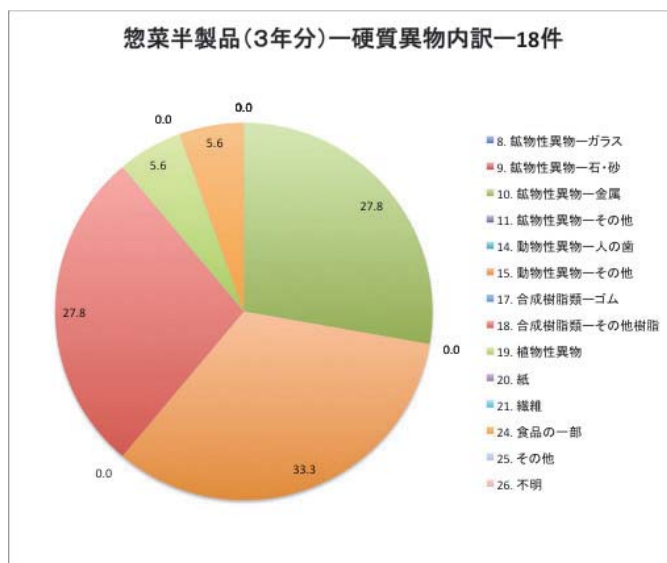
図表 1 O J：調査票 2 の硬質異物混入事例における「調理済み食品」の各混入異物の報告数と割合（H26～H28 年度、総数 830 件）

異物の種類	件数—調理済み食品(830件)	割合 (%)
8. 鉱物性異物—ガラス	47	5.7
9. 鉱物性異物—石・砂	19	2.3
10. 鉱物性異物—金属	345	41.6
11. 鉱物性異物—その他	18	2.2
14. 動物性異物—人の歯	0	0.0
15. 動物性異物—その他	148	17.8
17. 合成樹脂類—ゴム	3	0.4
18. 合成樹脂類—その他樹脂	184	22.2
19. 植物性異物	48	5.8
20. 紙	0	0.0
21. 繊維	2	0.2
24. 食品の一部	9	1.1
25. その他	5	0.6
26. 不明	2	0.2



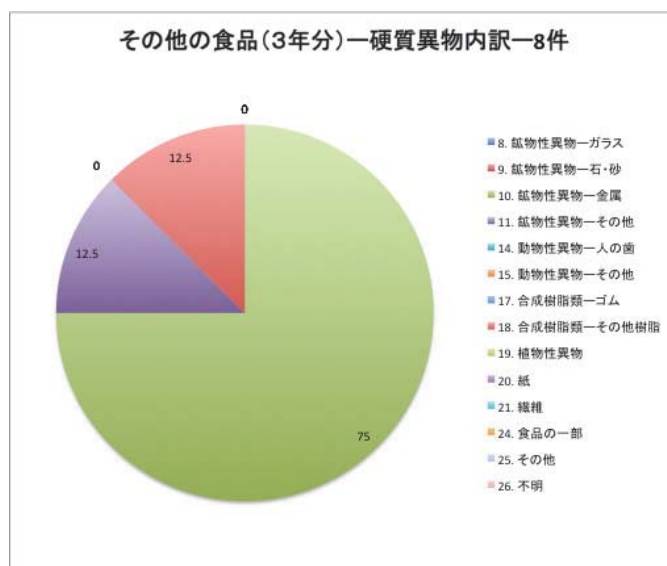
図表 1 O K：調査票 2 の硬質異物混入事例における「惣菜半製品」の各混入異物の報告数と割合（H26～H28 年度、総数 18 件）

異物の種類	件数—惣菜半製品(18件)	割合(%)
8. 鉱物性異物—ガラス	0	0.0
9. 鉱物性異物—石・砂	0	0.0
10. 鉱物性異物—金属	5	27.8
11. 鉱物性異物—その他	0	0.0
14. 動物性異物—人の歯	0	0.0
15. 動物性異物—その他	6	33.3
17. 合成樹脂類—ゴム	0	0.0
18. 合成樹脂類—その他樹脂	5	27.8
19. 植物性異物	1	5.6
20. 紙	0	0.0
21. 繊維	0	0.0
24. 食品の一部	1	5.6
25. その他	0	0.0
26. 不明	0	0.0



図表 1 O L：調査票 2 の硬質異物混入事例における「その他の食品」の各混入異物の報告数と割合（H26～H28 年度、総数 8 件）

異物の種類	件数—その他の食品(8件)	割合(%)
8. 鉱物性異物—ガラス	0	0.0
9. 鉱物性異物—石・砂	0	0.0
10. 鉱物性異物—金属	6	75.0
11. 鉱物性異物—その他	1	12.5
14. 動物性異物—人の歯	0	0.0
15. 動物性異物—その他	0	0.0
17. 合成樹脂類—ゴム	0	0.0
18. 合成樹脂類—その他樹脂	1	12.5
19. 植物性異物	0	0.0
20. 紙	0	0.0
21. 繊維	0	0.0
24. 食品の一部	0	0.0
25. その他	0	0.0
26. 不明	0	0.0



図表 1 O M：調査票 2 の硬質異物混入事例における「食品添加物」の各混入異物の報告数と割合（H26～H28 年度、総数 1 件）

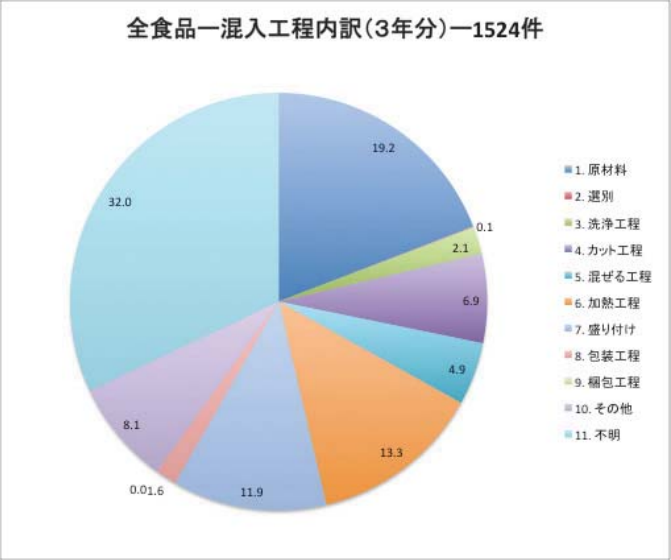
異物の種類	件数—食品添加物(1件)	割合(%)
8. 鉱物性異物—ガラス	0	0.0
9. 鉱物性異物—石・砂	0	0.0
10. 鉱物性異物—金属	1	100.0
11. 鉱物性異物—その他	0	0.0
14. 動物性異物—人の歯	0	0.0
15. 動物性異物—その他	0	0.0
17. 合成樹脂類—ゴム	0	0.0
18. 合成樹脂類—その他樹脂	0	0.0
19. 植物性異物	0	0.0
20. 紙	0	0.0
21. 繊維	0	0.0
24. 食品の一部	0	0.0
25. その他	0	0.0
26. 不明	0	0.0

図表 1 O N：調査票 2 の硬質異物混入事例における「不明」の各混入異物の報告数と割合（H26～H28 年度、総数 1 件）

異物の種類	件数—不明(1件)	割合(%)
8. 鉱物性異物—ガラス	0	0.0
9. 鉱物性異物—石・砂	0	0.0
10. 鉱物性異物—金属	0	0.0
11. 鉱物性異物—その他	0	0.0
14. 動物性異物—人の歯	0	0.0
15. 動物性異物—その他	0	0.0
17. 合成樹脂類—ゴム	0	0.0
18. 合成樹脂類—その他樹脂	1	100.0
19. 植物性異物	0	0.0
20. 紙	0	0.0
21. 繊維	0	0.0
24. 食品の一部	0	0.0
25. その他	0	0.0
26. 不明	0	0.0

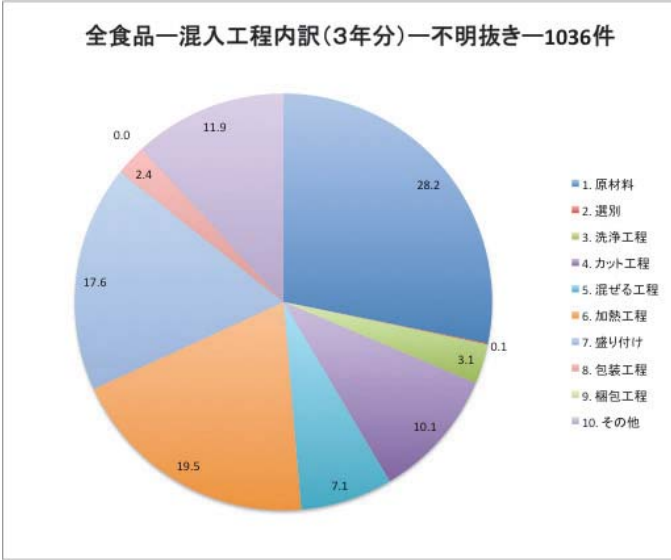
図表 1 1 A: 調査票 2 の硬質異物混入事例における各異物混入の製造工程別の報告数と割合 (H26～H28 年度、総数 1,524 件)

製造工程	件数(3年分)－1524件	割合(%)
1. 原材料	292	19.2
2. 選別	1	0.1
3. 洗浄工程	32	2.1
4. カット工程	105	6.9
5. 混ぜる工程	74	4.9
6. 加熱工程	202	13.3
7. 盛り付け	182	11.9
8. 包装工程	25	1.6
9. 梱包工程	0	0.0
10. その他	123	8.1
11. 不明	488	32.0



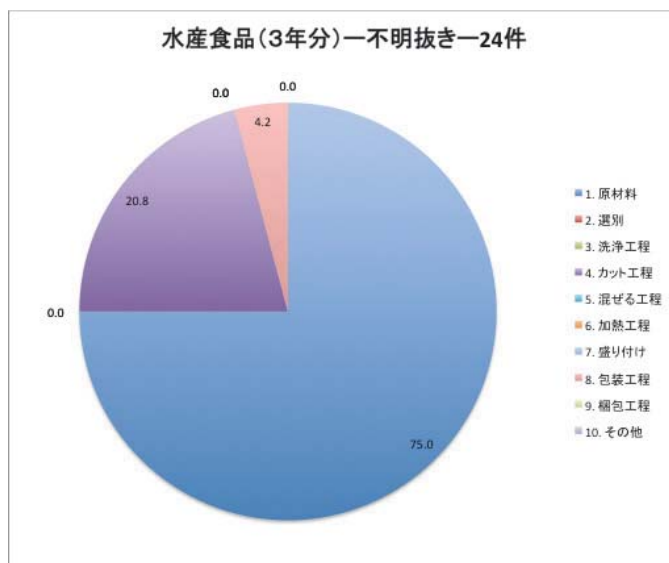
図表 1 1 B：調査票 2 の硬質異物混入事例における異物混入の製造工程別の報告数と割合（H26～H28 年度、製造工程「不明」データを除いた 1,036 件）

製造工程	件数(3年分)－不明抜き－1036件	割合(%)
1. 原材料	292	28.2
2. 選別	1	0.1
3. 洗浄工程	32	3.1
4. カット工程	105	10.1
5. 混ぜる工程	74	7.1
6. 加熱工程	202	19.5
7. 盛り付け	182	17.6
8. 包装工程	25	2.4
9. 梱包工程	0	0.0
10. その他	123	11.9



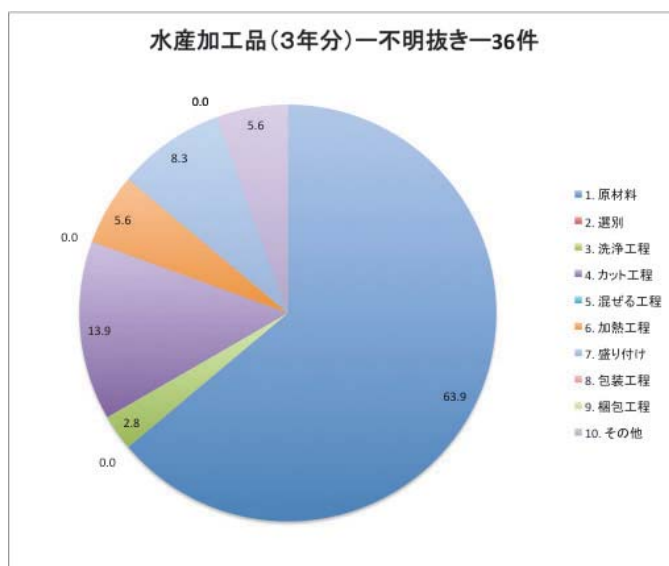
図表 1 2 A: 調査票 2 の硬質異物混入事例における「水産食品」への異物混入の製造工程別の報告数と割合 (H26～H28 年度、総数 24 件)

製造工程	件数(3年分)－水産食品－24件	割合(%)
1. 原材料	18	75.0
2. 選別	0	0.0
3. 洗浄工程	0	0.0
4. カット工程	5	20.8
5. 混ぜる工程	0	0.0
6. 加熱工程	0	0.0
7. 盛り付け	0	0.0
8. 包装工程	1	4.2
9. 梱包工程	0	0.0
10. その他	0	0.0



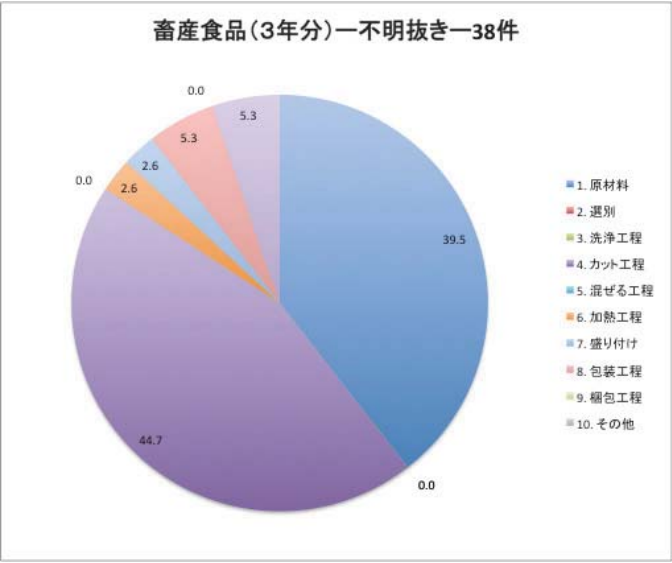
図表 1 2 B: 調査票 2 の硬質異物混入事例における「水産加工品」への異物混入の製造工程別の報告数と割合 (H26～H28 年度、総数 36 件)

製造工程	件数(3年分)－水産加工品－36件	割合(%)
1. 原材料	23	63.9
2. 選別	0	0.0
3. 洗浄工程	1	2.8
4. カット工程	5	13.9
5. 混ぜる工程	0	0.0
6. 加熱工程	2	5.6
7. 盛り付け	3	8.3
8. 包装工程	0	0.0
9. 梱包工程	0	0.0
10. その他	2	5.6



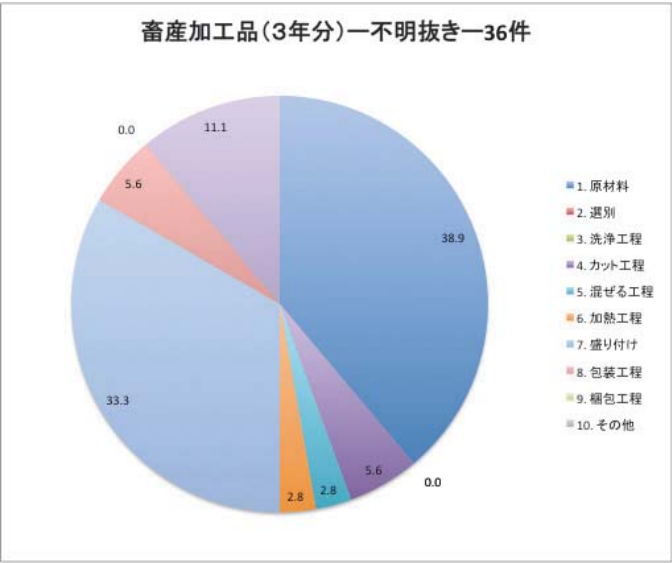
図表 1 2 C: 調査票 2 の硬質異物混入事例における「畜産食品」への異物混入の製造工程別の報告数と割合 (H26～H28 年度、総数 38 件)

製造工程	件数(3年分)ー畜産食品ー38件	割合(%)
1. 原材料	15	39.5
2. 選別	0	0.0
3. 洗浄工程	0	0.0
4. カット工程	17	44.7
5. 混ぜる工程	0	0.0
6. 加熱工程	1	2.6
7. 盛り付け	1	2.6
8. 包装工程	2	5.3
9. 梱包工程	0	0.0
10. その他	2	5.3



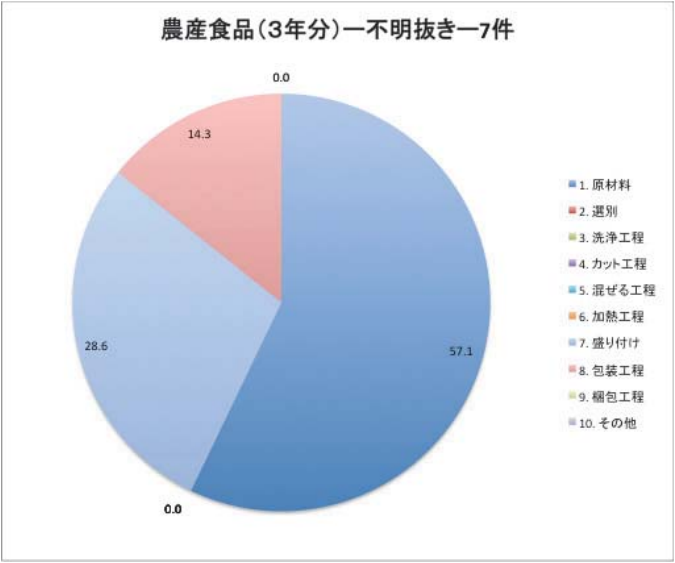
図表 1 2 D: 調査票 2 の硬質異物混入事例における「畜産加工品」への異物混入の製造工程別の報告数と割合 (H26～H28 年度、総数 36 件)

製造工程	件数(3年分)ー畜産加工品ー36件	割合(%)
1. 原材料	14	38.9
2. 選別	0	0.0
3. 洗浄工程	0	0.0
4. カット工程	2	5.6
5. 混ぜる工程	1	2.8
6. 加熱工程	1	2.8
7. 盛り付け	12	33.3
8. 包装工程	2	5.6
9. 梱包工程	0	0.0
10. その他	4	11.1



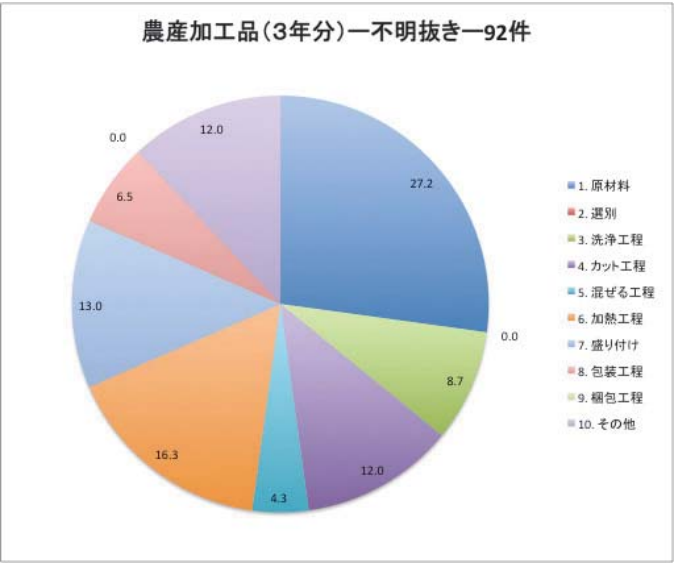
図表 1 2 E: 調査票 2 の硬質異物混入事例における「農産食品」への異物混入の製造工程別の報告数と割合 (H26～H28 年度、製造工程「不明」データを除いた 7 件)

製造工程	件数(3年分)ー農産食品ー7件	割合(%)
1. 原材料	4	57.1
2. 選別	0	0.0
3. 洗浄工程	0	0.0
4. カット工程	0	0.0
5. 混ぜる工程	0	0.0
6. 加熱工程	0	0.0
7. 盛り付け	2	28.6
8. 包装工程	1	14.3
9. 梱包工程	0	0.0
10. その他	0	0.0



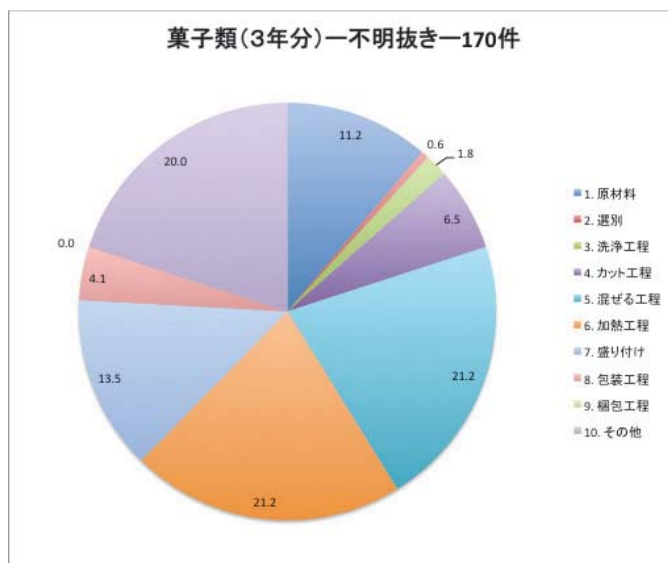
図表 1 2 F: 調査票 2 の硬質異物混入事例における「農産加工品」への異物混入の製造工程別の報告数と割合 (H26～H28 年度、総数 92 件)

製造工程	件数(3年分)ー農産加工品ー92件	割合(%)
1. 原材料	25	27.2
2. 選別	0	0.0
3. 洗浄工程	8	8.7
4. カット工程	11	12.0
5. 混ぜる工程	4	4.3
6. 加熱工程	15	16.3
7. 盛り付け	12	13.0
8. 包装工程	6	6.5
9. 梱包工程	0	0.0
10. その他	11	12.0



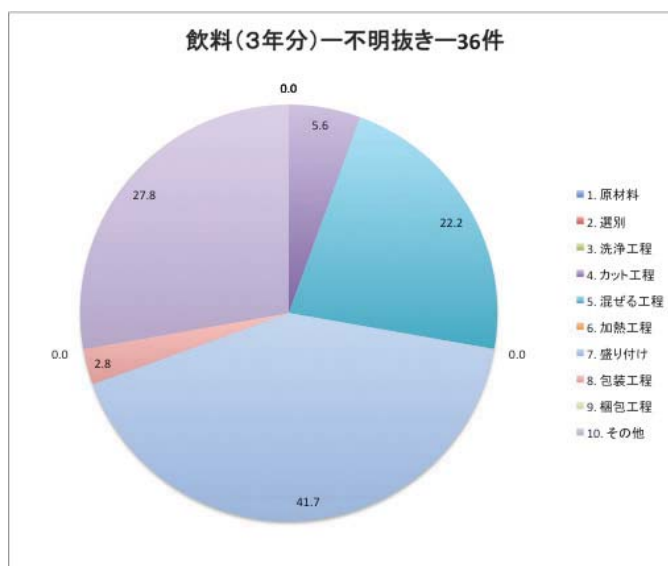
図表 1 2 G: 調査票 2 の硬質異物混入事例における「菓子類」への異物混入の製造工程別の報告数と割合 (H26～H28 年度、総数 170 件)

製造工程	件数(3年分)－菓子類－170件	割合(%)
1. 原材料	19	11.2
2. 選別	1	0.6
3. 洗浄工程	3	1.8
4. カット工程	11	6.5
5. 混ぜる工程	36	21.2
6. 加熱工程	36	21.2
7. 盛り付け	23	13.5
8. 包装工程	7	4.1
9. 梱包工程	0	0.0
10. その他	34	20.0



図表 1 2 H: 調査票 2 の硬質異物混入事例における「飲料」への異物混入の製造工程別の報告数と割合 (H26～H28 年度、総数 36 件)

製造工程	件数(3年分)－飲料－36件	割合(%)
1. 原材料	0	0.0
2. 選別	0	0.0
3. 洗浄工程	0	0.0
4. カット工程	2	5.6
5. 混ぜる工程	8	22.2
6. 加熱工程	0	0.0
7. 盛り付け	15	41.7
8. 包装工程	1	2.8
9. 梱包工程	0	0.0
10. その他	10	27.8

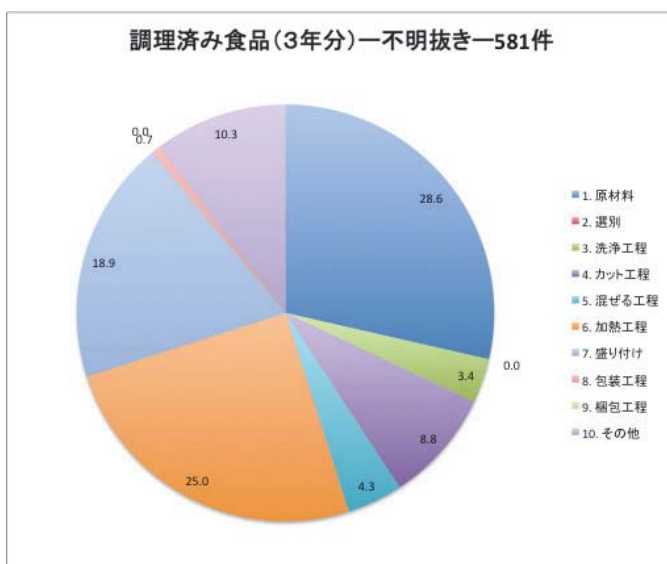


図表 1 2I：調査票 2 の硬質異物混入事例における「油脂」への異物混入の製造工程別の報告数と割合（H26～H28 年度、総数 0 件）

製造工程	件数(3年分)ー油脂ー0件	割合(%)
1. 原材料	0	0.0
2. 選別	0	0.0
3. 洗浄工程	0	0.0
4. カット工程	0	0.0
5. 混ぜる工程	0	0.0
6. 加熱工程	0	0.0
7. 盛り付け	0	0.0
8. 包装工程	0	0.0
9. 梱包工程	0	0.0
10. その他	0	0.0

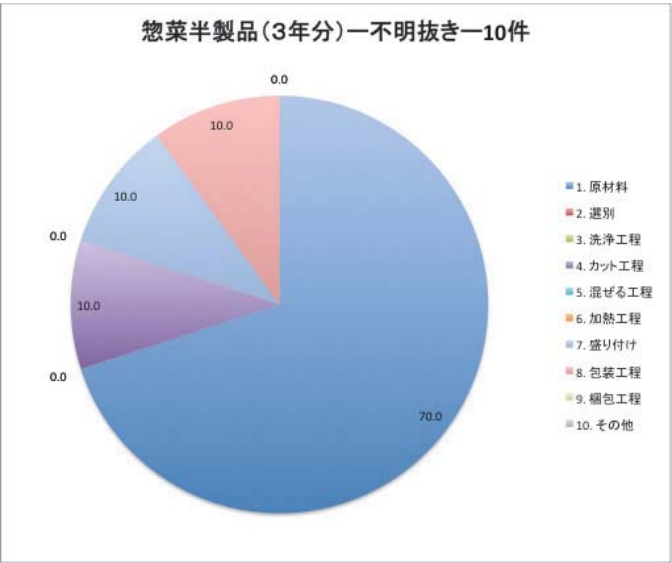
図表 1 2J：調査票 2 の硬質異物混入事例における「調理済み食品」への異物混入の製造工程別の報告数と割合（H26～H28 年度、総数 581 件）

製造工程	件数(3年分)ー調理済み食品ー581件	割合(%)
1. 原材料	166	28.6
2. 選別	0	0.0
3. 洗浄工程	20	3.4
4. カット工程	51	8.8
5. 混ぜる工程	25	4.3
6. 加熱工程	145	25.0
7. 盛り付け	110	18.9
8. 包装工程	4	0.7
9. 梱包工程	0	0.0
10. その他	60	10.3



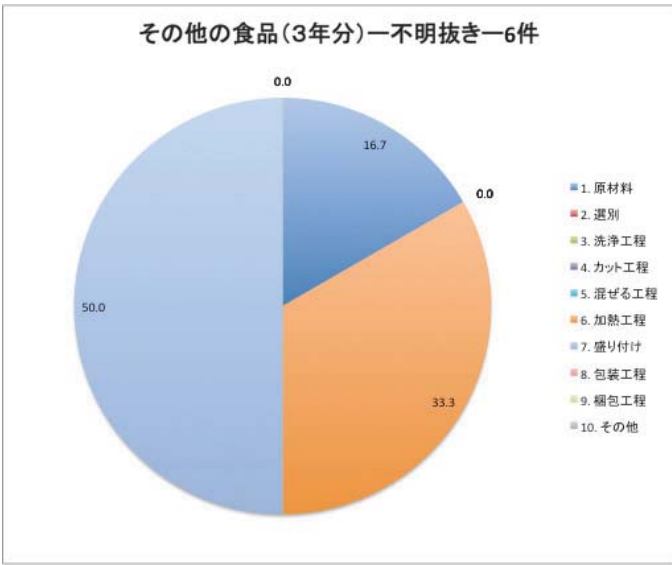
図表 1 2 K：調査票 2 の硬質異物混入事例における「惣菜半製品」への異物混入の製造工程別の報告数と割合
(H26～H28 年度、総数 10 件)

製造工程	件数(3年分)－惣菜半製品－10件	割合(%)
1. 原材料	7	70.0
2. 選別	0	0.0
3. 洗浄工程	0	0.0
4. カット工程	1	10.0
5. 混ぜる工程	0	0.0
6. 加熱工程	0	0.0
7. 盛り付け	1	10.0
8. 包装工程	1	10.0
9. 梱包工程	0	0.0
10. その他	0	0.0



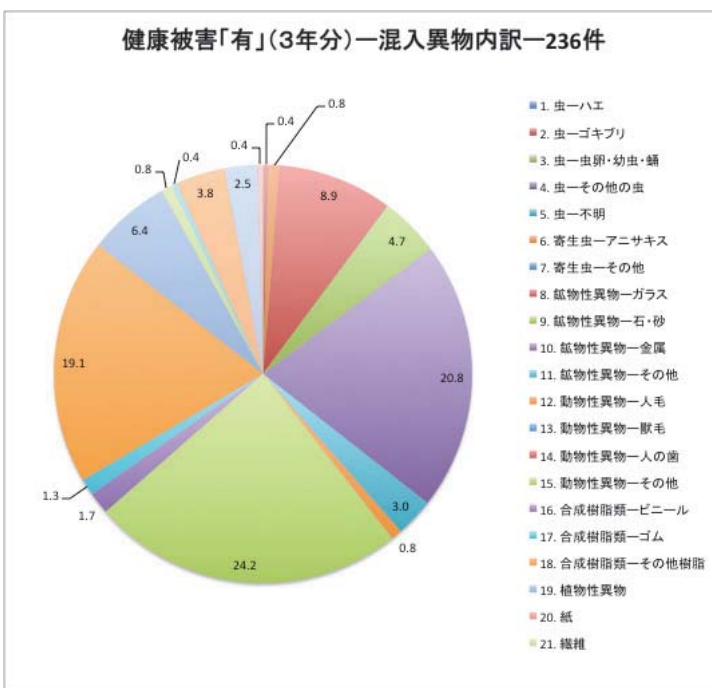
図表 1 2 L：調査票 2 の硬質異物混入事例における「その他の食品」への異物混入の製造工程別の報告数と割合
(H26～H28 年度、総数 6 件)

製造工程	件数(3年分)－その他の食品－6件	割合(%)
1. 原材料	1	16.7
2. 選別	0	0.0
3. 洗浄工程	0	0.0
4. カット工程	0	0.0
5. 混ぜる工程	0	0.0
6. 加熱工程	2	33.3
7. 盛り付け	3	50.0
8. 包装工程	0	0.0
9. 梱包工程	0	0.0
10. その他	0	0.0



図表 1 3 A : 健康被害があった事例の混入異物別の件数と割合 (H26～H28 年度、総数 236 件)

異物の種類	件数—3年分(236件)	割合(%)
1. 虫—ハエ	0	0.0
2. 虫—ゴキブリ	1	0.4
3. 虫—虫卵・幼虫・蛹	0	0.0
4. 虫—その他の虫	0	0.0
5. 虫—不明	0	0.0
6. 寄生虫—アニサキス	2	0.8
7. 寄生虫—その他	0	0.0
8. 鉱物性異物—ガラス	21	8.9
9. 鉱物性異物—石・砂	11	4.7
10. 鉱物性異物—金属	49	20.8
11. 鉱物性異物—その他	7	3.0
12. 動物性異物—人毛	2	0.8
13. 動物性異物—獣毛	0	0.0
14. 動物性異物—人の歯	0	0.0
15. 動物性異物—その他	57	24.2
16. 合成樹脂類—ビニール	4	1.7
17. 合成樹脂類—ゴム	3	1.3
18. 合成樹脂類—その他樹脂	45	19.1
19. 植物性異物	15	6.4
20. 紙	0	0.0
21. 繊維	2	0.8
22. たばこ	0	0.0
23. 絆創膏	1	0.4
24. 食品の一部	9	3.8
25. その他	6	2.5
26. 不明	1	0.4



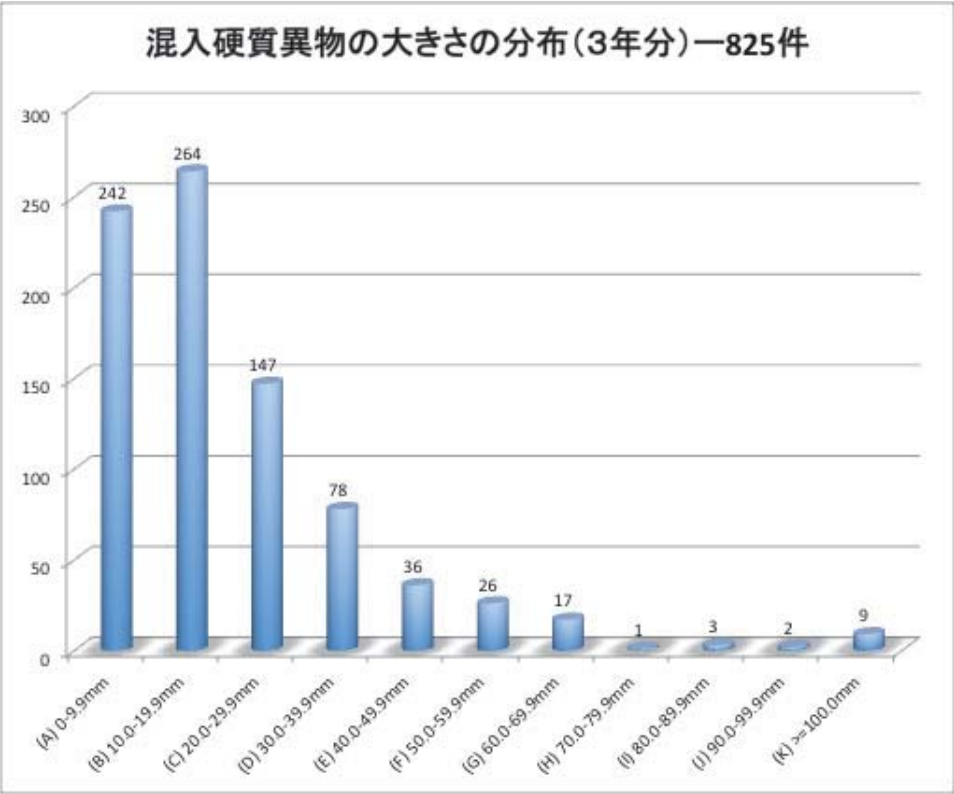
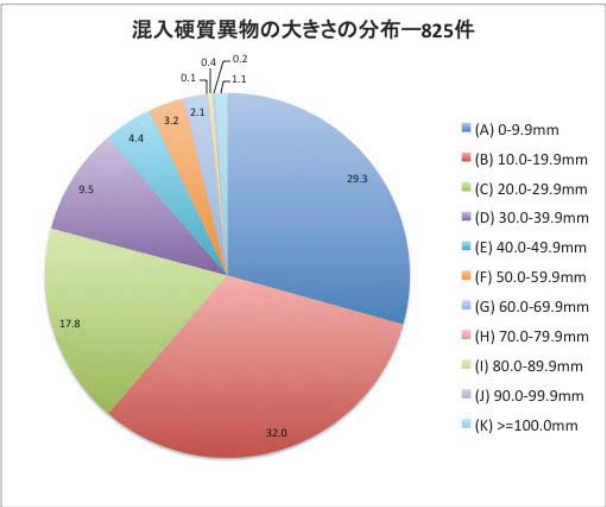
図表 1 3 B : 硬質異物により健康被害があった事例の混入異物別の件数と割合 (H26～H28 年度、総数 214 件)

異物の種類	件数—3年分—硬質(214件)	割合(%)
1. 虫—ハエ	0	0.0
2. 虫—ゴキブリ	0	0.0
3. 虫—虫卵・幼虫・蛹	0	0.0
4. 虫—その他の虫	0	0.0
5. 虫—不明	0	0.0
6. 寄生虫—アニサキス	0	0.0
7. 寄生虫—その他	0	0.0
8. 鉱物性異物—ガラス	21	9.8
9. 鉱物性異物—石・砂	11	5.1
10. 鉱物性異物—金属	49	22.9
11. 鉱物性異物—その他	7	3.3
12. 動物性異物—人毛	0	0.0
13. 動物性異物—獣毛	0	0.0
14. 動物性異物—人の歯	0	0.0
15. 動物性異物—その他	57	26.6
16. 合成樹脂類—ビニール	0	0.0
17. 合成樹脂類—ゴム	1	0.5
18. 合成樹脂類—その他樹脂	42	19.6
19. 植物性異物	15	7.0
20. 紙	0	0.0
21. 繊維	0	0.0
22. たばこ	0	0.0
23. 絆創膏	0	0.0
24. 食品の一部	6	2.8
25. その他	4	1.9
26. 不明	1	0.5



図表 1 4：硬質異物混入事例において異物の大きさが報告された 825 件の異物の大きさの集計（調査票 2）

異物の大きさ	件数—3年分(825件)	割合(%)
(A) 0-9.9mm	242	29.3
(B) 10.0-19.9mm	264	32.0
(C) 20.0-29.9mm	147	17.8
(D) 30.0-39.9mm	78	9.5
(E) 40.0-49.9mm	36	4.4
(F) 50.0-59.9mm	26	3.2
(G) 60.0-69.9mm	17	2.1
(H) 70.0-79.9mm	1	0.1
(I) 80.0-89.9mm	3	0.4
(J) 90.0-99.9mm	2	0.2
(K) >=100.0mm	9	1.1



図表 1 5 : 健康被害があった事例として調査票 2 に報告されたもののうち、硬質異物によるもの 214 件（左）およびそれ以外の異物によるもの 22 件（右）の異物の詳細内訳

異物の種類	件数	異物名	件数
8. 鉱物性異物ーガラス	21	ガラス片	21
9. 鉱物性異物ー石・砂	11	石	9
		砂	2
10. 鉱物性異物ー金属	49	金たわし・ブラシ	13
		針金	6
		ざるの一部	5
		ネジ	5
		釣り針	4
		ホッチキスの針・画鋸	3
		釘	1
		金属くず	1
		焼き網	1
		針	1
		サビ	1
		不明	8
11. 鉱物性異物ーその他	7	陶器片	5
		鉛筆の芯	1
		不明	1
15. 動物性異物ーその他	57	鳥の骨	14
		魚の骨	12
		豚の骨	7
		牛の骨	6
		卵殻	6
		骨（動物不明）	4
		貝殻・真珠	4
		人の爪	2
		魚の鱗	1
		不明	1
17. 合成樹脂類ーゴム	1	ゴムパッキン	1
18. 合成樹脂類ーその他樹脂	42	プラスチック片	24
		合成樹脂片（PETなど）	9
		たわし・ブラシの破片	2
		クリアファイル・シート	2
		ピック	1
		網（網漁用）	1
		チューブ	1
		PPバンド	1
		アクリル片	1
19. 植物性異物	15	植物の一部（枝・種など）	6
		木片	5
		竹串・楊枝	4
24. 食品の一部	6	乾燥白飯	2
		アミノ酸結晶	1
		大きい具材	1
		焦げ	1
25. その他	4	洗淨剤	3
		不明	1
26. 不明	1	不明	1
「硬質異物」合計	214		214

異物の種類	件数	異物名	件数
2. 虫ーゴキブリ	1	ゴキブリ	1
6. 寄生虫ーアニサキス	2	アニサキス	2
12. 動物性異物ー人毛	2	毛髪	2
16. 合成樹脂類ービニール	4	ビニール片	3
		ビニールシート	1
17. 合成樹脂類ーゴム	2	輪ゴム	2
18. 合成樹脂類ーその他樹脂	3	合成樹脂片	2
		ラップ	1
21. 繊維	2	タオルの糸	1
		吸水シート	1
23. 絆創膏	1	絆創膏	1
24. 食品の一部	3	水飴	1
		くずもち成分	1
		乾燥白ネギ	1
25. その他	2	洗淨剤	1
		灯油	1
「硬質以外の異物」合計	22		22